

平成 2 5 年 度

植 物 防 疫 事 業 年 報

平 成 2 6 年 3 月

京 都 府 病 害 虫 防 除 所

京 都 府 亀 岡 市 余 部 町 和 久 成 9

T E L 0 7 7 1 - 2 3 - 9 5 1 2

はじめに

病虫害防除所の事業実施に当たりまして、農家や関係機関の皆様にはご指導、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。このたび、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、防除所ニュース、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成25年度病虫害防除所植物防疫年報として発行いたしましたので皆様の業務の資料となれば幸いです。

さて、25年の気象は、概して気温の変動が大きく、4月から5月上旬にかけて顕著な低温、7月から8月は高温でありましたが7月下旬から8月上旬にかけて前線の影響で雨が続きました。さらに9月16日には台風18号の記録的な大雨が降り京都府全域で大きな被害が発生しました。また、10月は高温でしたが11月からは低温で推移するといった変動の大きな年でした。

一方、病虫害の発生状況ですが、水稻では、7月下旬の曇雨天でいもち病の発生が多くなり、QoI剤耐性のいもち病菌が確認されました。また、トビイロウンカが8～9月に確認され、晩生水稻を中心に坪枯れ被害が発生しました。また、斑点米カメムシ類も多発生し、稲作にとって病虫害の発生が多い年になりました。茶では、チャノコカクモンハマキが多い発生でした。チャノミドリヒメヨコバイは府南部で多い発生でした。また、炭そ病は二番芽以降多発しました。果樹ではカキに炭そ病、チャノキイロアザミウマ、カキクダアザミウマがやや多い発生でした。野菜では春から夏にかけてアブラムシ類の発生が多くなりました。

京都府では、「人と環境にやさしい農業プラン」で環境にやさしい農業の生産拡大を目指しており、病虫害発生予察事業の重要性が更に高くなっております。そのため、引き続き迅速な発生予察情報の提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。今後とも、防除所業務に対してご理解とご支援を関係者の皆様をお願いいたします。

京都府病虫害防除所長

天 野 久

目 次

病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
業務の概要	
I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病虫害の発生予察と発生状況	
1 発生予察調査の結果	
1) 巡回調査の結果	10
(1)水稲 (2)麦類 (3)黒大豆 (4)小豆 (5)カンキツ (6)ナシ (7)ブドウ (8)カキ (9)茶樹 (10)キュウリ (11)トマト (12)ナス (13)トウガラシ (14)キャベツ (15)ダイコン (16)カブ (17)ミズナ・ミブナ (18)ハウレンソウ (19)ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	51
(1)予察灯の調査結果 (2)誘引剤トラップの調査結果 (3)黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	68
3 対象病虫害の発生状況	80
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	85
III 調査・試験の結果	
1 フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生活長調査	87
2 プラスティック管瓶法によるネギアザミウマの殺虫剤感受性調査	89
3 フェロモントラップによるカキのオオタバコガの発生活長調査	91
4 京都府内におけるQoI剤耐性イネいもち病菌の発生調査	93
5 赤色防虫ネットの囲いがネギアザミウマの被害軽減に及ぼす影響	95
6 赤色防虫ネットのネギアザミウマの被害軽減に及ぼす影響（室内試験）	97
7 チャトゲコナジラミ 近畿地域のチャにおける発生調査基準の検討	
1)チャトゲコナジラミの発生活長	99
2)京都府内の地域別発生推移	101
3)越冬量調査	103
8 京都府の水稲におけるミナミアオカメムシの発生活長	
1)フェロモントラップによる発生予察の検討	105
2)フェロモントラップの種類と色の検討	107
3)フェロモントラップの形状の検討	109
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	111
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	111
(II) 情報の内容と利用の状況	112
VI 病虫害調査協力員の活動状況	114
VII 会議・講演・研修等の実施	115
VIII 普及センター等との連携の推進	117
参考資料	
平成24年の半旬別気象表・グラフ	118
I PM実践指標	124

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所					協力機関名
	所長	主任研究員	主査	副主査	計	
人数	1人	2人	1人	2人	6人	農林センター、茶業研究所 丹後農業研究所、農業大学校 農産課

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	〃	京田辺市薪	防除所
	麦	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	カ キ	京都市西京区大枝	防除所
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
野 菜	キュウリ	京都市伏見区深草	防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	防除所
	ナ ス	京田辺市興戸	防除所
	〃	京都市西京区大原野	防除所
	キャベツ	京都市南区吉祥院	防除所
	ダイコン	木津川市梅谷	防除所
	ホウレンソウ	久御山町坊之池	防除所
	ネ ギ	京都市伏見区淀	防除所

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり ハスモンヨトウ、果樹カメムシ類、タバコガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ニカメイガ、フタオビコヤガ	防除所 防除所

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当 者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ 黄 色 水 盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、ヨトウガ、カ ブラヤガ、ニカメイガ、フタ オビコヤガ アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町黒 部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、チャノホソガ、 チャノコカクモンハマキ、ニ カメイガ、フタオビコヤガ	防除所 防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ヨ コバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメム シ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカ メムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカ メムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミ カメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ 類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメム シ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町水所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野 町今西中 福知山市大江町 河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦 (7地区/14か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡 福知山市半田、前田 綾部市私市、西坂 (二条) 亀岡市河原林町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 7地区/12か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	福知山市夜久野町大油子 京丹波町富田、安栖里	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	舞鶴市久田美 福知山市半田 綾部市私市 南丹市園部町若森 亀岡市保津町、河原林町、馬路町	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (11地区/21か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、箱石、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	7	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町湯屋谷、宇治田原町南 和東町石寺、和東町湯船、和東町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (30地区/57か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	8	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市興戸 久御山町坊之池	—	—
トウガラシ (施設)	5	精華町祝園	舞鶴市三日市、地頭 南丹市園部町黒田	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	3	木津川市梅谷	—	—
カブ	4	—	京都市右京区 京北矢代中町 亀岡市篠町	—

ミズナ (施設)	3	—	京都市右京区 京北町細野 京丹波町安栖里、角	—
ミブナ (施設)	2	—	南丹市日吉町田原 殿田	—
ハウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市伏見区淀 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	苗立枯病、馬鹿苗病、籾枯細菌病、白葉枯病、縞葉枯病、イネクロカメムシ、フタオビコヤガ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、フタスジヒメハムシ、ハダニ類、サヤムシガ類
	小豆		モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、オオタバコガ
果樹等	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、カメムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類	赤星病、うどんこ病、アブラムシ類
	ブドウ	べと病	フタテンヒメヨコバイ、ハダニ類
	カキ	カキノヘタムシガ、カメムシ類	炭そ病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ

作物		指定病虫害	指定外病虫害
果樹等	茶樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、ツماغロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
	キュウリ	べと病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、褐斑病、モザイク病、アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
野	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	葉かび病、うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類
	トウガラシ		うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、タバコガ
菜	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	べと病、ヨトウガ、モンシロチョウ、ウワバ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ
	カブ		軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、コナガ、ハモグリバエ類
	ミズナ ミブナ		コナガ、キスジノミハムシ
	ホウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、ヨトウガ、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1)いちご、きく、キャベツ、きゅうり、さといも、すいか、だいこん、大豆、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、ばれいしょ及びほうれんそうのアブラムシ類
- (2)イネミズゾウムシ
- (3)カキノヘタムシガ
- (4)かき、かんきつ、キウイフルーツ、なし、びわ及びもものカメムシ類
- (5)カンシャコバネナガカメムシ
- (6)大豆の吸実性カメムシ類
- (7)コナガ
- (8)コブノメイガ
- (9)すもも、なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (10)セジロウンカ
- (11)ツマグロヨコバイ
- (12)トビイロウンカ
- (13)ニカメイガ
- (14)ハスモンヨトウ
- (15)おうとう、かき、かんきつ、茶、なし、もも及びりんごのハダニ類
- (16)かき、かんきつ、茶、なし、ぶどう、もも及びりんごのハマキムシ類
- (17)斑点米カメムシ類
- (18)ヒメトビウンカ

2 指定有害植物（30種類）

- (1)いちご、きゅうり、トマト、なす及びレタスのはいろいろかび病菌
- (2)いねいもち病菌
- (3)いねもんがれ病菌
- (4)かんきつかいよう病菌
- (5)かんきつこくてん病菌
- (6)かんきつそうか病菌
- (7)きくしろさび病菌
- (8)キャベツ及びレタスのきんかく病菌
- (9)キャベツくろぐされ病菌
- (10)きゅうり、なす及びピーマンのうどんこ病菌
- (11)きゅうりべと病菌
- (12)たまねぎ及びねぎのさび病菌
- (13)茶たんそ病菌
- (14)トマト及びばれいしょのえき病菌
- (15)なしくろほし病菌
- (16)なしこくはん病菌
- (17)ぶどうべと病菌
- (18)むぎあかかび病菌類
- (19)むぎうどんこ病菌類
- (20)ももせんこうさいきん病菌
- (21)りんごはんてんらくよう病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発表時期	発表内容	主な提供方法・提供先 (提供数)
予 報	4月～10月、2月～3月の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約30) 地方振興局・普及センター、研究機関 ・JPPネット送信(一) 国・他府県関係 ・FAX送信(約110) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付(約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信(約5) ・ホームページに掲載
警 報	発表なし		
注意報	5月15日 7月5日 8月8日	第1号：豆、野菜全般 アブラムシ類とウイルス病 第2号：水稲 斑点米カメムシ類 第3号：水稲 いもち病(穂いもち)	予報と同じ
特殊報	発表なし		
技 術 情 報 (防除所ニュース)	4月8日 5月23日 7月5日 9月2日 10月8日 11月13日	第1号：麦類 赤かび病情報 第2号：茶 病虫害情報 第3号：水稲 葉いもち情報 第4号：水稲 トビイロウンカ情報 第5号：茶 病虫害情報(炭そ病、クロシロカイガラムシ) 第6号：QoI剤耐性イネいもち病菌の発生について	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約30) ・FAX送信(約110) ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月、2月～3月の各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づく発生病虫害全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約10) 普及センター等 ・一部、ホームページに掲載
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

(Ⅱ) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稲

生育概要

ア 早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月19日 移植期：5月10日）

茎数は平年比94の604本/m²（6月28日）、幼穂形成期は平年比2日早い7月5日、出穂期は平年比5日早い7月26日、成熟期は平年比4日早い9月1日、有効穂数は平年比108の448本/m²であった。

イ 普通植（コシヒカリ、日本晴 播種期：5月4日 移植期：5月24日）

コシヒカリ：茎数は平年比93の531本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比2日早い7月13日、出穂期は平年比3日早い8月4日、成熟期は平年比3日早い9月9日、有効穂数は平年比108の426本/m²であった。

日本晴：茎数は平年比114の671本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比2日早い7月21日、出穂期は平年比2日早い8月14日、成熟期は平年比3日早い9月25日、有効穂数は平年比102の390本/m²であった。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

6月に中丹地域で発生を認めた。

イ 葉いもち（指定）

7月～8月に本田で発生を確認した。7月に平年比やや少なく、8月に平年比やや多い発生であったが、全般的には平年並の発生であった。なお、中丹地域の一部でストロビルリン系薬剤（Q o I 剤）耐性菌の発生を確認した。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
25年	山城	—	—	—	—
	南丹	6	21	0.0	0.0
	中丹	5	14	0.0	0.0
	丹後	9	34	0.0	0.0
24年	山城	—	—	—	—
	南丹	6	31	0.0	0.0
	中丹	6	11	0.0	0.0
	丹後	9	22	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 カ所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
25年	山城	6	5	48	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	10	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	3	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	3	5	0	0	0.0	0.0
24年	山城	6	6	48	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	2	13	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	7	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	4	8	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		24年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平均	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		24年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平均	—	32.4	9.7	2.5	—
	*8・3～4	25年	6	66.7	7.0	—	0.11
		24年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平均	—	32.1	5.0	—	0.04
南丹	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		24年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平均	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	25年	9	11.1	10.7	2.7	—
		24年	9	33.3	17.8	6.9	—
		平均	—	46.5	24.1	7.0	—
	*8・3～4	25年	9	33.3	12.0	—	0.38
		24年	9	33.3	3.1	—	0.00
		平均	—	38.3	8.9	—	0.18
中丹	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		24年	6	33.3	2.7	0.7	—
		平均	—	4.8	0.4	0.1	—
	7・3～4	25年	6	16.7	6.0	1.5	—
		24年	6	16.7	8.0	2.0	—
		平均	—	31.0	9.1	2.6	—
	*8・3～4	25年	6	16.7	1.3	—	0.07
		24年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平均	—	20.5	3.7	—	0.08
丹後	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		24年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平均	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		24年	9	11.1	4.9	1.3	—
		平均	—	15.6	3.1	0.8	—
	*8・3～4	25年	9	0.0	0.0	—	0.00
		24年	9	11.1	8.4	—	0.34
		平均	—	15.3	2.7	—	0.05

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	3.3	3.3	93.4

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並であった。7月下旬～8月上旬にかけて、気温は平年並、降水量は平年比多く、日照時間は少なく推移したことから、8月、9月に平年比やや多い発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	24	0.0	0.0	0.0	4.2	95.8
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	30.0	70.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半月)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病葉率(%)
山城	8・3～4	25年	0	—	—	—
		24年	0	—	—	—
		平均	—	0.0	0.0	0.00
	9・3～4	25年	6	33.3	9.3	0.38
		24年	5	0.0	0.0	0.00
		平均	—	15.2	1.6	0.08
南丹	8・3～4	25年	9	11.1	9.8	0.29
		24年	9	0.0	0.0	0.00
		平均	—	9.6	2.3	0.08
	9・3～4	25年	4	25.0	5.0	0.27
		24年	2	0.0	0.0	0.00
		平均	—	20.7	7.5	1.30
中丹	8・3～4	25年	6	0.0	0.0	0.00
		24年	6	0.0	0.0	0.00
		平均	—	6.0	0.8	0.04
	9・3～4	25年	0	—	—	—
		24年	1	0.0	0.0	0.00
		平均	—	18.6	4.2	0.90
丹後	8・3～4	25年	9	0.0	0.0	0.00
		24年	9	11.1	1.8	0.08
		平均	—	3.2	0.3	0.01
	9・3～4	25年	0	—	—	—
		24年	0	—	—	—
		平均	—	13.0	0.9	0.04

エ 紋枯病（指定）

8月～9月に発生を確認し、全般的には平年並の発生であった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	26.7	70.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半月)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	
山城	7・3～4	25年	6	0.0	0.0	0.0	
		24年	6	0.0	0.0	0.0	
		平均	—	15.7	3.0	0.5	
	8・3～4	25年	6	6	50.0	3.3	0.8
		24年	6	6	0.0	0.0	0.0
		平均	—	—	44.5	9.8	2.9
	9・3～4	25年	6	6	83.3	15.3	6.3
		24年	5	5	80.0	20.8	8.2
		平均	—	—	68.9	15.2	5.2
南丹	7・3～4	25年	9	0.0	0.0	0.0	
		24年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平均	—	—	21.3	2.5	0.5
	8・3～4	25年	9	9	44.4	13.8	6.1
		24年	9	9	22.2	5.8	1.6
		平均	—	—	46.5	7.1	2.6
	9・3～4	25年	4	4	0.0	0.0	0.0
		24年	2	2	100.0	16.0	5.0
		平均	—	—	75.8	18.5	5.9
中丹	7・3～4	25年	6	6	0.0	0.0	0.0
		24年	6	6	0.0	0.0	0.0
		平均	—	—	8.6	1.0	0.3
	8・3～4	25年	6	6	0.0	0.0	0.0
		24年	6	6	33.3	2.7	0.7
		平均	—	—	34.3	4.6	1.6
	9・3～4	25年	0	0	—	—	—
		24年	1	1	0.0	0.0	0.0
		平均	—	—	14.3	1.5	0.6
丹後	7・3～4	25年	9	9	0.0	0.0	0.0
		24年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平均	—	—	12.0	0.4	0.1
	8・3～4	25年	9	9	22.2	4.4	1.2
		24年	9	9	11.1	1.3	0.4
		平均	—	—	16.2	1.1	0.3
	9・3～4	25年	0	0	—	—	—
		24年	0	0	—	—	—
		平均	—	—	31.0	2.1	0.5

- オ 苗立枯病
4月～5月に発生を認めた。
- カ 白葉枯病
発生を認めなかった。
- キ 靱枯細菌病
5月に中丹地域で発生を認めた。
- ク 黄化萎縮病
発生を認めなかった。
- ケ 馬鹿苗病
5月に中丹地域で発生を認めた。
- コ 縞葉枯病
発生を認めなかった。

サ ヒメトビウンカ（指定）
越冬密度は平年比やや高かった。

本田では6月、7月、8月に平年比多い発生であった。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	25年	4	75.0	1.5	100.0
	24年	4	25.0	0.3	100.0
南丹	25年	4	0.0	0.0	—
	24年	4	25.0	0.5	100.0
中丹	25年	4	25.0	0.3	100.0
	24年	4	25.0	0.3	100.0
丹後	25年	4	75.0	4.8	94.7
	24年	4	0.0	0.0	—

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	16.6	0.2	4	0.0	0.0
		平均	—	3.1	0.03	—	0.0	0.0
	7・3～4	25年	6	66.7	2.2	6	100.0	4.5
		24年	6	50.0	2.0	6	50.0	1.0
		平均	—	41.0	1.7	—	25.5	1.9
	8・3～4	25年	6	83.3	11.0	6	100.0	23.3
		24年	6	66.7	3.2	6	83.3	16.5
		平均	—	35.5	1.5	—	76.0	7.2
南丹	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	55.6	0.7
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平均	—	2.0	0.02	—	3.1	0.03
	7・3～4	25年	9	33.3	0.4	9	22.2	0.2
		24年	9	0.0	0.0	9	33.3	0.3
		平均	—	16.3	0.3	—	13.8	0.2
	8・3～4	25年	9	55.6	2.1	9	66.7	55.2
		24年	9	11.1	0.1	9	88.9	8.9
		平均	—	23.7	1.3	—	68.3	9.8
中丹	6・3～4	25年	6	16.7	0.2	6	16.7	0.2
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平均	—	0.0	0.0	—	4.5	0.1
	7・3～4	25年	6	50.0	1.3	6	16.7	0.2
		24年	6	50.0	0.5	6	16.7	0.2
		平均	—	18.3	0.3	—	11.2	0.2
	8・3～4	25年	6	83.3	3.2	6	100.0	277.8
		24年	6	16.7	0.2	6	83.3	6.8
		平均	—	15.7	0.4	—	66.4	6.6
丹後	6・3～4	25年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平均	—	2.0	0.02	—	4.0	0.04
	7・3～4	25年	9	44.4	1.2	9	100.0	6.1
		24年	9	22.2	0.2	9	11.1	0.1
		平均	—	20.9	0.4	—	14.4	0.2
	8・3～4	25年	9	88.9	3.9	9	100.0	151.0
		24年	9	66.7	0.9	9	88.9	7.6
		平均	—	35.0	0.9	—	68.4	8.2

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
7・3～4	30	0.0	0.0	6.7	53.3	40.0
8・3～4	30	36.7	20.0	16.7	16.7	10.0

シ ツマグロヨコバイ（指定）

越冬密度は平年並であった。

本田では6月に平年比多く、7月、8月に平年並の発生であった。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	25年	4	100.0	11.0	100.0
	24年	4	75.0	1.5	83.3
南丹	25年	4	25.0	0.3	100.0
	24年	4	0.0	0.0	—
中丹	25年	4	0.0	0.0	—
	24年	4	0.0	0.0	—
丹後	25年	4	25.0	5.3	95.2
	24年	4	25.0	0.5	0.0

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		24年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		平均	—	1.4	0.1	—	6.0	0.1
	7・3～4	25年	6	16.7	6.0	6	66.7	8.0
		24年	6	66.7	4.3	6	16.7	3.0
		平均	—	46.7	4.4	—	40.2	6.9
8・3～4	25年	6	100.0	4.7	6	83.3	6.2	
	24年	6	66.7	9.5	6	100.0	110.0	
	平均	—	74.7	14.4	—	89.8	105.0	
南丹	6・3～4	25年	9	33.3	1.4	9	11.1	12.9
		24年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		平均	—	2.1	0.02	—	6.2	0.1
	7・3～4	25年	9	44.4	6.9	9	22.2	0.7
		24年	9	22.2	4.4	9	22.2	0.7
		平均	—	41.1	4.4	—	35.3	1.8
8・3～4	25年	9	44.4	4.4	9	55.6	110.8	
	24年	9	44.4	3.9	9	66.7	15.3	
	平均	—	30.4	2.2	—	64.1	77.5	
中丹	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平均	—	0.0	0.0	—	4.3	0.03
	7・3～4	25年	6	16.7	0.7	6	0.0	0.0
		24年	6	16.7	0.5	6	0.0	0.0
		平均	—	32.2	0.7	—	22.1	0.6
8・3～4	25年	6	16.7	0.5	6	66.7	4.3	
	24年	6	16.7	1.0	6	50.0	3.7	
	平均	—	23.1	0.9	—	40.7	13.7	
丹後	6・3～4	25年	9	13.3	0.7	9	10.0	3.8
		24年	9	3.3	0.03	9	0.0	0.0
		平均	—	1.8	0.04	—	4.5	0.1
	7・3～4	25年	9	22.2	0.7	9	22.2	1.2
		24年	9	33.3	1.4	9	22.2	0.3
		平均	—	48.9	2.9	—	32.6	2.3
8・3～4	25年	9	55.6	0.9	9	44.4	48.3	
	24年	9	22.2	1.0	9	33.3	9.1	
	平均	—	43.8	3.3	—	69.3	42.4	

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	3.3	6.7	90.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	26.7	73.3
8・3～4	30	0.0	0.0	13.3	46.7	40.0

ス セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺・亀岡で平年比早く、京丹後で平年比やや早かった。飛来数は平年並であった。

本田では7月に平年並、8月に平年比やや多い発生となった。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
25年	6.17	6.17	6.28
24年	7.28	7.19	7.5
平年	7.8	7.3	7.1

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		平均	—	0.0	0.0	—	1.7	0.03
	7・3～4	25年	6	83.3	6.0	6	83.3	4.3
		24年	6	83.3	21.0	6	66.7	3.3
		平均	—	75.7	14.9	—	71.2	28.5
	8・3～4	25年	6	83.3	26.7	6	100.0	19.5
		24年	6	100.0	33.7	6	100.0	86.3
		平均	—	82.9	17.3	—	100.0	97.8
南丹	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平均	—	0.0	0.0	—	1.0	0.01
	7・3～4	25年	9	100.0	4.1	9	77.8	2.9
		24年	9	77.8	1.9	9	55.6	1.4
		平均	—	69.1	7.6	—	64.3	8.8
	8・3～4	25年	9	100.0	9.2	9	55.6	9.0
		24年	9	88.9	20.4	9	100.0	43.8
		平均	—	63.8	9.4	—	92.8	68.6
中丹	6・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平均	—	1.4	0.01	—	0.0	0.0
	7・3～4	25年	6	66.7	7.0	6	33.3	0.8
		24年	6	66.7	3.7	6	33.3	0.8
		平均	—	48.4	3.4	—	54.5	5.5
	8・3～4	25年	6	100.0	13.0	6	100.0	44.8
		24年	6	83.3	4.0	6	100.0	23.7
		平均	—	63.1	4.7	—	92.9	45.4
丹後	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平均	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～4	25年	9	77.8	3.0	9	77.8	2.0
		24年	9	100.0	15.7	9	55.6	3.1
		平均	—	72.9	5.7	—	69.3	17.2
	8・3～4	25年	9	100.0	5.6	9	100.0	65.9
		24年	9	83.3	5.8	9	100.0	25.1
		平均	—	66.9	6.5	—	93.0	46.6

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	70.0	30.0
8・3～4	30	0.0	0.0	6.7	80.0	13.3

セ トビイロウンカ（指定）

予察灯での誘殺は、8月中旬以降に認められた。飛来数は平年比多かった。本田では8月、9月に山城・南丹地域で発生を認めた。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
25年	(8.20)	(8.21)	(8.21)
24年	—	—	(9.10)
平年	7.16		7.21

* 8月以降の初飛来日は()で記載。
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	7・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	16.6	0.3
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	25年	6	66.7	1.7	6	50.0	0.7
		24年	5	0.0	0.0	—	—	—
南丹	7・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	25年	4	25.0	0.3	4	50.0	0.5
		24年	2	0.0	0.0	—	—	—
中丹	7・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	25年	0	—	—	0	—	—
		24年	1	0.0	0.0	—	—	—
丹後	7・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	25年	0	—	—	0	—	—
		24年	0	—	—	—	—	—

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合 (20回すくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

ソ ニカメイガ (指定)

予察灯では5月上旬と6月中旬に誘殺を認めた。
本田では6月～7月に中丹・丹後地域で発生を認めた。

タ コブノメイガ (指定)

7～9月に発生を確認した。7月、8月に平年並、9月に平年比やや多い発生であった。

チ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は京田辺・亀岡で平年比遅く、京丹後で平年比やや遅かった。飛来数は平年比やや少なかった。

本田では5月に平年比やや多く、6月に平年並の発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
25年	5.21	56	5.12	266	5.10	163
24年	6.11	46	5.8	115	4.30	108
平年	6.14	49.0	5.3	171.0	5.5	99.7

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査（6月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	25年	6	100.0	22.0	5.5	0.0
	24年	6	50.0	11.3	2.8	0.0
	平均	—	66.9	23.1	6.6	0.6
南丹	25年	9	100.0	71.1	18.3	0.3
	24年	9	88.9	69.3	31.6	3.0
	平均	—	85.5	59.7	19.9	1.8
中丹	25年	6	83.3	54.0	13.5	0.0
	24年	6	100.0	39.3	10.0	0.8
	平均	—	86.9	42.6	11.4	0.9
丹後	25年	9	66.7	19.6	4.9	0.0
	24年	9	88.9	50.2	16.9	0.8
	平均	—	88.8	41.6	11.1	0.7

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～4	20	0.0	0.0	10.0	80.0	10.0
6・3～4	30	0.0	0.0	16.7	70.0	13.3

ツ 斑点米カメムシ類（指定）

畦畔雑草では6月に平年比多く、7月に平年比やや多く、8月に平年比多い発生であった。

本田では6月に平年比多く、7月に平年並、8月に平年比やや多い発生であった。

種別では、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシの割合が高かった。ミナミアオカメムシについて、予察灯では5月下旬～11月上旬に京田辺で誘殺を認めた。本田では9月に山城地域で発生を認めた。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	10.0	16.7	73.3
7・3～4	30	0.0	0.0	3.3	13.3	83.3
8・3～4	30	0.0	0.0	16.7	36.7	46.7
9・3～4	10	0.0	0.0	10.0	30.0	60.0

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～4	30	13.3	3.3	23.3	43.3	16.7
7・3～4	30	6.7	16.7	16.7	26.7	33.3
8・3～4	30	10.0	13.3	20.0	23.3	33.3

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	本田			畦畔			
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	
山城	6・3～4	25年	6	16.7	0.5	6	83.3	78.2	
		24年	6	0.0	0.0	6	66.7	4.8	
		平均	—	1.4	0.04	—	41.4	2.6	
	7・3～4	25年	6	33.3	1.2	6	100.0	35.8	
		24年	6	33.3	0.7	6	83.3	50.8	
		平均	—	19.8	0.3	—	69.0	16.7	
	8・3～4	25年	6	50.0	0.7	6	100.0	44.7	
		24年	6	33.3	0.3	6	66.7	14.5	
		平均	—	21.2	0.6	—	60.5	6.2	
	9・3～4	25年	6	33.3	1.8	—	—	—	
		24年	9	11.1	0.3	9	88.9	3.0	
		24年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3	
平均		—	3.1	0.03	—	32.7	1.2		
南丹	6・3～4	25年	9	0.0	0.0	9	44.4	4.2	
		24年	9	22.2	0.2	9	33.3	0.3	
		平均	—	13.4	0.3	—	44.1	4.0	
	7・3～4	25年	9	44.4	1.6	9	44.4	2.6	
		24年	9	55.6	1.1	9	22.2	0.7	
		平均	—	45.4	1.2	—	38.1	3.0	
	8・3～4	25年	4	50.0	1.0	—	—	—	
		24年	6	16.7	0.7	6	66.7	4.7	
		24年	6	0.0	0.0	6	50.0	2.7	
		平均	—	6.4	0.1	—	34.1	2.3	
	中丹	6・3～4	25年	6	33.3	0.5	6	66.7	1.2
			24年	6	0.0	0.0	6	66.7	1.8
平均			—	20.7	0.4	—	49.8	3.3	
7・3～4		25年	6	66.7	1.8	6	83.3	4.2	
		24年	6	33.3	2.0	6	66.7	2.0	
		平均	—	55.5	1.3	—	42.9	1.7	
8・3～4		25年	0	—	—	—	—	—	
		25年	9	55.6	1.3	9	88.9	2.9	
		24年	9	0.0	0.0	9	55.6	3.0	
		平均	—	1.1	0.01	—	47.8	2.9	
丹後		6・3～4	25年	9	11.1	0.3	9	66.7	4.7
			24年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.6
	平均		—	11.4	0.2	—	40.9	5.3	
	7・3～4	25年	9	55.6	2.3	9	55.6	3.0	
		24年	9	22.2	0.4	9	66.7	1.3	
		平均	—	30.6	0.7	—	28.8	1.2	
	8・3～4	25年	0	—	—	—	—	—	
		25年	9	—	—	—	—	—	
		24年	9	—	—	—	—	—	
		平均	—	—	—	—	—	—	

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種別構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシ カメムシ	ホソハラカメムシ	クモハラカメムシ	コハネヒョウタン ナガカメムシ	アカヒゲホソミドリ カスミカメ	アカシ カスミカメ	その他
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

- テ イネツトムシ（イチモンジセセリ）
6月、7月に平年比多い発生であった。
- ト フタオビコヤガ
広域で、6月～8月に発生を認めた。
- ナ イネクロカメムシ
7月に丹後地域、8月に南丹地域で発生を認めた。
- ニ スクミリンゴガイ
山城で発生を認めた。

(2)麦類

病害虫の発生状況

ア 赤かび病

巡回調査(5月中旬)では、小麦、二条大麦とも発生を認めなかった(平年並)。

表 麦類における赤かび病の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	小麦			二条大麦		
		発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)	発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)
5・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	0.3	10.0	6.6	0.9	20.0

注)調査場所:(小麦)綾部市、福知山市、南丹市、(二条大麦)亀岡市

(3)黒大豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名	7月	8月	9月	10月(莢)	全期間
アブラムシ類	やや少(-)	並(-)	少	-	少
吸実性カメムシ類	-	少(-)	並	-	並
ハスモンヨトウ	-	並(-)	やや少	-	やや少
モザイク病	並	-	-	-	並
べと病	-	並	やや多	-	やや多
葉焼病	-	並	並	-	並
ハダニ類	多	やや多	多	-	多
フスジヒメムシ	並(-)	少(-)	並	やや少	並
サヤムシガ類	並	並	やや少(-)	-	並
チョウ目害虫	-	-	-	少	-

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(7~9月)

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類			吸実性カメムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	寄生株確 認 ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a
7・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-
	24年	1.0	1.1	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	平年	1.0	0.5	14.5	-	-	-	-	-	-	-
8・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.5	50.0	0.5
	24年	0.0	0.0	0.0	3.5	1.1	75.0	1.0	0.5	25.0	1.5
	平年	1.5	1.9	17.5	2.3	0.7	31.3	1.2	1.4	22.5	0.7
9・3~4	25年	6.0	6.6	87.5	1.5	0.5	37.5	2.0	0.5	37.5	2.1
	24年	7.0	13.0	75.0	2.0	1.5	25.0	1.0	0.8	25.0	4.3
	平年	22.9	48.4	80.0	2.0	0.9	23.8	6.2	3.5	46.3	4.2

調査時期 (月・半 旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)
7・3~4	25年	1.3	62.5	-	-	-	-	-	-
	24年	2.3	62.5	-	-	-	-	-	-
	平年	1.9	39.2	-	-	-	-	-	-
8・3~4	25年	-	-	0.5	0.13	12.5	9.5	2.50	37.5
	24年	-	-	6.5	1.63	37.5	12.5	3.13	62.5
	平年	-	-	5.4	0.72	17.5	9.5	1.88	47.5
9・3~4	25年	-	-	38.0	9.50	75.0	44.0	12.25	75.0
	24年	-	-	23.0	5.75	37.5	31.0	8.13	75.0
	平年	-	-	20.0	4.30	37.5	48.1	12.82	86.3

調査時期 (月・半 旬)	年次	ハダニ類			フスジヒメムシ			サヤムシガ類			被害株確 認 ほ率 (%)
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	200莢当 虫数 (頭)	
7・3~4	25年	1.5	0.5	37.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.4	-	100.0
	24年	0.5	0.3	12.5	2.0	0.5	37.5	8.0	2.1	-	87.5
	平年	0.2	0.1	4.8	0.9	0.2	15.0	4.0	1.0	-	74.8
8・3~4	25年	10.0	17.1	37.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.9	-	75.0
	24年	21.0	82.0	75.0	2.0	0.5	37.5	4.5	1.1	-	100.0
	平年	4.4	13.4	32.5	2.3	0.8	26.3	2.2	0.6	-	80.0
9・3~4	25年	50.5	204.8	100.0	11.0	3.4	75.0	0.0	-	0.0	0.0
	24年	2.5	2.1	37.5	10.0	2.8	75.0	0.5	-	0.1	12.5
	平年	11.8	43.5	63.8	17.0	7.2	70.0	1.1	-	0.6	21.3

注：サヤムシガ類の確認ほ率は、7月中旬、8月中旬は被害確認ほ場、9月中旬は寄生確認ほ場

表3 巡回調査結果(10月)

調査時期	年次	フスジヒメムシ		チョウ目害虫	
		食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)	食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)
10・3~4	25年	7.9	87.5	1.1	50.0
	24年	21.4	100.0	7.3	100.0
	平年	14.9	98.8	2.8	87.8

(4)小豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	やや少	—	—	やや少
アブラムシ類	やや少(-)	やや多	—	やや多
ハスモンヨトウ	並	並	—	並
うどんこ病	—	並(-)	—	並(-)
炭そ病	並(-)	並(-)	—	並(-)
さび病	並(-)	やや多	—	やや多
ハダニ類	並(-)	やや多	—	やや多
サヤムシガ類	やや少(-)	少(-)	—	やや少(-)
アズキノメイガ	—	やや多	—	やや多
マメノメイガ	—	並	—	並
チョウ目害虫	—	—	並	—

— : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果 (8~9月)

調査時期 (月・半旬)	年次	ザイ病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	寄生株確 認 ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a
8・3~4	25年	0.6	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	24年	1.8	50.0	0.5	0.5	12.5	1.0	0.3	25.0	0.3
	平年	1.6	43.0	0.6	0.3	15.3	0.3	0.1	7.0	0.3
9・3~4	25年	—	—	1.1	0.3	28.6	5.7	1.7	100.0	0.1
	24年	—	—	0.5	0.1	12.5	5.5	1.5	67.5	0.3
	平年	—	—	0.7	0.4	15.0	4.9	2.2	46.0	1.2

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		炭そ病		さび病		ハダニ類		
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
8・3~4	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	2.3	0.3	2.5	0.2	0.1	4.3
9・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	42.9	5.1	4.4	42.9
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	7.0	11.1	50.0
	平年	0.2	3.0	3.6	15.0	7.8	18.0	3.1	5.8	27.5

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	被害株確 認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	被害株確 認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	200花・莢 当 虫数 (頭)	寄生株確 認 ほ率 (%)
8・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	24年	1.0	0.3	12.5	—	—	—	—	—	—
	平年	0.8	0.2	11.0	—	—	—	—	—	—
9・3~4	25年	0.0	0.0	0.0	2.9	0.7	2.9	12.0	3.3	57.1
	24年	1.0	0.3	25.0	1.0	0.3	1.5	28.5	10.3	100.0
	平年	1.3	0.3	37.0	1.5	0.5	3.3	13.1	2.5	57.3

表3 巡回調査結果 (10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)
10・3~4	25年	14.6	100.0
	24年	21.2	100.0
	平年	21.6	98.9

(5)カンキツ
病虫害発生状況

表1 発生量の平年比較

病虫害名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	やや少(-)	やや少	並	並	少(-)	少	やや少
ヤノネカイガラムシ	少(-)	やや少	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
ミカンハモグリガ	並	やや少	やや多	多	多	多	多

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病		ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ	
		寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
4・3～4	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.7	33.3
	24年	—	—	2.7	33.3	0.7	—	66.7	1.3	33.3
	平年	—	—	8.1	50.0	2.2	—	55.5	1.3	40.7
5・3～4	25年	—	—	1.0	33.3	0.3	—	33.3	0.3	33.3
	24年	—	—	5.7	100.0	0.0	—	0.0	2.7	33.3
	平年	—	—	19.2	86.7	2.5	—	50.0	2.1	40.0
6・3～4	25年	—	—	9.3	100.0	0.0	—	0.0	0.7	33.3
	24年	—	—	6.7	100.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	16.9	76.7	0.8	0.0	33.4	0.6	13.3
7・3～4	25年	0.0	0.0	6.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	100.0
	24年	0.0	0.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	11.7	80.0	1.0	0.1	30.0	0.3	16.7
8・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	100.0
	24年	0.0	0.0	18.3	100.0	1.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	16.5	76.7	1.8	0.6	43.3	1.1	30.0
9・3～4	25年	0.0	0.0	6.7	66.7	1.0	0.3	66.7	5.0	100.0
	24年	0.0	0.0	41.3	66.7	0.0	0.0	0.0	2.3	66.7
	平年	0.0	0.0	27.2	93.3	2.8	0.3	53.3	2.2	40.0

(6)ナシ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	少(-)	並	並	やや少	多	やや多	やや多
黒星病	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
赤星病	やや多	並	やや少	並	並	並(-)	並
うどんこ病	—	—	—	多	多	やや多	多
ハダニ類	やや多	並	やや多	多	少	少	やや多
シンクイムシ類	—	—	—	並(-)	—	—	並(-)

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	25.0
	24年	0.7	66.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	54.6	0.5	7.3	0.3	6.4
6・3～4	25年	0.8	20.0	0.0	0.0	1.5	41.7
	24年	0.0	80.0	0.0	0.0	1.6	45.5
	平年	2.7	68.4	1.9	31.5	1.6	35.0
7・3～4	25年	1.2	60.0	0.0	0.0	0.3	16.7
	24年	0.4	20.0	0.0	0.0	0.9	45.5
	平年	3.3	52.6	2.2	30.5	1.5	32.5
8・3～4	25年	3.8	100.0	0.0	0.0	0.2	8.3
	24年	3.8	60.0	0.3	25.0	1.3	54.5
	平年	8.2	80.5	0.3	11.1	0.8	19.6
9・3～4	25年	20.0	100.0	0.0	0.0	0.3	16.7
	24年	5.6	80.0	0.3	25.0	0.6	45.5
	平年	5.1	71.5	0.2	13.0	0.4	14.4
10・3～4	25年	14.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	5.0	80.0	0.3	25.0	0.0	0.0
	平年	6.9	75.8	0.7	21.3	0.3	13.2

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		ハダニ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	25年	—	—	0.7	16.7
	24年	—	—	0.3	20.0
	平年	—	—	0.8	15.9
6・3～4	25年	—	—	4.9	41.7
	24年	—	—	3.3	54.5
	平年	—	—	4.2	44.4
7・3～4	25年	0.3	16.7	30.4	83.3
	24年	0.0	0.0	18.4	40.0
	平年	0.4	2.9	18.6	60.4
8・3～4	25年	4.6	41.7	19.0	75.0
	24年	0.0	0.0	11.7	54.5
	平年	0.8	12.8	8.2	46.2
9・3～4	25年	8.7	33.3	0.5	16.7
	24年	0.9	36.4	2.8	18.2
	平年	2.9	25.7	9.1	44.6
10・3～4	25年	27.7	91.7	0.1	8.3
	24年	15.8	81.8	1.7	45.5
	平年	20.6	70.4	7.0	54.6

(7)ブドウ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	多	少(-)	やや少	少	やや少
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果 (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.0	0.0	1.1
6・3～4	25年	1.0	33.3	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	7.0	0.2	11.0
7・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	4.2	60.0	0.0	0.0
	平年	5.7	40.4	0.3	7.0
8・3～4	25年	10.5	83.3	0.0	0.0
	24年	19.8	60.0	0.0	0.0
	平年	17.3	54.8	1.0	12.3
9・3～4	25年	9.5	66.7	0.0	0.0
	24年	25.0	60.0	0.2	20.0
	平年	30.5	64.1	0.4	11.1

(8)カキ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	やや少(-)	多	やや多	並	並	並	やや多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	やや少(-)	やや少	やや少
炭そ病	—	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	やや多	並(-)	やや多
カメムシ類	—	—	並(-)	並(-)	並	並	並
チャノイロザミマ	—	—	並(-)	多	やや多	多	多
カキタアザミマ	やや少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並	並	やや多

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病	
		発病率	ほ場率	発病率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	25年	0.0	0.0	—	—	—	—
	24年	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	0.5	27.4	—	—	—	—
6・3～4	25年	44.3	100.0	—	—	0.0	0.0
	24年	7.0	100.0	—	—	0.0	0.0
	平年	12.5	98.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	25年	49.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	27.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.9	100.0	0.2	6.0	0.0	0.0
8・3～4	25年	31.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	27.7	100.0	1.7	100.0	1.3	66.7
	平年	31.0	100.0	0.4	18.7	0.1	6.7
9・3～4	25年	38.3	100.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	24年	17.0	100.0	0.3	33.3	2.0	100.0
	平年	31.9	96.0	2.3	34.7	0.3	14.0
10・3～4	25年	56.0	100.0	4.3	66.7	0.0	0.0
	24年	36.3	100.0	14.3	66.7	1.3	66.7
	平年	55.7	98.0	20.1	82.0	0.9	18.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキノヘタムシガ		カメムシ類		チャノイロザミマ	
		被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率
7・3～4	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	—	—	0.0	0.0	0.7	33.3
	平年	—	—	0.0	2.0	0.1	5.3
8・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	100.0
	24年	0.0	0.0	2.7	66.7	6.7	100.0
	平年	0.0	0.0	0.3	10.7	0.8	16.7
9・3～4	25年	0.3	33.3	0.3	33.3	6.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	100.0
	平年	0.1	5.3	0.7	15.8	2.3	27.3
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.7	33.3	27.3	100.0
	24年	0.0	0.0	2.0	66.7	15.3	66.7
	平年	0.04	2.0	2.3	31.7	3.3	31.7

調査時期 (月・半旬)	年次	カキタアザミマ				カイガラムシ類			
		被害率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	25年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	24年	0.3	33.3	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	1.0	26.7	—	—	0.1	5.9	—	—
6・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	0.8	23.3	0.1	2.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	24年	—	—	1.3	33.3	—	—	0.7	33.3
	平年	—	—	0.8	15.3	—	—	0.6	11.3
8・3～4	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.7	33.3
	24年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.8	14.0
9・3～4	25年	—	—	0.3	33.3	—	—	0.3	33.3
	24年	—	—	2.0	66.7	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.3	12.0	—	—	0.9	22.5
10・3～4	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	2.0	66.7
	24年	—	—	0.7	33.3	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	1.6	12.0	—	—	2.4	35.0

(9) 茶 樹

生育状況

本年は、3月上旬から4月上旬までの平均気温が高く、新芽の始動が早まる傾向となった。そのため、平成25年の一番茶萌芽日は、自然仕立て園で平年比3日早い4月3日となった。一方、弧状仕立て園では平年比1日遅い4月10日となった。

萌芽日以降の新芽の生育は、4月中旬から5月上旬まで平均気温が低く経過したことから、平年と比較して緩慢に推移し、最終の生育調査日(5月5日)における生育ステージは、自然仕立て園の新芽長が10.6cm(平年差+0.2cm)と平年並であったものの、自然仕立ての新葉数が3.4枚(平年差-0.3枚)、弧状仕立て園では、新芽長が3.8cm(平年差-3.1cm)、新葉数が2.7枚(平年差-0.6枚)と平年より低い値となった。

(宇治茶部発表の「平成25年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病虫害発生状況

ア 炭そ病(指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	多	多	多	多
丹波	やや多	やや多	やや少	多	多	多	やや多
丹後	並	並	やや少	並	多	多	多

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.4	19.0	1.7	50.0	1.5	75.0
	24年	0.5	9.1	0.8	50.0	0.5	50.0
	平年	0.5	14.5	0.7	20.0	1.8	50.0
5. 3~4	25年	0.9	47.1	0.2	16.7	0.0	0.0
	24年	0.2	22.2	0.0	0.0	-	-
	平年	1.1	15.8	0.2	10.0	0.3	10.0
6. 3~4	25年	2.1	36.8	0.7	16.7	0.0	0.0
	24年	3.2	50.0	5.2	50.0	3.5	100.0
	平年	2.3	31.0	1.5	43.5	1.7	41.7
7. 3~4	25年	4.2	59.1	12.5	100.0	0.5	25.0
	24年	1.2	57.1	1.0	50.0	1.0	50.0
	平年	0.5	12.0	0.9	34.5	0.5	25.0
8. 3~4	25年	5.8	59.1	17.2	80.0	3.0	50.0
	24年	3.5	52.4	2.0	66.7	0.0	0.0
	平年	0.6	12.0	2.9	31.7	0.7	25.0
9. 3~4	25年	8.3	76.2	20.0	100.0	4.0	50.0
	24年	5.0	52.4	1.8	66.7	0.0	0.0
	平年	0.9	14.8	1.5	40.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	3.7	42.9	3.2	66.7	4.3	75.0
	24年	3.5	36.4	6.2	100.0	2.0	50.0
	平年	1.2	15.3	1.1	26.7	0.3	8.3

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	やや多	並	並	並
丹波	並	並	並	多	並	並	並
丹後	並	並	並	多	多	並	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.1	4.5	1.5	50.0	1.0	50.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.8	0.3	6.7	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.2	20.0	0.8	25.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.3	3.0	18.3	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	4.1	2.3	16.7	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	3.6	0.6	20.0	0.0	0.0

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	7.7	0.0	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	平年	0.2	7.4	0.0	1.7	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	並	並	やや少	並
丹波	並	並	並	並	並	やや多	並
丹後	並	並	並	並	多	並	並

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	2.7	0.1	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.1	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	25.0
	24年	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.0	1.8	0.3	8.3	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	0.0	1.5	50.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	10.0	0.8	20.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	0.0	2.2	0.6	15.0	0.0	0.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.6	8.3	0.0	0.0

カ 網もち病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	並	並	並	やや少	少	並
丹波	やや少	並	並	やや多	並	やや少	やや少
丹後	並	並	多	やや多	やや少	並	並

表14 越冬状況 平成25年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	25年	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	24年	0.3	0.0	18.2	0.2	0.0	16.7	-	-	-
	平年	1.4	0.4	35.5	1.4	0.6	25.0	0.0	0.0	0.0
3.5	25年	1.5	1.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	1.3	0.7	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.5	1.5	35.2	2.9	1.8	41.7	0.0	0.0	0.0

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	25年	0.1	1.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	1.5	13.5	31.8	5.0	23.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	2.1	17.1	30.9	3.2	16.5	35.0	0.0	0.0	0.0
5. 3～4	25年	1.2	2.2	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.7	5.3	13.6	1.3	2.3	16.7	-	-	-
	平年	2.6	8.5	24.0	3.4	11.7	13.3	0.4	1.0	20.0
6. 3～4	25年	10.9	52.4	63.2	5.7	31.7	66.7	8.5	31.5	50.0
	24年	8.5	52.5	68.2	10.3	77.0	50.0	3.0	7.0	100.0
	平年	9.4	86.6	53.1	10.2	69.8	48.3	1.2	2.0	25.0
7. 3～4	25年	3.7	5.5	31.8	8.8	25.6	60.0	5.5	8.0	75.0
	24年	1.0	1.3	13.6	2.3	22.0	16.7	10.0	34.0	50.0
	平年	2.6	5.1	33.2	3.2	12.7	40.3	3.5	11.2	50.0
8. 3～4	25年	1.0	1.1	27.3	1.0	1.7	16.7	0.5	0.5	25.0
	24年	2.6	8.5	31.8	2.3	5.3	50.0	20.0	78.0	100.0
	平年	3.9	13.7	38.2	1.8	4.5	36.7	8.0	22.5	66.7
9. 3～4	25年	0.2	0.2	9.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	24年	2.0	3.5	13.6	0.7	3.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	6.6	25.7	45.0	3.2	9.7	41.7	10.8	112.7	33.3
10. 3～4	25年	0.2	0.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.2	0.3	4.5	1.3	1.7	33.3	1.0	1.0	50.0
	平年	1.8	7.1	25.0	2.7	11.0	36.7	0.2	0.2	8.3

(参考) 平成26年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	26年	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	1.3	0.4	32.3	1.4	0.6	21.7	0.0	0.0	0.0
3.5	26年	1.6	1.0	38.1	1.0	0.3	16.7	6.0	2.0	25.0
	25年	1.5	1.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.5	1.5	33.8	2.8	1.8	40.0	0.0	0.0	0.0

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	並	多	やや多	やや多	やや多	並
丹波	並	並	やや多	やや少	並	やや少	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	0.2	0.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.1	3.2	0.1	0.6	13.3	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	16.7	-	-	-
	平年	0.0	0.0	1.8	0.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.8	1.7	26.3	0.3	5.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.4	9.1	0.3	1.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.2	5.3	0.5	3.3	21.2	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	0.6	1.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.7	1.8	28.6	5.8	12.0	83.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.4	8.3	1.6	2.8	38.3	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	25年	0.2	2.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.1	1.8	19.0	0.0	0.8	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	1.0	7.4	0.7	1.3	15.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	25年	0.0	2.5	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.2	7.0	42.9	0.0	2.5	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.0	18.8	0.2	2.2	26.7	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	25年	0.1	1.0	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	2.5	22.7	0.2	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.0	7.9	0.2	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0

ケ チャノホソガ

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	やや少	少	やや少	少	少	やや少
丹波	並	並	少	やや少	やや少	やや少	並
丹後	並	並	並	やや少	やや少	並	並

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.2	9.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	24年	-	0.5	18.2	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	平年	1.3	0.1	9.1	1.3	0.0	5.0	-	0.1	8.3
5. 3~4	25年	0.3	0.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	5.6	0.4	38.9	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	2.0	0.6	21.8	0.4	1.0	17.0	1.4	0.0	20.0
6. 3~4	25年	0.3	0.1	10.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	24年	10.6	0.1	31.8	74.0	0.0	16.7	-	0.0	0.0
	平年	13.3	0.1	25.6	31.6	0.4	24.5	38.4	0.0	25.0
7. 3~4	25年	6.1	0.2	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	27.0	4.0	100.0	2.3	0.2	50.0	88.0	3.5	100.0
	平年	13.7	1.0	54.1	3.3	0.8	54.3	23.4	8.4	60.0
8. 3~4	25年	0.7	0.1	13.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	25.0
	24年	4.5	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0	54.0	4.5	100.0
	平年	14.9	3.8	53.3	18.3	1.1	40.0	23.0	1.4	83.3
9. 3~4	25年	0.7	0.8	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	50.0
	24年	14.4	1.3	57.1	0.0	0.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	24.2	8.4	62.1	7.5	1.6	45.7	0.7	0.0	16.7
10. 3~4	25年	9.3	8.0	42.9	3.3	0.8	50.0	0.7	0.0	25.0
	24年	6.1	1.1	36.4	2.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	11.5	13.3	54.0	25.1	4.5	43.3	9.0	3.4	33.3

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	やや少	並	並	やや少	やや少	多
丹波	-	並	やや少	少	やや少	並	並
丹後	-	やや多	-	並	並	並	並

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	2.8	0.2	38.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	24年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	11.0	3.4	68.4	10.7	0.0	100.0	-	-	-
5. 3~4	25年	3.9	3.3	57.1	1.0	0.0	33.3	2.5	0.0	75.0
	24年	1.7	0.9	30.8	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	8.3	25.0	59.6	1.8	1.4	35.5	1.4	0.2	40.0
6. 3~4	25年	23.0	2.8	100.0	8.0	8.4	100.0	-	-	-
	24年	16.6	15.1	83.3	22.0	8.0	100.0	-	-	-
	平年	29.4	26.5	81.9	23.8	14.0	77.8	8.0	1.0	70.0
7. 3~4	25年	62.4	165.6	100.0	4.0	0.0	100.0	7.0	2.5	75.0
	24年	39.1	72.7	100.0	6.0	1.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	平年	49.8	156.8	98.5	19.7	25.5	81.7	10.6	6.6	70.0
8. 3~4	25年	33.7	10.0	90.5	3.2	2.4	60.0	70.0	133.0	100.0
	24年	16.7	23.2	73.7	25.3	0.0	100.0	95.0	609.0	100.0
	平年	33.8	54.8	93.6	32.4	34.6	87.5	41.2	134.7	91.7
9. 3~4	25年	14.4	8.7	81.0	21.0	11.0	100.0	29.0	17.0	100.0
	24年	22.3	5.4	84.2	8.4	1.6	80.0	46.0	8.0	100.0
	平年	26.1	37.4	87.9	22.9	12.9	78.3	31.5	20.5	100.0
10. 3~4	25年	50.2	309.1	100.0	12.3	3.0	100.0	34.7	0.0	100.0
	24年	28.7	15.3	91.7	6.7	0.0	66.7	10.0	4.0	100.0
	平年	27.4	50.5	87.3	22.8	11.0	79.5	25.6	16.2	100.0

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	やや多	多	やや多	多
丹波	-	並	並	やや少	やや少	やや多	やや少
丹後	-	並	-	並	並	やや多	やや多

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	24年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.5	0.0	11.9	0.7	0.0	33.4	-	-	-
5. 3~4	25年	0.3	0.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.2	0.0	14.3	0.3	0.3	16.7	-	-	-
	平年	0.2	0.2	7.1	0.2	0.2	10.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	5.6	6.4	100.0	-	-	-
	24年	1.4	1.7	42.9	2.0	2.0	100.0	-	-	-
	平年	0.8	0.8	10.8	9.4	12.7	63.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	25年	6.0	7.8	62.5	1.0	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	24年	3.0	3.6	42.9	0.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	3.0	19.7	5.4	7.3	42.3	1.6	1.4	20.0
8. 3~4	25年	8.7	5.5	33.3	0.8	0.8	40.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.8	0.8	23.8	1.0	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	2.0	2.1	22.6	7.0	5.8	54.8	0.8	0.2	16.7
9. 3~4	25年	6.7	7.4	57.1	9.0	20.0	100.0	7.5	7.5	75.0
	24年	9.0	14.7	76.2	20.8	22.8	80.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.1	4.6	31.8	8.6	10.8	43.3	6.8	8.3	16.7
10. 3~4	25年	16.7	41.1	54.5	0.3	0.3	16.7	4.7	2.0	66.7
	24年	4.0	8.4	35.7	24.0	14.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	平年	2.9	4.5	25.7	8.4	9.5	40.7	8.6	10.0	40.0

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	やや多	やや少	少	少	やや多	やや多
丹波	-	並	やや多	少	並	多	やや少
丹後	-	並	-	やや少	並	やや多	並

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	0.5	0.5	7.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	24年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.7	7.7	18.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-
5. 3~4	25年	0.7	5.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.1	0.1	7.1	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	0.6	9.0	15.0	0.4	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	20.0	-	-	-
	24年	1.4	2.9	28.6	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	1.0	5.6	18.8	0.7	3.3	24.1	1.2	4.4	20.0
7. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.1	1.3	7.1	0.7	8.3	16.7	3.0	47.0	50.0
	平年	0.3	1.7	10.6	2.2	20.2	40.2	1.4	22.2	40.0
8. 3~4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.8	3.3	23.8	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	50.0
	平年	0.6	2.6	18.6	1.4	11.1	27.7	0.5	1.0	16.7
9. 3~4	25年	1.9	13.0	28.6	9.0	1092.0	100.0	2.5	16.0	50.0
	24年	0.1	0.7	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	4.1	22.4	2.0	9.5	46.7	1.2	3.7	33.3
10. 3~4	25年	0.7	4.0	36.4	1.3	7.0	50.0	0.7	28.7	33.3
	24年	0.1	0.9	7.1	1.3	20.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	2.9	21.2	3.1	18.4	52.7	4.8	71.8	50.0

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	やや多	やや多	並	やや多	多	やや多
丹波	多	やや少	やや多	やや少	並	やや少	やや多
丹後	多	やや少	並	並	やや多	並	やや少

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹波		
		被害芽率 (%)	被害芽数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害芽数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害芽数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	25年	3.5	0.8	42.9	15.3	2.2	66.7	-	4.3	50.0
	24年	-	0.4	4.5	-	3.5	50.0	-	0.0	0.0
	平年	0.3	0.1	2.3	0.0	0.5	11.7	-	0.4	16.7
5. 3~4	25年	1.0	1.1	25.0	1.0	0.2	50.0	9.5	6.3	100.0
	24年	0.3	0.4	11.1	9.3	6.3	66.7	-	-	-
	平年	0.6	1.1	16.3	4.2	10.9	72.7	27.8	47.4	90.0
6. 3~4	25年	1.8	1.2	36.8	3.2	2.0	33.3	-	23.5	100.0
	24年	0.3	0.0	4.5	0.0	3.2	33.3	-	13.5	100.0
	平年	0.7	0.7	13.5	0.6	2.0	38.7	20.4	103.6	100.0
7. 3~4	25年	0.0	0.3	13.6	2.0	0.0	50.0	18.5	23.5	100.0
	24年	0.9	1.2	42.9	10.7	22.2	66.7	54.0	50.5	100.0
	平年	0.3	0.3	13.5	9.7	15.5	73.5	43.4	66.0	100.0
8. 3~4	25年	3.0	1.0	40.9	18.0	3.4	100.0	60.0	27.5	100.0
	24年	0.5	1.8	47.6	25.3	5.7	83.3	0.0	46.5	100.0
	平年	0.8	0.9	31.6	7.9	11.7	65.0	23.7	33.3	91.7
9. 3~4	25年	3.7	3.4	57.1	0.0	0.0	0.0	9.0	33.5	100.0
	24年	0.0	1.0	23.8	1.8	0.0	33.3	0.0	23.0	50.0
	平年	0.5	0.6	15.6	1.1	1.5	42.3	4.8	30.6	91.7
10. 3~4	25年	0.0	0.5	28.6	5.0	0.0	83.3	3.3	2.5	75.0
	24年	3.0	0.4	40.9	0.0	0.0	0.0	4.0	3.5	50.0
	平年	1.0	0.5	16.6	1.2	2.4	37.3	9.2	17.5	83.3

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	多	多	並	やや多	やや多	並
丹波	やや多	多	多	多	並	やや多	並
丹後	多	多	多	多	やや多	多	多

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	25年	37.1	76.2	15.8	66.7	40.0	100.0
	24年	3.9	27.3	0.8	16.7	2.5	50.0
	平年	16.2	52.3	8.3	46.7	0.8	16.7
5. 3～4	25年	31.8	76.5	29.2	100.0	58.8	100.0
	24年	4.7	33.3	5.0	33.3	-	-
	平年	14.6	55.2	9.3	45.0	0.0	0.0
6. 3～4	25年	38.2	73.7	78.3	100.0	57.5	100.0
	24年	16.1	63.6	6.7	50.0	0.0	0.0
	平年	19.1	61.3	16.0	65.0	0.0	0.0
7. 3～4	25年	17.7	54.5	82.5	100.0	55.0	100.0
	24年	3.4	31.8	16.7	100.0	0.0	0.0
	平年	16.4	63.8	16.4	55.0	0.0	0.0
8. 3～4	25年	18.6	72.7	25.0	80.0	72.5	100.0
	24年	16.6	45.5	35.0	66.7	10.0	100.0
	平年	15.3	59.1	22.9	63.3	1.7	16.7
9. 3～4	25年	27.6	71.4	10.0	100.0	26.3	75.0
	24年	22.0	54.5	7.5	66.7	5.0	50.0
	平年	17.1	59.6	8.6	43.3	1.3	16.7
10. 3～4	25年	26.7	71.4	13.3	66.7	46.3	100.0
	24年	27.3	59.1	44.2	100.0	12.5	100.0
	平年	18.7	60.0	20.5	60.0	2.9	33.3

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生箇所 率	発生ほ場 率	寄生箇所 率	発生ほ場 率	寄生箇所 率	発生ほ場 率
4. 3～4	25年	55.0	85.7	50.8	66.7	100.0	100.0
	24年	48.6	90.9	13.3	66.7	100.0	100.0
	平年	58.9	86.4	3.0	20.0	79.0	80.0
5. 3～4	25年	57.3	90.0	50.0	83.3	100.0	100.0
	24年	46.8	77.3	6.7	83.3	-	-
	平年	58.5	75.8	2.3	26.7	77.5	100.0
6. 3～4	25年	63.7	94.7	13.3	50.0	95.0	100.0
	24年	34.5	77.3	14.2	50.0	52.5	100.0
	平年	46.4	76.2	3.8	20.0	64.0	100.0
7. 3～4	25年	52.3	77.3	7.5	100.0	87.5	100.0
	24年	56.1	95.5	35.0	83.3	27.5	100.0
	平年	56.6	84.4	9.0	33.3	78.0	100.0
8. 3～4	25年	33.9	72.7	51.0	80.0	91.3	100.0
	24年	34.1	72.7	25.0	66.7	70.0	100.0
	平年	47.5	87.3	5.8	23.3	79.5	100.0
9. 3～4	25年	31.2	71.4	60.0	100.0	100.0	100.0
	24年	24.8	68.2	40.8	66.7	95.0	100.0
	平年	38.4	80.9	10.8	26.7	92.0	100.0
10. 3～4	25年	25.5	76.2	2.5	25.0	85.0	100.0
	24年	13.6	54.5	38.3	66.7	85.0	100.0
	平年	33.8	73.6	9.2	26.7	90.0	100.0

(10) キュウリ

病害虫の発生状況

ア ベと病

露地栽培:5月、6月は平年並みの発生であったが、7、8月は平年比少なかった。

施設栽培:9月、10月には発生を認めなかったが、11月には発病株率は3.3%となった。

イ うどんこ病

露地栽培:全般的に平年比やや少ない～並の発生で推移した。5月、6月、8月は発生を認めなかった。

施設栽培:発病株率は、9月に48.0%、10月に36.0%、11月に86.7%と推移した。

ウ 炭そ病:7月、8月に発生を認めず、平年並であった。

エ 斑点細菌病:発生を認めなかった(平年並)。

オ 褐斑病

露地栽培:8月にやや多い発生を認めた。

施設栽培:11月のみ、発病株率34.7%の発生を認めた。

カ アブラムシ類

露地栽培:5月に平年比多く、それ以降はやや少ない～並の発生で推移した。

施設栽培:発生を認めなかった。

キ アザミウマ類

露地栽培:5月は平年比多く、それ以外は平年並みの発生であった。

施設栽培:発生を認めなかった。

ク ハダニ類

露地栽培:6月にやや多い発生であり、それ以外は平年並みの発生であった。

施設栽培:発生を認めなかった。

ケ ハモグリバエ類

露地栽培:6月に平年比やや少なく、8月に平年比少ない発生を認めた。

施設栽培:被害株率が9月に56.0%、10月に34.7%、11月に17.3%となった。

コ ハスモンヨトウ:発生を認めなかった。

表1 ベと病、炭そ病及びうどんこ病の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病			炭そ病			うどんこ病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	1.7	10.0	—	—	—	0.1	0.1	2.5
6・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	2.0	6.0	75.0
	平年	1.5	9.3	37.8	—	—	—	3.3	7.8	44.2
7・3～4	25年	2.0	8.0	60.0	0.0	0.0	0.0	6.8	24.8	60.0
	24年	8.7	25.3	100.0	0.3	6.7	50.0	9.7	24.0	66.7
	平年	18.7	29.3	63.2	0.2	1.5	10.8	14.2	21.7	48.6
8・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	4.0	38.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.4	45.8	88.3	0.2	0.5	7.5	5.4	11.0	32.5

表2 斑点細菌病、褐斑病及びアブラムシ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	斑点細菌病			褐斑病			アブラムシ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.69	48.7	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.01	0.5	25.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.05	4.5	55.0
6・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.00	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.06	1.4	35.7
7・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.08	0.4	20.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.01	0.3	21.5
	平年	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	10.0	0.61	2.1	21.5
8・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	32.0	90.0	100.0	0.00	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	1.7	2.2	6.7	13.2	23.8	46.7	4.58	6.4	40.0

表3 アザミウマ類、ハダニ類及びハモグリバエ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	0.13	11.3	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.43	24.0	100.0	0.01	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.26	16.1	67.5	0.08	0.1	20.0	0.1	0.9	12.5
6・3～4	25年	4.51	96.7	100.0	0.01	1.3	33.3	0.7	5.3	66.7
	24年	0.58	24.5	75.0	0.00	0.0	0.0	7.5	33.0	100.0
	平年	0.58	22.8	75.5	0.09	1.7	14.3	4.2	17.1	69.5
7・3～4	25年	0.32	15.6	40.0	0.02	0.4	20.0	6.4	37.6	100.0
	24年	1.30	31.7	100.0	0.22	10.7	83.3	2.7	10.7	100.0
	平年	1.68	19.7	65.5	0.22	3.4	25.7	9.6	24.1	88.4
8・3～4	25年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.0	6.0	100.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	4.0	28.0	100.0
	平年	0.01	0.6	9.2	0.45	3.7	18.3	16.6	42.9	86.7

表4 ベと病、うどんこ病及び斑点細菌病の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病			うどんこ病			斑点細菌病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	2.0	50.0	0.0	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	25.3	36.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	24年	13.3	32.0	66.7	16.7	50.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11・3～4	25年	3.3	6.7	100.0	49.3	86.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	24年	30.0	42.7	66.7	40.0	88.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表5 褐斑病、アブラムシ類及びアザミウマ類の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	褐斑病			アブラムシ類			アザミウマ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11・3～4	25年	26.0	34.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.7	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表6 ハダニ類、ハモグリバエ類及びハスモンヨトウの発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ	
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	100.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	13.0	94.0	100.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	13.3	34.7	100.0	-	-
	24年	0.0	0.0	0.0	8.0	56.7	66.7	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
11・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	1.3	17.3	66.7	-	-
	24年	0.0	0.0	0.0	8.0	37.3	100.0	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-

(11)トマト

病害虫の発生状況

- ア 疫病：発生を認めなかった。
- イ 灰色かび病：5月に発生を認めた。
- ウ 葉かび病：発生を認めなかった。
- エ モザイク病：発生を認めなかった。
- オ うどんこ病：6月に発生を認めた。
- カ アブラムシ類：6月に発生を認めた。
- キ アザミウマ類：5月に発生を認めた。
- ク コナジラミ類：発生は認めなかった。
- ケ ハモグリバエ類：6月に被害を認めた。

表1 巡回調査結果 (単位：%)

調査時期 (月・半旬)	年次	疫病		灰色かび病		葉かび病			モザイク病		うどんこ病	
		発病 株率	発生 ほ場率	発病 果率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率
3・3～4	25年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	24年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	-	-	(1.0)	(2.9)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	-	-
4・1～2	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.3)	(11.4)	(17.4)	(0.0)	(0.0)	-	-
5・1～2	25年	0.0	0.0	0.2	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(5.6)	(17.0)	(45.9)	(0.0)	(1.7)	-	-
6・1～2	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.2	40.0	0.8	20.0	0.8	20.0
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(11.1)	(24.0)	(37.7)	(67.5)	(0.3)	(7.6)	(18.5)	(40.0)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半旬、4～6月：第3～4半旬)が現在と異なるため参考とすること

表2 巡回調査結果 (単位：%、頭/葉)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率
3・3～4	25年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.5	25.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.1)	(3.3)	(0.01)	(0.2)	(2.0)	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(2.2)	(3.7)
4・1～2	25年	0.01	0.5	25.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(1.0)	(12.8)	(0.00)	(0.1)	(4.0)	(0.00)	(0.0)	(1.4)	(0.1)	(2.9)	(8.9)
5・1～2	25年	0.00	0.4	20.0	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	4.8	40.0
	(平年)	(0.01)	(0.7)	(24.8)	(0.01)	(0.3)	(7.0)	(0.01)	(0.3)	(2.9)	(1.0)	(9.8)	(31.9)
6・1～2	25年	0.24	5.2	60.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	24年	0.02	1.2	20.0	0.02	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0	2.8	18.4	40.0
	(平年)	(0.01)	(0.3)	(10.0)	(0.02)	(0.8)	(17.5)	(0.68)	(2.3)	(21.1)	(10.2)	(35.5)	(72.4)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半旬、4～6月：第3～4半旬)が現在と異なるため参考とすること

12) ナス

病害虫の発生状況

- ア うどんこ病:5月～6月には発生を認めなかったが、7月、8月は平年比やや多く、9月には平年比やや少なく、10月には平年比多くなった。
- イ 灰色かび病:発生を認めなかった(平年並)。
- ウ 褐色円星病:5月～7月は発生を認めなかったが、8月、9月は平年並の発生を認め、10月は平年比やや多い発生となった。
- エ アブラムシ類:5月の発生は平年比多く、6月～10月は平年比やや少ない～並で推移した。
- オ アザミウマ類:6月は平年比やや多く、5月、7月～10月は平年並であった。
- カ ハダニ類:6月は平年比多く、それ以外は平年並～やや多い発生を認めた。発生種は、ナミハダニ、カンザワハダニであった。
- キ ハモグリバエ類:全般的に平年比並～少なく推移し、9月は平年比少なかった。

表1 ナス病害の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			灰色かび病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
6・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	25年	1.5	7.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.0	4.1	10.7	0.2	2.6	8.2	0.0	0.0
8・3～4	25年	14.0	42.5	50.0	0.3	2.5	25.0	0.0	0.0
	24年	2.8	12.5	50.0	0.0	2.5	12.5	0.0	0.0
	平年	7.5	20.8	41.2	2.2	15.0	35.7	0.0	0.0
9・3～4	25年	9.5	33.8	62.5	7.3	22.5	50.0	0.0	0.0
	24年	15.3	45.0	62.5	9.8	41.3	75.0	0.0	0.0
	平年	16.0	41.4	68.7	6.6	31.5	58.2	0.0	1.1
10・3～4	25年	33.5	70.0	100.0	20.5	51.3	62.5	0.0	0.0
	24年	33.0	61.7	100.0	31.3	55.0	100.0	0.0	0.0
	平年	22.6	51.2	81.5	9.8	30.3	58.5	0.0	0.0

表2 ナス虫害の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	1.28	40.4	100.0	0.01	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.15	10.7	83.3	0.00	0.0	0.0	1.3	6.7	33.3
	平年	0.23	15.8	94.4	0.01	0.8	13.0	8.6	25.5	63.0
6・3～4	25年	0.07	3.0	50.0	0.11	3.3	62.5	0.8	12.3	50.0
	24年	0.13	7.0	75.0	0.30	1.8	25.0	3.0	20.0	87.5
	平年	0.16	7.1	73.2	0.05	0.9	20.7	4.7	25.4	71.7
7・3～4	25年	0.00	0.0	0.0	0.41	9.0	37.5	11.3	22.5	87.5
	24年	0.42	6.5	12.5	1.18	6.8	50.0	0.0	5.0	37.5
	平年	0.05	1.0	14.9	0.24	1.3	16.5	4.5	27.1	68.7
8・3～4	25年	0.01	0.5	12.5	0.03	1.3	25.0	5.8	22.5	75.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.40	6.5	37.5	3.0	16.3	62.5
	平年	0.05	1.6	27.2	0.87	4.0	19.4	12.1	50.8	85.2
9・3～4	25年	0.003	0.3	12.5	0.04	2.8	12.5	2.8	25.0	62.5
	24年	0.05	0.8	25.0	0.03	1.5	12.5	15.0	50.0	75.0
	平年	0.03	0.9	16.7	0.34	3.5	22.4	32.4	76.2	92.8
10・3～4	25年	0.00	0.3	12.5	3.51	12.8	25.0	24.5	61.3	75.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	25.7	33.3	33.3
	平年	0.26	3.8	25.6	1.91	3.9	20.9	41.9	82.1	92.1

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	25年	0.02	1.6	40.0	—	—	—
	24年	0.04	3.7	50.0	—	—	—
	平年	0.02	1.8	36.5	—	—	—
6・3～4	25年	1.02	33.3	87.5	—	—	—
	24年	0.26	16.0	100.0	—	—	—
	平年	0.17	9.0	64.7	—	—	—
7・3～4	25年	0.06	2.3	62.5	0.003	0.3	12.5
	24年	0.11	7.8	50.0	0.00	0.3	12.5
	平年	0.04	2.4	36.4	0.00	0.0	0.0
8・3～4	25年	0.01	0.8	25.0	0.00	0.0	0.0
	24年	0.00	0.3	12.5	0.01	0.5	12.5
	平年	0.01	1.3	28.9	0.00	0.0	0.0
9・3～4	25年	0.01	0.5	12.5	0.03	3.0	37.5
	24年	0.01	0.5	25.0	0.07	4.8	25.0
	平年	0.03	0.9	14.0	0.00	0.0	0.0
10・3～4	25年	0.00	0.0	0.0	0.10	8.5	50.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.7	50.0
	平年	0.01	0.5	20.9	0.00	0.0	0.0

(13)トウガラシ

病害虫の発生状況

- ア うどんこ病：5～7月に発生を認めた。
- イ 斑点病：7～9月に発生を認めた。
- ウ モザイク病：6月に発生を認めた。
- エ アブラムシ類：6～9月に発生を認めた。
- オ アザミウマ類：5～9月に発生を認めた。
- カ ハダニ類：8、9月に発生を認めた。
- キ タバコガ：7月に被害を認めた。
- ク コナジラミ類：6～9月に発生を認めた。

表1 巡回調査結果

(単位：%、頭/葉)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			斑点病			モザイク病		アブラムシ類		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	25年	1.2	8.0	20.0	—	—	—	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.048	3.6	40.0
	(平年)	(2.6)	(6.0)	(10.8)	—	—	—	(10.2)	(16.7)	(0.02)	(0.5)	(18.0)
6・1～2	25年	3.6	12.0	20.0	—	—	—	2.0	0.0	0.34	2.0	40.0
	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.56	5.2	40.0
	(平年)	(5.4)	(10.0)	(16.7)	—	—	—	(0.5)	(1.7)	(0.10)	(2.0)	(23.3)
7・1～2	25年	8.4	22.0	40.0	2.0	18.0	20.0	0.0	0.0	0.06	1.2	40.0
	24年	2.0	10.0	60.0	2.0	18.0	40.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(6.1)	(14.5)	(34.3)	(0.5)	(3.3)	(7.2)	(3.0)	(8.0)	(0.03)	(0.7)	(13.7)
8・1～2	25年	0.0	15.0	25.0	9.5	32.5	50.0	0.0	0.0	0.20	5.0	25.0
	24年	0.0	0.0	0.0	4.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.24	7.0	75.0
	(平年)	(14.9)	(26.7)	(47.5)	(2.8)	(14.7)	(18.3)	(1.7)	(1.7)	(0.20)	(5.9)	(14.2)
9・1～2	25年	0.0	0.0	0.0	26.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	20.7	33.3	33.3	0.0	0.0	1.42	10.0	33.3
	(平年)	(50.0)	(66.0)	(86.7)	(10.5)	(19.0)	(19.0)	(1.0)	(5.0)	(0.03)	(1.2)	(33.3)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(第3～4半旬)が異なるため参考とすること

表2 巡回調査結果

(単位：%、頭/葉)

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			タバコガ		コナジラミ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 果率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	25年	0.004	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.004	0.4	20.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.8	40.0	—	—	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.1)	(3.3)	(0.16)	(4.6)	(25.4)	—	—	(0.03)	(1.6)	(5.6)
6・1～2	25年	0.004	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.004	0.4	20.0
	24年	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.8)	(22.0)	(0.20)	(3.5)	(35.7)	—	—	(0.00)	(0.3)	(11.1)
7・1～2	25年	0.04	3.2	20.0	0.00	0.0	0.0	0.4	20.0	0.02	2.4	20.0
	24年	0.01	0.8	10.0	0.06	2.0	40.0	0.0	0.0	0.02	2.0	40.0*
	(平年)	(0.02)	(1.5)	(20.3)	(0.34)	(7.5)	(32.3)	(0.0)	(1.7)	(0.03)	(1.9)	(16.7)
8・1～2	25年	0.06	4.5	25.0	0.03	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	24年	0.01	0.5	25.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(0.5)	(18.3)	(0.02)	(0.9)	(15.0)	(0.0)	(1.7)	(0.00)	(0.3)	(16.7)
9・1～2	25年	0.01	0.7	33.3	0.06	0.7	33.3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.01)	(0.5)	(17.5)	(0.3)	(2.5)	(0.00)	(0.0)	(0.0)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(第3～4半旬)が現在と異なるため参考とすること

*幼虫の寄生を認めた調査ほ場も発生ほ場率に含めた。

(14) キャベツ

病害虫の発生状況

- ア 菌核病：3月に平年比やや多い発生を認め、4月にも周辺ほ場で発生を認めた。
- イ 黒腐病：発生を認めなかった。
- ウ ベと病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：4月は平年比やや多く、4月、10月は平年並、9月は平年比やや少ない発生であった。5月、11月は発生を認めなかった（平年比少ない）。
- オ コナガ：発生を認めなかった（平年並～平年比少ない）。
- カ ハスモンヨトウ：発生を認めなかった（平年並）。
- キ モンシロチョウ：9月、10月に平年並の発生を認めた。
- ク ヨトウガ：9月に平年比やや多い発生を認めた以外は発生を認めなかった（平年並）。
- ケ ウワバ類：発生を認めなかった（平年並～平年比少ない）。

表1 春キャベツにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	0.9	4.7	83.3
	平年	0.1	1.7	0.0	0.0	1.1	8.3	0.2	1.5	28.7
4・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	34.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.3	66.7
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	5.0	1.1	10.1	65.3
5・3～4	25年	0.0	0.0	8.0	60.0	0.0	0.0	74.9	80.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	3.7	15.9	70.7

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ウワバ類		
		幼虫 数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫 数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	3.7	0.0	0.0	0.0
4・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.4	10.8	0.2	1.7	24.0	0.0	0.1	2.5
5・3～4	25年	0.2	2.4	20.0	0.2	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	3.0	28.0	1.3	9.1	59.0	0.1	0.8	15.3

表2 秋冬キャベツの病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3
	平年	0.0	0.0	1.4	6.7	0.0	0.0	3.0	5.5	49.8
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	17.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	25.0
	平年	0.0	0.0	0.7	6.7	0.0	0.0	0.9	3.4	34.8
11・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	6.7	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.3	11.7	10.7	30.3	0.9	12.0	9.5	6.3	43.7

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ハスモンヨトウ			
		幼虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	卵塊数 (/10株)	幼虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24年	0.2	2.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	4.7	31.8	0.5	3.6	25.7	0.2	2.2	3.0	34.0
10・3～4	25年	0.6	5.0	75.0	0.2	2.0	25.0	0.0	0.2	2.0	25.0
	24年	0.8	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	6.3	38.3	0.2	1.6	11.0	0.1	0.6	3.1	25.0
11・3～4	25年	2.1	18.7	66.7	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.2	7.8	50.7	0.7	5.0	28.3	0.0	0.2	1.6	10.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ヨトウガ				ウワバ類		
		卵塊数 (/10株)	幼虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	—	—	—	—	—	—	—
	24年	0.1	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.2	5.8	0.9	6.3	33.8
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.6	1.7	25.0	0.4	3.0	26.7
11・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.3	5.7	0.8	4.3	34.3

(15) ダイコン

病害虫の発生状況

- ア 黒斑細菌病：調査期間を通じて発生を認めず、平年並であった。
- イ 白さび病：9月、10月は発生を認めず、平年並であったが、11月には平年比やや多い発生であった。
- ウ モザイク病：11月に平年並の発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：9月、10月、11月にかけて、平年比やや多い～並～やや少ないと推移した。
- オ コナガ：調査期間を通じて発生を認めず、平年並であった。
- カ ハスモンヨトウ：調査期間を通じて発生を認めず、平年並であった。
- キ ハイマダラノメイガ：9月の発生は平年並であったが、10月、11月は平年比多い～やや多く推移した。

表 ダイコンにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生虫数 (/10葉)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.8	8.0	66.7
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	1.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	2.3	33.3
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.3	1.6	23.3
11・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.9	4.0	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	6.1	16.7	11.5	56.7	—	—	11.3	15.2	80.0

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				ハイマダラノメイガ		
		幼虫・蛹数 (/10葉)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	卵塊数 (/10葉)	幼虫数 (/10葉)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫数 (/10葉)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.3	33.3
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	33.3
	平年	0.0	0.4	10.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.3	2.7	36.7
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3	7.7	46.7	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	10.7	66.7
	平年	3.1	9.1	33.3	0.0	0.5	5.1	43.3	1.7	7.9	36.7
11・3～4	25年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	14.7	66.7
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.4	12.4	56.7	0.0	0.1	1.6	26.7	0.7	4.5	33.3

(16) カブ

病害虫の発生状況

- ア ベと病：9月の発生は平年並、10月、11月は平年比少なかった。
- イ 白さび病：発生を認めなかった（平年並）。
- ウ 白斑病：9月、10月は発生を認めず平年並であったが、11月は平年比多く発生した。
- エ 黒斑病：発生を認めなかった（平年並）。
- オ 軟腐病：発生を認めなかった（平年並）。
- カ アブラムシ類：9月は平年比多く、10月は平年並、11月はやや多く推移した。
- キ コナガ：発生を認めなかった（平年並）。
- ク ハモグリバエ類：10月に平年比多い発生を認めた。

表 カブにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	11.0	18.8	0.0	0.0	0.3	6.3	1.3	18.8	0.0	0.0
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	48.8	67.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	12.5	2.9	7.5
11・3～4	25年	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	25.0	0.0	0.0
	24年	29.0	50.0	0.0	0.0	1.0	25.0	2.0	25.0	0.0	0.0
	平年	46.4	67.5	0.2	5.0	1.2	12.5	3.3	12.5	5.0	12.5

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	被害株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	25年	0.8	8.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	1.8	37.5	0.2	1.5	6.3	3.3	37.5
10・3～4	25年	0.6	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	17.0	50.0
	24年	3.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	3.5	42.5	0.0	0.2	5.0	3.4	20.0
11・3～4	25年	5.4	14.0	75.0	0.0	0.0	0.0	13.0	75.0
	24年	14.3	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	平年	6.8	5.5	47.5	0.2	1.7	15.7	20.9	52.5

17)ミズナ・ミブナ
病害虫発生状況

ア キスジノハマシ

ミズナ：3月、7～11月に被害を認めた。

ミブナ：4～11月に被害を認めた。

表1 ミズナ巡回調査結果（キスジノミハマシ）（25株調査）

調査時期 (月・半旬)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (25株当たり)	平均 葉数 (1株当たり)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	25年	8.0	2.6	0.04	0.0	3.8	100.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	2.5	0.0
	*平年	9.2	3.3	0.07	0.0	5.3	65.0
4・1～2	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	7.4	0.0
	24年	4.0	0.6	0.01	0.0	6.8	100.0
	平年	12.4	3.2	0.05	0.1	5.0	69.7
5・1～2	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.9	0.0
	24年	4.0	0.6	0.01	0.0	7.0	100.0
	平年	16.6	5.5	0.14	0.1	4.8	69.2
6・1～2	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.1	0.0
	24年	2.0	0.4	0.02	0.0	5.4	50.0
	平年	30.3	15.7	0.39	0.8	4.0	80.0
7・1～2	25年	4.0	0.9	0.02	0.0	5.4	50.0
	24年	16.0	4.6	0.09	0.0	5.5	100.0
	平年	39.3	20.2	0.77	0.5	4.6	92.6
8・1～2	25年	12.0	2.7	0.06	0.0	4.7	50.0
	24年	84.0	39.1	1.53	0.0	5.5	100.0
	平年	12.0	3.5	0.09	0.0	4.9	66.7
9・1～2	25年	48.0	20.6	0.69	0.0	5.9	50.0
	24年	96.0	42.3	1.11	2.0	8.3	100.0
	平年	29.1	13.4	0.52	0.5	4.6	85.0
10・1～2	25年	5.3	1.2	0.02	0.0	4.8	100.0
	24年	13.3	4.9	0.18	0.0	4.6	100.0
	平年	11.6	4.0	0.08	0.1	3.8	53.3
11・1～2	25年	20.0	16.0	0.34	0.0	5.5	100.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.6	0.0
	平年	2.3	0.9	0.01	0.0	3.4	35.0

*：平年値は調査時期（3月：第5半旬、4～11月：第3～4半旬）が現在と異なるため参考とすること

表2 ミブナ巡回調査結果（キスジノミハマシ）（25株調査）

調査時期 (月・半旬)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (25株当たり)	平均 葉数 (1株当たり)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.5	0.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	3.8	0.0
	*平年	6.3	2.4	0.06	0.1	5.7	50.0
4・1～2	25年	16.0	5.2	0.08	0.0	5.0	100.0
	24年	12.0	4.3	0.05	0.0	4.4	50.0
	平年	12.4	3.2	0.05	0.1	5.0	69.7
5・1～2	25年	8.0	1.8	0.02	0.0	4.4	50.0
	24年	34.0	12.2	0.20	0.0	3.7	50.0
	平年	8.7	3.7	0.07	0.0	3.4	65.0
6・1～2	25年	4.0	2.4	0.10	0.0	4.1	100.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	3.2	0.0
	平年	19.8	11.7	0.50	0.6	3.8	70.0
7・1～2	25年	34.0	18.0	0.52	0.0	4.4	50.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	4.0	0.0
	平年	29.4	14.8	0.83	0.6	3.9	83.3
8・1～2	25年	6.0	2.8	0.11	0.0	5.6	50.0
	24年	6.0	2.2	0.12	0.0	4.5	50.0
	平年	22.5	9.6	0.34	0.4	3.9	70.0
9・1～2	25年	34.0	17.4	0.66	1.0	3.4	100.0
	24年	12.0	3.7	0.21	0.0	4.0	50.0
	平年	10.1	4.5	0.14	0.1	3.9	76.7
10・1～2	25年	6.0	2.2	0.03	0.0	3.6	100.0
	24年	18.0	4.0	0.09	0.0	5.0	100.0
	平年	8.6	3.4	0.06	0.1	3.6	56.7
11・1～2	25年	26.0	22.0	0.39	0.0	4.0	50.0
	24年	0.0	0.0	0.00	0.0	3.5	0.0
	平年	4.4	1.3	0.02	0.0	3.5	36.7

*：平年値は調査時期（3月：第5半旬、4～11月：第3～4半旬）が現在と異なるため参考とすること

(18) ホウレンソウ

病害虫の発生状況

ア ベと病：発生を認めず、平年並の発生であった。

イ アブラムシ類：4月、10月は平年比やや多く、10月は多く、11月は平年並であった。

ウ ヨトウガ：発生を認めず、平年並の発生であった。

エ シロオビノメイガ：10月に平年比多い発生を認めたが、11月には発生を認めなかった（平年並）。

表1 ホウレンソウ病虫害の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		シロオビノメイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	25年	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	—	—
	24年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	5.0	5.9	45.0	0.0	0.0	—	—
5・3～4	25年	0.0	0.0	78.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	24年	0.0	0.0	28.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.5	4.8	31.2	86.0	0.1	1.6	—	—
10・3～4	25年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	4.0	25.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.0	15.0	0.2	5.0	0.3	8.3
11・3～4	25年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	3.2	34.2	0.1	2.5	0.4	10.0

(19) ネギ

病害虫の発生状況

- ア さび病：発生を認めず、平年並～少ない発生であった。
- イ 黒斑病：6月～8月に平年比やや多い～多い発生であったが、それ以外は発生を認めず、平年並であった。
- ウ アブラムシ類：4月、5月は平年比多く、6月～11月は発生を認めず、平年並であった。
- エ シロイチモジヨトウ：11月に平年並の発生を認めたが、それ以外は発生を認めなかった（平年並）。
- オ ネギハモグリバエ：4月は平年比多く、5月はやや少なく、6月はやや多く、7月はやや少ない発生であった。8月以降は、平年並の発生であった。
- カ ネギアザミウマ：4月～8月は平年比やや多く発生し、9月、10月は平年並であったが、11月は平年比多い発生であった。

表 ネギ病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	50.0	0.0	0.0	15.0	62.5	11.5	75.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	37.5	0.0	0.0	0.5	12.5	1.5	25.0
	平年	0.7	6.9	0.0	0.0	0.9	18.0	0.0	0.0	2.7	28.0	7.0	37.7
5・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	75.0	0.0	0.0	39.5	100.0	74.0	87.5
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.5	100.0	62.5	87.5
	平年	1.2	11.9	0.0	0.0	2.1	26.7	0.0	0.0	55.3	97.8	51.6	89.8
6・3～4	25年	0.0	0.0	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	100.0	99.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	55.0	100.0	87.5	100.0
	平年	5.6	22.2	0.0	0.0	0.8	15.0	0.0	0.0	51.6	83.8	66.8	91.3
7・3～4	25年	0.0	0.0	1.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	53.5	100.0	46.5	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0	100.0	43.3	83.3
	平年	0.5	4.7	0.6	4.7	0.0	0.0	0.1	3.5	74.5	98.8	34.0	69.2
8・3～4	25年	0.0	0.0	0.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	62.9	100.0	23.4	71.4
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.7	100.0	2.0	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	66.2	98.6	7.7	38.3
9・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	100.0	2.3	28.6
	24年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	0.5	12.5	71.0	100.0	12.0	62.5
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	0.2	2.9	0.6	16.9	79.4	98.6	7.0	22.8
10・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.7	100.0	8.7	50.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	100.0	19.5	75.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.5	0.7	7.9	75.1	100.0	9.6	31.8
11・3～4	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	34.5	62.5	69.0	100.0
	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	25.0	19.0	37.5
	平年	0.0	0.0	0.1	1.3	0.1	2.9	0.9	10.8	35.2	81.1	18.9	56.8

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年値等	H25	平年値等	H25	平年値等
ヒメビウンカ (60W)	10	1.4	6	0.5	49	2.8
セジロウンカ (60W)	43	14.4	35	22.7	162	154.6
トビイロウンカ (60W)	48	4.4	45	6.8	44	50.9
ツマグロヨコバイ (60W)	92	147.2	6	1309.8	95	259.6
イネミズゾウムシ (60W)	56	49.0	266	170.6	163	99.7
アオクサカメムシ (60W)	2	3.3	2	3.5	1	2.9
チャバネアオカメムシ (60W)	1	37.3	0	10.6	4	53.0
チャバネアオカメムシ (BL)	16	194.7	8	31.8	28	264.3
クサキカメムシ (60W)	2	4.2	0	1.6	2	8.7
クサキカメムシ (BL)	6	21.2	3	2.6	22	45.0
イチモンジカメムシ (60W)	2	0.6	1	5.5	0	3.0
イネクロカメムシ (60W)	201	109.0	0	0.2	3	1.7
クモヘリカメムシ (60W)	1	0.1	9	2.3	4	4.5
シラホシカメムシ (60W)	0	0.7	1	0.7	2	0.7
アヒゲホリドリカスミカメ (60W)	45	15.2	72	48.7	218	154.3
アカスジカスミカメ (60W)	8	3.0	166	102.4	386	165.0
ツマグロアオカスミカメ (60W)	39	28.2	17	15.8	19	32.1
フタオビコヤガ (60W)	13	31.4	24	41.9	124	154.4
ニカメイガ (60W)	0	0.4	0	0.3	16	0.7
コナガ (60W)	35	16.2	55	87.6	30	34.2
シロオビノメイガ (60W)	0	2.5	11	13.3	8	25.5
ドウガネブイブイ (BL)	579	320.2	122	74.1	530	506.1
クロコガネ (BL)	34	70.5	13	14.3	60	21.8
ヒメコガネ (BL)	5,206	3221.1	23	22.5	982	1515.2
アカビロウドコガネ(BL)	44	122.1	12	15.6	22	23.5

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメピウンカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	1	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	3	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	0	0.1	0	0.1	1	0.2
8・1	3	0.1	0	0.0	19	0.6
2	1	0.1	0	0.0	2	0.1
3	0	0.1	1	0.0	0	0.1
4	0	0.2	0	0.0	2	0.2
5	1	0.5	2	0.0	7	0.1
6	0	0.0	0	0.3	8	0.4
9・1	1	0.1	0	0.1	1	0.0
2	3	0.0	1	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	1	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	1	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	1	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	10	1.4	6	0.5	49	2.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

セジロウンカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.1	3	0.2	0	0.0
5	1	0.4	2	0.1	0	0.3
6	0	0.0	5	0.6	4	1.3
7・1	0	1.1	5	1.5	2	11.3
2	0	0.2	1	1.1	4	2.6
3	1	0.5	1	0.9	0	8.8
4	0	0.3	0	0.8	0	2.7
5	0	0.9	1	2.1	2	11.8
6	1	1.2	0	1.2	11	1.7
8・1	3	1.5	0	1.2	16	6.3
2	1	0.8	5	0.6	17	5.3
3	1	0.6	3	5.7	8	19.8
4	0	0.6	0	2.0	7	10.5
5	14	1.4	3	1.0	9	10.5
6	13	2.1	2	1.0	17	26.7
9・1	1	0.9	1	0.7	8	4.5
2	0	0.6	1	0.7	39	2.4
3	2	0.5	0	0.3	7	7.9
4	1	0.1	1	0.2	5	6.4
5	1	0.5	0	0.4	1	4.7
6	0	0.0	0	0.2	0	4.0
10・1	0	0.1	1	0.1	0	2.4
2	0	0.0	0	0.1	0	1.5
3	1	0.0	0	0.0	0	0.9
4	0	0.0	0	0.0	2	0.0
5	0	0.0	0	0.0	1	0.1
6	1	0.0	0	0.0	2	0.1
計	43	14.4	35	22.7	162	154.6

トビロウンカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.1	0	0.2	0	0.0
5	3	0.0	4	0.0	4	0.5
6	8	0.1	3	0.2	6	1.0
9・1	1	0.1	2	0.0	7	0.3
2	2	0.1	0	0.3	3	0.3
3	14	1.2	7	0.7	12	6.5
4	1	0.2	3	0.7	1	9.4
5	2	2.0	0	1.1	0	6.4
6	0	0.1	0	0.8	0	10.3
10・1	1	0.1	1	2.3	0	7.3
2	4	0.3	23	0.2	3	4.2
3	6	0.0	2	0.2	3	3.3
4	4	0.0	0	0.0	5	0.7
5	1	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	4.4	45	6.8	44	50.9

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.4	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	1	0.1
3	3	0.0	1	0.1	21	2.1
4	2	0.1	0	0.6	14	0.0
5	0	0.2	0	0.9	0	1.0
6	1	0.1	0	3.9	3	5.3
7・1	1	0.1	0	3.4	0	11.7
2	0	0.6	0	4.1	0	16.3
3	3	1.3	0	1.7	1	5.3
4	3	3.0	1	2.6	1	7.2
5	5	4.3	1	5.4	8	4.8
6	6	6.7	0	4.2	30	13.1
8・1	7	7.4	0	7.0	12	78.3
2	0	5.7	0	11.4	2	9.8
3	2	5.7	0	5.7	0	2.2
4	5	4.6	0	4.5	1	0.7
5	9	3.5	0	2.8	0	0.4
6	11	5.2	1	3.6	0	1.0
9・1	2	17.4	1	11.7	0	6.4
2	15	23.8	0	40.6	0	67.1
3	13	26.6	1	574.3	0	14.8
4	1	21.3	0	608.4	0	10.5
5	3	8.4	0	7.8	1	1.1
6	0	0.3	0	1.3	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.9	0	0.0
2	0	0.2	0	0.6	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.3	0	0.0
5	0	0.1	0	0.3	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
計	92	147.2	6	1309.8	95	259.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	1.4	0	1.3
5・1	0	0.0	0	6.7	0	4.3
2	0	0.0	0	24.2	2	8.4
3	0	0.0	10	7.4	0	2.3
4	0	0.2	53	16.8	1	14.0
5	1	1.0	9	12.3	14	0.8
6	4	0.2	6	7.5	88	3.3
6・1	3	0.2	2	2.6	2	2.0
2	0	0.2	3	1.9	8	0.9
3	3	0.4	2	0.3	8	1.9
4	0	0.3	1	0.2	0	1.0
5	1	0.7	0	0.0	1	1.8
6	0	0.1	1	0.3	3	3.9
7・1	1	0.0	0	0.7	1	1.9
2	1	0.2	2	0.6	5	4.7
3	1	0.0	5	1.9	1	1.9
4	3	2.5	67	12.6	1	6.3
5	10	9.9	19	19.3	6	13.9
6	9	8.9	35	23.2	9	11.2
8・1	4	5.8	15	16.8	11	9.2
2	4	5.8	19	4.7	1	1.8
3	1	4.8	9	5.0	0	0.4
4	4	6.5	3	2.2	0	1.5
5	4	0.7	0	1.0	1	0.5
6	2	0.5	1	0.7	0	0.2
9・1	0	0.0	1	0.1	0	0.1
2	0	0.1	1	0.0	0	0.1
3	0	0.0	1	0.1	0	0.0
4	0	0.0	1	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	56	49.0	266	170.6	163	99.7

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.3	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.4	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.1	0	0.2
6	0	0.5	0	0.3	0	0.1
8・1	1	0.2	0	0.3	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.3
3	1	0.2	0	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.2	0	0.3
5	0	0.0	0	0.2	1	0.7
6	0	0.0	0	0.2	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.3	1	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	1	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	3.3	2	3.5	1	2.9

チャパネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.2	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	1.8
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	3.1
3	0	0.4	0	0.4	0	0.8	0	0.1	0	0.1	0	1.3
4	0	0.3	0	0.7	0	0.1	0	0.0	0	1.2	0	12.2
5	0	2.2	0	6.2	0	0.6	0	0.2	1	0.6	0	2.2
6	0	0.2	0	3.4	0	0.5	0	0.2	0	0.2	0	3.2
6・1	0	0.0	0	1.5	0	0.0	1	0.0	0	0.3	0	0.9
2	0	0.3	0	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.4	0	0.9
3	0	0.3	0	1.1	0	0.0	0	0.1	1	0.4	3	1.9
4	0	0.8	0	8.7	0	0.0	0	0.2	1	1.5	2	17.6
5	0	1.7	0	8.0	0	0.2	0	0.4	0	2.0	0	4.8
6	0	1.3	0	6.9	0	1.0	0	0.5	0	2.0	1	9.2
7・1	0	1.5	0	11.2	0	0.3	0	0.6	0	3.3	1	7.2
2	1	4.1	1	18.6	0	0.2	0	0.8	0	1.5	2	14.4
3	0	1.7	1	27.3	0	0.0	0	1.0	0	7.9	0	21.3
4	0	10.5	1	31.3	0	0.8	0	2.7	0	3.3	0	11.3
5	0	2.0	0	27.1	0	0.2	0	1.4	0	2.8	0	16.6
6	0	1.5	0	16.8	0	0.3	0	6.6	0	2.0	0	15.9
8・1	0	1.7	0	5.9	0	0.4	0	2.5	0	5.1	0	27.4
2	0	2.5	0	7.5	0	0.5	0	4.6	0	3.0	0	18.1
3	0	1.6	1	3.8	0	0.7	0	2.8	0	7.8	0	14.2
4	0	1.9	0	2.2	0	1.6	1	2.5	0	1.7	1	13.6
5	0	0.2	1	1.0	0	0.4	0	0.5	0	1.1	0	6.3
6	0	0.3	1	0.5	0	0.8	1	0.7	0	1.5	2	11.4
9・1	0	0.0	1	0.2	0	0.7	1	0.6	0	0.8	3	10.8
2	0	0.1	0	0.7	0	0.3	2	1.3	0	0.5	2	5.2
3	0	0.0	2	0.8	0	0.0	1	0.5	0	0.4	6	4.0
4	0	0.0	6	0.5	0	0.1	0	0.4	0	0.9	1	4.4
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.2	0	1.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0.9
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.1	4	0.2
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	37.3	16	194.7	0	10.6	8	31.8	4	53.0	28	264.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H25	平年	H25	例年	H25	平年	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.2	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	1	0.2	0	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.8
7・1	0	0.1	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.4	0	0.5
2	0	0.1	0	1.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	1.3
3	0	1.0	0	2.5	0	0.0	0	0.3	0	0.5	0	4.1
4	0	0.5	0	3.4	0	0.4	0	0.1	0	0.8	0	2.2
5	0	0.4	0	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	2.2
6	0	0.2	2	2.9	0	0.1	0	0.3	0	0.9	0	5.2
8・1	0	0.5	1	1.7	0	0.2	0	0.6	0	1.1	1	5.2
2	0	0.0	0	1.1	0	0.2	0	0.7	2	1.0	0	3.4
3	0	0.3	2	1.2	0	0.1	0	0.1	0	0.5	3	3.9
4	0	0.2	0	1.3	0	0.4	0	0.1	0	0.3	1	3.4
5	0	0.2	0	0.8	0	0.0	1	0.0	0	0.5	5	2.2
6	0	0.0	0	0.5	0	0.0	2	0.2	0	0.9	7	4.3
9・1	0	0.1	0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.2	2	2.2
2	1	0.0	0	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.7
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	4.2	6	21.2	0	1.6	3	2.6	2	8.7	22	45.0

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.1	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.4	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.6	0	0.2
5	0	0.0	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.3
3	0	0.0	1	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.4
6	0	0.0	0	0.7	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.6	0	0.1
2	0	0.1	0	0.3	0	0.1
3	1	0.2	0	0.5	0	0.1
4	0	0.0	0	0.3	0	0.3
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	0.6	1	5.5	0	3.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	1	0.5	0	0.0	0	0.0
6	6	2.4	0	0.0	0	0.0
6・1	18	1.2	0	0.0	0	0.0
2	5	8.4	0	0.0	1	0.3
3	84	3.3	0	0.0	2	0.0
4	42	4.6	0	0.1	0	0.1
5	6	9.2	0	0.0	0	0.1
6	4	3.6	0	0.1	0	0.2
7・1	6	2.8	0	0.0	0	0.1
2	5	1.5	0	0.0	0	0.0
3	0	1.4	0	0.0	0	0.0
4	0	3.0	0	0.0	0	0.0
5	3	3.6	0	0.0	0	0.1
6	1	4.6	0	0.0	0	0.1
8・1	1	3.1	0	0.0	0	0.2
2	3	4.0	0	0.0	0	0.2
3	1	2.0	0	0.0	0	0.1
4	1	1.3	0	0.0	0	0.2
5	1	0.3	0	0.0	0	0.0
6	1	4.5	0	0.0	0	0.0
9・1	0	5.8	0	0.0	0	0.0
2	1	6.6	0	0.0	0	0.0
3	7	11.1	0	0.0	0	0.0
4	0	13.1	0	0.0	0	0.0
5	4	4.5	0	0.0	0	0.0
6	0	1.6	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	201	109.0	0	0.2	3	1.7

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	1	0.2	1	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.1	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.3
2	0	0.0	1	0.2	0	0.8
3	0	0.0	2	0.2	0	0.9
4	0	0.0	2	0.1	1	0.5
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.4
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	1	0.1	1	0.4
5	0	0.0	2	0.1	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	0.1	9	2.3	4	4.5

シラホシカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	1	0.0	1	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	1	0.7	2	0.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	3	0.3
3	0	0.0	0	0.5	0	0.0
4	0	0.0	1	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.6
6	0	0.0	0	0.0	2	0.3
6・1	1	0.0	0	0.0	0	0.2
2	1	0.1	3	0.5	8	1.7
3	1	0.3	15	1.1	42	2.9
4	3	0.6	9	6.2	33	15.7
5	0	1.5	4	7.0	22	25.3
6	0	1.1	5	5.6	20	34.6
7・1	7	1.3	4	5.3	10	18.4
2	10	2.8	7	7.1	16	12.0
3	10	2.0	11	3.6	28	8.4
4	3	1.7	3	2.8	8	9.4
5	2	0.6	1	1.9	10	4.3
6	1	0.6	0	0.4	5	2.1
8・1	0	0.5	0	0.8	2	2.1
2	0	0.5	0	0.5	0	1.4
3	0	0.6	0	0.4	0	1.1
4	0	0.2	2	1.2	2	1.3
5	0	0.0	0	0.6	0	1.4
6	1	0.2	4	0.3	1	1.9
9・1	0	0.0	0	0.5	0	1.3
2	0	0.0	1	0.3	0	1.2
3	0	0.3	0	0.9	2	1.3
4	0	0.1	0	0.4	0	1.7
5	0	0.0	0	0.3	0	0.8
6	0	0.1	0	0.0	1	0.6
10・1	2	0.0	0	0.0	0	0.6
2	1	0.0	0	0.0	1	0.6
3	2	0.0	1	0.2	1	0.4
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.1	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
計	45	15.2	72	48.7	218	154.3

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.7	0	0.0
4	0	0.0	3	0.6	1	0.0
5	0	0.0	0	1.3	1	0.7
6	0	0.0	3	2.0	8	2.7
6・1	0	0.0	4	1.0	2	3.1
2	0	0.0	2	2.0	4	4.6
3	2	0.0	2	1.3	11	3.3
4	1	0.0	9	6.2	36	3.9
5	0	0.0	0	5.4	43	11.9
6	0	0.2	1	11.5	61	24.5
7・1	0	0.2	13	7.9	36	22.9
2	1	0.1	8	8.6	43	17.4
3	1	0.3	10	3.8	27	8.8
4	0	0.1	6	3.7	5	7.6
5	0	0.1	3	2.3	13	4.0
6	0	0.6	4	0.9	30	3.2
8・1	1	0.3	0	3.3	9	4.5
2	0	0.1	1	1.5	6	4.2
3	0	0.3	7	2.1	1	2.9
4	0	0.2	18	2.8	16	3.7
5	0	0.0	11	3.0	12	2.1
6	0	0.0	7	3.6	3	4.7
9・1	0	0.0	2	4.0	1	3.3
2	0	0.0	11	5.0	0	3.9
3	1	0.0	18	4.5	5	4.5
4	0	0.3	3	6.9	0	3.9
5	0	0.1	6	3.0	0	2.4
6	1	0.1	0	1.0	4	1.8
10・1	0	0.0	6	1.0	1	2.2
2	0	0.0	8	0.3	5	1.0
3	0	0.0	0	0.8	2	1.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	8	3.0	166	102.4	386	165.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	1	0.0	0	0.2	0	0.0
	0	0.4	0	0.3	1	0.4
	0	0.0	0	0.6	0	1.1
6 ・ 1	0	0.0	0	0.6	0	1.4
	1	0.0	1	0.2	2	1.2
	0	0.0	0	1.0	1	0.9
	0	0.2	0	0.1	1	1.1
	0	0.0	0	0.4	1	1.8
	0	0.3	0	0.6	0	1.9
7 ・ 1	0	0.1	2	0.7	1	0.9
	1	0.5	1	0.3	3	2.0
	0	0.1	1	0.3	0	1.4
	0	0.1	0	0.3	1	2.2
	0	0.3	0	0.2	2	2.0
	0	0.2	0	0.3	1	1.7
8 ・ 1	0	0.1	0	0.3	3	0.7
	0	0.1	0	0.2	1	0.2
	1	0.0	0	0.2	0	0.4
	0	0.3	3	0.1	0	0.5
	1	0.3	0	0.1	0	0.5
	0	0.8	0	0.2	0	0.8
9 ・ 1	0	1.1	0	0.8	0	0.3
	1	2.6	0	0.9	0	0.5
	0	2.9	0	0.6	0	0.4
	0	2.8	0	0.6	1	0.4
	10	3.2	0	0.7	0	1.4
	0	1.0	0	0.4	0	0.7
10 ・ 1	1	2.9	1	0.4	0	0.9
	5	1.3	1	0.9	0	0.8
	5	1.2	1	1.6	0	0.8
	5	1.3	2	0.4	0	0.7
	7	2.3	4	0.7	0	0.6
	0	1.8	0	0.6	0	1.5
計	39	28.2	17	15.8	19	32.1

フタオビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.1
3	0	0.1	1	0.2	0	0.0
4	0	0.1	1	0.1	0	0.0
5	0	0.2	1	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.3
5	0	0.1	0	0.2	7	0.6
6	0	0.0	0	0.1	1	1.6
7・1	0	0.1	0	0.3	1	0.5
2	0	0.2	0	0.7	0	0.5
3	0	0.7	0	1.9	8	2.6
4	0	0.7	2	3.9	16	6.0
5	0	1.3	5	6.2	9	9.9
6	0	2.3	3	4.4	13	8.2
8・1	0	2.8	1	3.5	5	7.6
2	0	5.5	1	2.4	5	14.1
3	1	4.4	3	4.3	11	20.9
4	3	4.7	1	6.0	23	27.8
5	6	4.8	2	4.0	18	22.1
6	2	2.1	2	2.9	5	19.7
9・1	1	1.0	1	0.4	0	8.3
2	0	0.1	0	0.1	0	2.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.8
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	1	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	13	31.4	24	41.9	124	154.4

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	13	0.0
5	0	0.0	0	0.0	3	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.4	0	0.3	16	0.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	2	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.2	0	0.1
3	0	0.1	0	0.8	0	0.3
4	0	0.0	0	0.4	2	0.3
5	0	0.1	0	0.5	0	0.4
6	1	0.3	0	0.3	0	0.5
5・1	0	0.8	0	1.1	0	0.1
2	0	1.8	0	2.0	0	0.4
3	0	1.3	2	2.1	3	1.4
4	0	2.4	0	5.2	1	1.1
5	1	0.9	0	6.0	0	1.6
6	3	1.1	0	3.8	2	1.2
6・1	2	0.8	0	2.1	0	1.3
2	1	0.7	4	1.6	1	1.1
3	3	0.7	4	1.7	3	2.4
4	3	0.8	4	8.2	5	2.1
5	4	0.4	9	6.9	3	2.5
6	4	0.4	10	10.3	3	2.6
7・1	1	0.7	4	7.8	3	3.3
2	0	0.1	2	7.3	1	2.0
3	0	0.2	2	4.8	0	0.8
4	0	0.4	5	3.8	0	2.0
5	1	0.1	2	2.4	0	0.4
6	0	0.4	3	1.8	0	1.1
8・1	0	0.1	0	1.3	0	0.7
2	1	0.4	1	0.7	0	0.2
3	0	0.2	0	0.5	0	0.7
4	4	0.2	0	1.1	0	0.4
5	4	0.2	0	0.8	0	0.1
6	1	0.0	0	0.5	0	0.3
9・1	0	0.2	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.4
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.4
6	1	0.0	0	0.2	0	0.8
10・1	0	0.1	0	0.2	0	0.2
2	0	0.0	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	2	0.2
4	0	0.0	0	0.4	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	35	16.2	55	87.6	30	34.2

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.4	0	0.2
6	0	0.1	0	0.2	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.4
3	0	0.2	0	0.7	1	0.8
4	0	0.3	1	0.2	0	0.8
5	0	0.3	2	0.6	0	0.8
6	0	0.4	0	0.7	1	0.5
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.7
2	0	0.1	0	1.0	0	1.5
3	0	0.1	0	1.5	1	2.0
4	0	0.1	2	2.3	1	2.5
5	0	0.0	3	0.8	0	3.3
6	0	0.3	1	0.2	2	3.3
10・1	0	0.1	1	0.7	2	2.4
2	0	0.0	0	1.1	0	2.9
3	0	0.1	0	0.8	0	0.8
4	0	0.1	0	0.8	0	0.6
5	0	0.0	1	0.7	0	0.4
6	0	0.0	0	0.3	0	0.7
計	0	2.5	11	13.3	8	25.5

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	2	0.5	0	0.0	0	0.0
6・1	8	1.1	0	0.3	0	0.0
2	13	2.6	2	0.4	2	0.4
3	31	4.2	4	0.3	11	1.3
4	15	9.3	4	1.0	8	6.7
5	16	13.3	5	1.4	7	13.3
6	17	20.8	3	4.1	17	23.0
7・1	22	17.6	2	3.2	39	26.4
2	84	27.2	16	6.7	93	43.3
3	34	30.3	6	4.3	72	48.1
4	47	38.7	8	5.4	55	47.6
5	59	30.3	9	7.2	38	45.1
6	46	32.3	14	7.6	52	45.8
8・1	47	23.3	7	7.6	34	45.1
2	46	19.0	14	6.5	11	48.9
3	31	12.0	10	4.1	41	28.3
4	23	11.5	11	4.6	18	31.3
5	12	8.8	4	3.0	19	14.5
6	15	8.9	2	1.7	7	19.4
9・1	0	3.3	1	2.9	0	9.0
2	8	2.8	0	0.9	1	4.7
3	2	1.0	0	0.6	2	2.0
4	0	0.9	0	0.1	1	1.3
5	0	0.3	0	0.0	1	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	1	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	579	320.2	122	74.1	530	506.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	2	0.3
4	0	0.0	0	1.2	9	1.8
5	0	0.2	0	1.1	12	1.4
6	1	0.0	0	0.5	4	0.9
6・1	1	0.2	0	0.3	2	2.3
2	0	2.0	1	0.4	5	1.6
3	1	1.8	1	0.2	6	1.1
4	8	3.1	2	0.5	2	0.8
5	3	5.5	2	0.6	0	1.5
6	1	5.9	2	1.1	5	1.4
7・1	3	4.9	1	1.5	2	1.3
2	3	3.8	0	0.9	5	1.1
3	3	6.0	0	2.0	3	0.8
4	0	4.7	0	0.8	0	0.7
5	2	2.6	1	1.3	0	0.7
6	4	15.5	1	0.6	0	0.5
8・1	1	1.9	1	0.1	1	0.3
2	1	3.7	0	0.1	2	0.6
3	1	1.9	0	0.3	0	0.2
4	0	0.8	0	0.1	0	1.1
5	1	2.1	0	0.0	0	0.1
6	0	1.1	1	0.0	0	0.2
9・1	0	1.2	0	0.1	0	0.6
2	0	1.2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	34	70.5	13	14.3	60	21.8

ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.9	0	0.0	0	0.1
6・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	2	0.6	0	0.0	0	0.1
3	12	3.2	0	0.0	1	0.1
4	28	6.1	0	0.1	5	3.4
5	37	21.1	0	0.3	11	10.4
6	50	41.2	2	0.6	26	22.5
7・1	63	48.9	0	0.6	35	45.8
2	137	85.2	0	1.9	109	98.5
3	139	147.4	5	1.4	194	158.7
4	258	210.4	2	2.2	159	211.1
5	416	263.8	1	3.4	122	226.3
6	553	419.1	4	2.9	144	245.1
8・1	529	383.0	3	3.1	89	179.8
2	739	397.1	3	1.7	16	140.8
3	917	277.9	1	1.5	44	83.1
4	450	263.0	1	0.9	7	47.2
5	288	238.7	0	0.9	16	22.0
6	234	178.2	1	0.3	4	15.5
9・1	125	101.8	0	0.4	0	4.1
2	92	64.4	0	0.1	0	0.3
3	96	42.7	0	0.0	0	0.2
4	21	17.0	0	0.0	0	0.0
5	15	6.7	0	0.2	0	0.0
6	2	1.8	0	0.0	0	0.0
10・1	3	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	5,206	3,221	23	22.5	982	1,515

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.1	0	0.2	0	0.3
6	0	0.1	0	0.0	2	0.2
6・1	1	0.0	0	0.0	2	0.6
2	2	0.9	1	0.0	1	0.3
3	0	1.1	0	0.2	0	0.2
4	1	3.3	0	0.0	0	1.4
5	1	2.7	0	0.9	0	0.5
6	3	7.5	0	1.2	1	1.4
7・1	6	9.8	2	1.5	1	2.2
2	2	12.5	1	1.8	3	2.2
3	8	20.3	1	3.0	1	2.7
4	2	15.8	1	1.1	1	3.9
5	4	9.8	1	1.4	1	1.3
6	1	10.1	1	0.9	2	3.1
8・1	3	7.7	0	0.9	1	0.9
2	0	4.8	2	0.1	0	0.3
3	0	4.3	0	0.2	0	0.2
4	1	1.1	0	0.4	1	0.5
5	0	1.9	0	0.0	1	0.2
6	3	3.5	2	0.3	1	0.2
9・1	0	0.9	0	0.4	1	0.0
2	0	1.1	0	0.1	0	0.0
3	2	0.6	0	0.1	1	0.1
4	1	0.9	0	0.1	0	0.1
5	2	0.7	0	0.1	0	0.1
6	0	0.4	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
2	1	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	44	122.1	12	15.6	22	23.5

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
チャバネアオカメムシ	0.0	69.5	8.0	190.4	1.0	116.2
コナガ	—	—	534.1	534.2	77.9	215.9
ハスモンヨトウ	1949.4	1756.2	2887.0	2405.3	1398.4	1428.4
タバコガ	39.9	27.7	68.0	79.5	19.0	62.7
オオタバコガ	86.6	31.1	602.7	309.4	7.8	15.7

* 5月～10月の総誘殺数、コナガは4月～10月の総誘殺数。

* 平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

* 平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
チャノコカクモンハマキ	8498.0	3920.8	1897.0	3369.0	897.9	499.8
チャノホソガ	8170.0	15261.9	2211.2	10750.2	3.3	8.4

* 4月～10月の総誘殺数。

チャバネアオカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
5・1	0.0	0.2	0.8	0.7	0.0	0.2
2	0.0	0.1	0.8	1.7	0.3	0.1
3	0.0	0.1	1.1	1.9	0.7	1.4
4	0.0	0.4	0.3	2.0	0.0	1.8
5	0.0	1.0	0.8	3.0	0.0	1.0
6	0.0	0.7	0.2	1.2	0.0	1.6
6・1	0.0	0.5	1.0	1.3	0.0	0.9
2	0.0	0.1	0.0	1.6	0.0	0.4
3	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0	1.3
4	0.0	3.3	0.0	1.8	0.0	2.5
5	0.0	3.5	0.0	2.4	0.0	1.8
6	0.0	1.8	0.0	4.6	0.0	1.7
7・1	0.0	6.3	0.0	5.3	0.0	2.9
2	0.0	7.2	0.0	9.7	0.0	4.7
3	0.0	5.2	0.0	9.0	0.0	5.5
4	0.0	5.4	0.0	9.0	0.0	10.8
5	0.0	4.6	0.0	17.6	0.0	5.9
6	0.0	5.5	0.0	16.7	0.0	11.2
8・1	0.0	3.8	0.0	20.1	0.0	11.7
2	0.0	7.1	0.0	18.3	0.0	10.2
3	0.0	5.9	0.0	15.4	0.0	7.7
4	0.0	3.5	0.0	14.0	0.0	9.4
5	0.0	1.5	0.0	11.6	0.0	9.4
6	0.0	0.4	0.0	5.3	0.0	4.4
9・1	0.0	0.1	0.0	3.5	0.0	2.4
2	0.0	0.0	0.7	2.5	0.0	1.3
3	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	1.3
4	0.0	0.0	0.3	2.3	0.0	0.8
5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4
6	0.0	0.0	1.0	0.4	0.0	0.3
10・1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2
2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.1
3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.2
4	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.3
5	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.3
6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.2
11・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	0.0	69.5	8.0	190.4	1.0	116.2

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年
4・1	3.6	6.3	8.3	5.8
2	3.7	8.5	10.7	6.5
3	3.0	6.2	7.1	8.5
4	1.7	4.7	2.9	7.6
5	0.0	4.1	0.7	9.5
6	3.0	6.9	3.6	14.1
5・1	0.0	5.5	1.9	12.2
2	1.3	12.5	2.0	13.6
3	3.7	14.5	2.9	16.7
4	3.0	39.0	2.1	15.0
5	4.2	46.1	3.0	15.9
6	7.3	40.0	3.1	16.9
6・1	4.6	30.5	0.7	7.4
2	7.0	37.4	0.0	6.7
3	39.3	36.6	5.6	4.2
4	44.7	52.5	7.4	5.2
5	58.3	39.5	0.0	6.6
6	84.3	27.0	0.0	6.7
7・1	62.1	28.5	0.3	3.9
2	41.2	19.6	0.7	2.3
3	53.0	9.0	1.0	1.5
4	38.0	5.6	0.0	0.9
5	11.3	5.5	0.0	1.0
6	13.8	5.7	0.0	1.0
8・1	5.7	3.6	0.0	0.4
2	4.7	3.0	0.0	1.0
3	6.6	5.2	0.0	1.3
4	3.3	4.7	0.0	0.5
5	7.7	2.2	1.7	1.0
6	4.0	1.0	1.3	1.4
9・1	3.0	1.5	0.0	1.3
2	0.0	2.0	0.0	0.4
3	0.0	1.7	0.0	0.6
4	0.7	1.2	0.3	0.7
5	0.3	1.6	0.7	1.1
6	0.0	3.1	1.4	1.1
10・1	0.0	2.2	0.6	2.6
2	0.0	1.3	0.4	2.8
3	1.7	2.0	2.1	1.5
4	0.3	2.7	3.3	2.4
5	1.4	2.1	2.1	2.7
6	2.6	1.6	0.0	3.6
11・1	2.0	-	0.0	-
2	0.6	-	4.3	-
3	1.6	-	1.7	-
4	0.8	-	0.6	-
5	1.6	-	2.9	-
6	1.7	-	3.2	-
4～10月計	534.1	534.2	77.9	215.9

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年(参考)	H25	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	1.1	-	0.0	-
4	0.0	-	0.9	-	0.0	-
5	0.1	-	0.0	-	0.0	-
6	0.7	-	1.0	-	0.0	-
5・1	0.1	2.5	0.0	0.1	0.0	0.7
2	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	1.7
3	0.0	2.0	1.5	1.8	0.0	2.7
4	0.7	3.8	0.5	2.0	1.4	2.1
5	1.1	4.3	1.7	9.5	1.9	3.2
6	2.3	6.8	1.0	9.3	3.7	4.2
6・1	2.9	5.8	0.3	5.8	5.0	4.0
2	1.4	6.7	6.0	5.0	0.7	6.0
3	6.6	9.1	4.3	11.3	2.4	5.3
4	11.7	12.4	23.7	15.6	6.4	7.5
5	18.6	14.1	16.7	5.0	17.9	11.4
6	14.0	20.1	12.0	5.9	11.6	26.7
7・1	14.9	22.9	24.7	4.7	12.3	32.7
2	24.5	21.9	36.6	12.4	15.7	35.0
3	34.3	22.7	18.0	24.9	31.0	38.1
4	20.4	30.5	53.0	30.1	29.6	37.6
5	23.6	28.9	34.4	41.5	16.4	32.7
6	35.0	45.2	49.6	43.6	38.0	34.3
8・1	20.7	38.6	42.1	27.3	35.0	37.9
2	26.3	39.9	51.7	28.8	39.7	33.0
3	30.4	37.2	67.2	30.4	41.7	39.8
4	32.1	40.1	33.3	38.1	37.1	49.2
5	119.6	54.7	149.7	51.8	45.7	55.1
6	115.3	70.8	176.7	83.8	61.7	59.9
9・1	43.7	88.7	125.3	89.5	50.1	48.7
2	15.7	92.4	60.0	152.0	30.7	61.9
3	127.1	77.9	183.0	127.5	109.6	77.4
4	125.9	87.3	245.7	150.6	105.0	80.9
5	82.1	95.0	261.3	232.2	68.6	87.1
6	94.3	101.8	110.0	235.2	45.7	86.6
10・1	84.9	103.1	102.1	159.3	48.7	88.3
2	104.9	105.9	100.9	157.3	82.9	73.1
3	210.0	107.5	335.8	164.8	211.4	62.9
4	174.6	114.4	257.2	192.6	97.7	61.0
5	159.7	97.2	172.1	105.3	55.6	61.5
6	170.0	141.8	128.9	147.9	37.5	78.4
11・1	96.7	-	78.3	-	12.5	-
2	75.0	-	87.7	-	38.6	-
3	43.3	-	49.0	-	25.7	-
4	19.4	-	10.8	-	14.1	-
5	8.6	-	11.5	-	2.1	-
6	1.7	-	2.8	-	1.8	-
5～10月計	1949.4	1756.2	2887.0	2405.3	1398.4	1428.4

平成22年に亀岡市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.2
5	0.0	0.1	0.0	0.9	0.0	0.1
6	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1
2	0.0	0.1	1.0	0.3	0.0	0.0
3	0.4	0.2	0.0	0.4	0.0	0.1
4	0.6	0.4	0.0	0.9	0.0	0.2
5	0.0	0.2	0.8	1.8	0.0	0.2
6	0.6	0.1	0.8	1.3	0.0	0.1
7・1	0.4	0.1	0.9	0.7	0.6	0.1
2	0.6	0.3	3.4	0.6	1.4	0.3
3	1.4	0.6	2.0	1.2	0.0	0.4
4	2.1	0.6	2.0	1.4	0.0	0.3
5	2.9	0.4	0.6	2.1	0.0	0.5
6	4.0	1.2	0.4	4.4	1.0	0.9
8・1	1.4	1.0	2.9	4.3	0.0	0.9
2	2.1	1.0	1.7	2.1	0.0	0.7
3	1.1	1.2	0.4	4.2	0.0	1.4
4	2.9	2.9	12.5	5.5	0.0	3.7
5	5.1	3.8	5.5	6.2	1.1	7.7
6	5.6	3.8	3.3	9.0	3.9	11.1
9・1	2.9	2.6	3.7	6.8	4.1	8.6
2	0.0	2.2	5.0	4.9	0.7	6.8
3	0.6	1.2	4.3	3.8	1.3	4.8
4	1.0	1.0	4.8	5.3	0.9	6.6
5	1.4	1.0	3.5	4.0	0.0	3.7
6	1.4	0.5	3.5	1.8	0.0	1.4
10・1	1.4	0.5	0.7	0.9	0.4	0.7
2	1.1	0.2	2.3	1.0	0.7	0.4
3	0.0	0.1	0.8	0.3	0.7	0.2
4	0.0	0.0	0.2	0.0	1.3	0.2
5	0.0	0.0	0.7	0.1	0.9	0.1
6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1
11・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	39.9	27.7	68.0	79.5	19.0	62.7

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	0.0	-	0.7	-	0.0	-
2	0.0	-	0.3	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	1.0	-	0.0	-
5・1	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
2	0.4	0.3	0.0	1.3	0.0	0.1
3	0.0	0.8	0.8	2.7	0.0	0.2
4	0.0	1.5	0.3	3.9	0.0	0.0
5	0.0	2.0	1.7	3.4	0.0	0.1
6	0.0	2.4	2.5	1.9	0.0	0.2
6・1	0.0	0.2	0.9	2.1	0.0	0.3
2	0.0	0.1	0.0	1.8	0.0	0.2
3	0.0	0.4	1.4	1.5	0.0	0.2
4	0.0	1.2	0.6	2.2	0.0	0.4
5	0.0	0.6	0.0	2.7	0.0	0.1
6	0.0	0.2	0.0	2.6	0.0	0.0
7・1	0.4	0.3	0.6	3.9	0.0	0.1
2	0.6	0.2	0.4	3.3	0.0	0.0
3	0.0	0.4	0.0	4.6	0.0	0.0
4	0.0	0.5	2.0	5.6	0.0	0.0
5	0.0	0.2	0.0	1.9	0.0	0.0
6	0.0	0.2	0.0	3.2	0.0	0.0
8・1	0.0	0.3	2.1	5.2	0.0	0.0
2	0.0	0.2	4.5	6.2	0.0	0.0
3	0.0	0.3	3.4	8.9	0.0	0.0
4	0.0	0.3	10.8	8.6	0.0	0.0
5	0.0	0.6	17.2	5.6	0.0	0.1
6	0.4	1.1	8.0	8.9	0.4	1.2
9・1	0.6	1.0	8.0	5.9	0.6	0.9
2	0.0	0.4	4.3	11.0	0.0	0.3
3	0.0	0.3	16.7	24.2	1.1	0.2
4	1.1	1.2	30.3	23.2	1.1	1.0
5	2.9	0.8	37.4	18.4	0.7	1.6
6	1.4	0.9	41.3	21.8	1.4	0.9
10・1	2.7	1.4	62.1	20.2	0.6	0.5
2	7.3	1.1	90.9	14.7	0.1	1.0
3	22.1	0.9	65.8	14.4	0.7	0.4
4	22.7	1.5	109.2	17.8	0.7	1.3
5	16.3	2.9	47.9	22.2	0.4	2.1
6	7.1	4.8	31.6	23.4	0.0	2.2
11・1	3.3	-	15.8	-	0.0	-
2	1.4	-	14.5	-	0.0	-
3	1.0	-	7.6	-	0.0	-
4	0.6	-	1.6	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	86.6	31.1	602.7	309.4	7.8	15.7

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

チャノホソガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	456	73.9	-	166.5	1.3	0.0
2	339	208.3	172.9	210.4	0.0	0.0
3	214	253.1	101.4	304.7	0.0	0.0
4	339	174.8	57.3	378.5	0.3	0.0
5	65	175.2	22.9	390.9	0.7	0.0
6	50	57.6	2.9	251.6	0.0	0.0
5・1	35	51.9	1.7	70.0	0.0	0.0
2	34	29.0	1.1	23.6	0.0	0.0
3	36	7.5	0.7	3.4	0.0	0.0
4	7	3.1	3.3	1.4	0.0	0.1
5	0	8.8	3.3	47.4	0.0	0.4
6	521	267.4	4.0	140.7	0.0	0.1
6・1	1680	975.2	3.3	372.7	0.0	0.4
2	1232	1187.8	196.4	633.4	0.0	0.6
3	886	1135.1	153.4	839.6	0.0	0.6
4	239	529.7	124.7	897.4	0.0	1.0
5	72	167.1	124.7	928.1	0.0	0.6
6	48	79.9	93.3	304.2	0.0	0.0
7・1	31	202.9	72.3	180.3	0.0	0.0
2	118	1011.1	72.3	344.9	0.0	0.0
3	89	1266.7	142.1	471.0	0.0	0.0
4	298	1041.3	56.9	350.6	0.0	0.0
5	246	566.1	19.1	301.8	0.0	0.9
6	30	229.7	114.9	472.1	0.8	1.4
8・1	28	335.8	13.1	352.2	0.2	0.3
2	34	829.6	8.7	197.0	0.0	0.0
3	41	841.0	2.1	170.7	0.0	0.3
4	53	283.3	26.4	159.6	0.0	0.2
5	28	311.6	16.6	188.1	0.0	0.0
6	40	380.6	15.3	244.2	0.0	0.1
9・1	16	775.5	22.8	177.0	0.0	0.4
2	40	555.2	40.7	143.5	0.0	0.1
3	36	225.2	61.9	158.7	0.0	0.0
4	96	192.0	71.1	158.6	0.0	0.4
5	136	227.5	77.1	143.4	0.0	0.4
6	206	321.7	55.0	125.4	0.0	0.5
10・1	195	136.7	67.9	125.6	0.0	0.3
2	98	66.3	87.1	98.0	0.0	0.0
3	30	34.0	20.8	82.0	0.0	0.0
4	4	14.8	47.0	66.3	0.0	0.0
5	6	16.7	32.7	43.2	0.0	0.0
6	18	11.2	-	31.4	0.0	0.0
11・1	19	4.8	-	7.5	0.0	0.0
2	9	10.2	-	3.2	0.0	0.0
3	1	8.2	-	0.0	0.0	0.0
4	1	12.6	-	0.0	0.0	0.2
5	0	3.6	-	0.0	0.0	0.4
6	1	2.6	-	0.0	0.0	0.0
4~10月計	8170.0	15261.9	2211.2	10750.2	3.3	8.4

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H25	平年	H25	平年	H25	平年
4・1	3	0.4	-	0.3	0.0	0.2
2	10	2.6	0.0	0.7	0.0	0.6
3	18	35.3	12.9	6.5	1.1	1.2
4	124	60.8	23.6	15.1	1.4	1.4
5	158	69.6	40.3	32.6	1.4	1.0
6	460	176.7	78.6	83.4	6.4	8.3
5・1	720	454.9	116.3	135.0	9.4	15.3
2	1143	569.5	125.1	219.5	13.1	13.2
3	1410	350.9	124.3	227.0	20.0	14.1
4	1370	192.0	4.3	204.8	10.3	15.6
5	521	84.8	4.3	64.1	6.4	4.1
6	112	29.5	5.1	15.2	4.9	2.4
6・1	14	7.1	4.3	2.6	2.9	1.3
2	1	3.3	1.4	1.7	0.6	0.7
3	24	14.3	62.2	10.7	1.7	0.6
4	127	75.6	102.7	87.5	4.3	2.7
5	81	155.6	102.7	280.4	14.3	8.4
6	58	176.1	88.8	271.5	12.6	21.7
7・1	498	115.3	79.6	180.5	14.4	26.8
2	300	60.3	79.6	79.7	26.4	22.1
3	124	20.0	22.1	31.7	32.5	15.7
4	30	10.6	8.9	71.9	18.9	5.7
5	17	10.7	5.7	51.3	10.7	3.6
6	144	22.3	34.3	71.1	26.3	12.3
8・1	232	41.2	3.1	74.8	24.3	20.7
2	130	39.6	8.2	51.2	23.1	23.4
3	103	42.8	15.7	37.3	21.4	12.4
4	27	13.2	22.1	23.9	17.1	9.6
5	5	5.0	10.6	17.1	17.1	5.8
6	1	4.5	3.3	20.1	18.3	5.5
9・1	5	9.2	19.3	63.5	11.4	4.9
2	13	20.7	86.4	124.5	23.6	5.5
3	28	99.6	240.7	161.8	54.4	10.2
4	37	122.2	177.3	158.9	82.6	26.5
5	47	112.4	24.3	97.2	112.9	32.7
6	96	118.2	14.4	70.9	84.9	29.1
10・1	118	137.1	18.1	76.2	55.9	30.5
2	111	132.5	23.6	65.6	22.9	23.7
3	48	75.0	60.0	56.0	10.7	18.9
4	11	95.0	29.1	31.9	33.9	16.0
5	13	49.3	13.7	23.1	40.0	13.6
6	6	105.1	-	70.3	3.4	12.2
11・1	3	12.4	-	2.9	11.7	5.6
2	1	25.0	-	3.9	5.8	4.1
3	0	13.2	-	1.8	2.9	3.3
4	1	13.2	-	0.7	0.7	3.8
5	1	4.6	-	0.1	1.4	1.5
6	0	3.6	-	0.4	0.6	0.6
4~10月計	8498.0	3920.8	1897.0	3369.0	897.9	499.8

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月.半旬	H25	平年	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
4.1	4.0	2.6	0.0	1.0	2.0	6.0	—	5.0	0.0	0.0	9.0	0.0
.2	1.0	6.2	0.0	1.2	10.3	17.0	—	5.0	0.0	3.0	18.0	1.0
.3	6.0	9.0	2.5	5.1	6.8	3.3	8.0	8.0	1.0	7.0	47.0	1.0
.4	14.5	19.1	2.5	1.7	5.0	38.7	17.0	6.0	2.0	36.0	81.0	1.0
.5	10.5	15.0	2.0	2.0	6.7	38.0	34.0	15.0	2.0	12.0	36.0	2.0
.6	24.0	32.2	9.0	5.0	5.3	88.8	132.0	17.0	10.0	29.0	24.0	2.0
5.1	14.0	48.5	0.0	14.0	40.0	107.3	207.0	13.0	10.0	58.0	24.0	12.0
.2	64.0	50.2	0.0	16.0	8.0	143.3	217.0	34.0	14.0	52.0	11.0	7.0
.3	124.0	30.3	5.0	12.0	5.7	54.8	100.0	35.0	21.0	54.0	12.0	3.0
.4	119.0	36.1	9.0	14.0	9.3	47.0	159.0	9.0	18.0	61.0	23.0	12.0
.5	46.0	54.2	0.0	9.0	5.0	17.0	284.0	17.0	25.0	127.0	36.0	22.0
.6	138.0	45.3	10.0	4.0	3.0	6.9	193.0	27.0	20.0	134.0	29.0	26.0
6.1	70.8	43.3	10.0	10.0	7.0	9.6	83.0	22.0	35.0	179.0	37.0	40.0
.2	61.2	43.8	6.0	2.3	11.0	5.6	96.0	20.0	87.0	145.0	27.0	38.0
.3	12.7	44.7	18.0	1.7	4.0	2.4	85.0	28.0	85.0	186.0	19.0	18.0
.4	9.3	40.0	12.0	2.0	4.3	3.4	104.0	26.0	62.0	149.0	23.0	14.0
.5	0.0	26.1	0.0	0.0	5.7	2.0	74.0	18.0	72.0	59.0	19.0	11.0
.6	9.0	19.1	0.0	1.0	3.0	0.0	39.0	25.0	59.0	41.0	10.0	13.0
7.1	10.0	8.6	0.0	1.0	3.0	0.0	15.0	10.0	30.0	10.0	4.0	13.0
.2	4.0	9.4	13.0	0.0	4.0	1.0	35.0	11.0	12.0	7.0	6.0	5.0
.3	2.0	8.5	1.0	0.0	5.0	1.0	30.0	9.0	2.0	7.0	19.0	11.0
.4	4.7	6.5	0.0	0.0	5.0	2.8	18.0	10.0	1.0	12.0	10.0	6.0
.5	4.3	5.3	0.0	0.0	0.8	2.3	7.0	12.0	0.0	12.0	12.0	7.0
.6	6.0	7.3	3.0	1.0	0.9	7.0	5.0	13.0	—	14.0	11.0	11.0
8.1	11.7	16.6	8.0	16.0	0.3	4.7	10.0	8.0	35.0	48.0	14.0	22.0
.2	14.3	18.8	10.0	80.0	0.0	5.2	23.0	16.0	18.0	22.0	9.0	5.0
.3	9.0	29.0	35.0	76.0	7.0	7.0	33.0	29.0	38.0	28.0	28.0	9.0
.4	0.0	19.0	28.0	19.0	8.5	7.9	22.0	24.0	42.0	21.0	9.0	9.0
.5	0.0	19.8	15.7	3.0	5.5	3.1	20.0	25.0	37.0	26.0	31.0	32.0
.6	0.3	20.2	6.3	10.0	2.0	8.6	21.0	16.0	21.0	70.0	26.0	21.0
9.1	0.7	20.8	0.0	0.0	2.0	9.3	70.0	23.0	56.0	20.0	13.0	15.0
.2	7.0	30.1	3.0	20.0	2.6	8.4	170.0	19.0	48.0	11.0	5.0	14.0
.3	2.0	14.8	0.0	20.0	0.4	6.3	68.0	10.0	24.0	5.0	8.0	6.0
.4	8.0	14.2	0.0	1.0	26.7	20.0	41.0	19.0	22.0	3.0	5.0	4.0
.5	0.0	10.1	0.0	10.0	7.6	8.0	31.0	7.0	16.0	12.0	5.0	4.0
.6	2.0	6.6	0.0	5.0	2.8	3.7	10.0	11.0	17.0	14.0	1.0	2.0
10.1	12.0	8.0	0.0	0.0	17.0	1.0	8.0	14.0	23.0	16.0	1.0	0.0
.2	8.0	4.3	0.0	4.0	0.0	0.0	13.0	5.0	6.0	9.0	2.0	—
.3	4.0	5.6	10.0	0.0	13.0	0.0	5.0	6.0	9.0	6.0	1.0	—
.4	2.0	8.2	7.7	5.0	17.0	0.0	9.0	8.0	10.0	15.0	2.0	—
.5	0.0	6.3	19.3	4.0	0.0	0.0	8.0	5.0	6.0	13.0	1.0	—
.6	10.0	6.7	0.0	3.4	5.0	0.7	15.0	13.0	11.0	12.0	0.0	—
11.1	3.0	12.0	0.0	0.6	18.0	7.4	34.0					
.2	10.0	14.1	15.7	10.0	10.0	4.7	30.0					
.3	2.0	14.0	11.3	2.0	31.7	3.0	22.0					
.4	21.7	6.2	10.0	0.0	6.3	2.6	12.0					
.5	11.3	8.9	6.0	1.3	2.0	1.0	34.0					
.6	5.0	8.1	3.0	6.7	0.0	0.0	31.0					
4~10月計	850.0	870.1	246.0	380.4	278.2	698.8	2519.0	653.0	1007.0	1745.0	708.0	419.0

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の穂いもちの発生量は平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、本田では発生を認めていない(平年並)。 (2)病害虫調査協力員から、補植用苗での発生が報告されている(+) (3)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、感染好適条件が6月中旬から出現している。 (4)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-)。 (5)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ない(+と)予想されている。 (3)調査協力員からの報告によると、一部地域で葉いもちの発生が目立つ(+)	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、葉いもちの発生量は山城で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月26日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)前年8月の発生量は平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 やや少ない (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月24日(3号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多い [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの発生量は平年比やや多い(+) (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない(平年並)。	
	5月23日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多い [縞葉枯病] 発生量 並	(1)未耕起田等でのヒメビウンカの越冬量は平年比やや多い(+) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
セジロウンカ	6月26日(5号)	発生量 並(やや少ない)	(1)6月第3半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。	
	7月24日(6号)	発生量 並(やや少ない)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
トビロウンカ (中晩生水稲) (晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査で、発生を認めていない(平年並)。	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、山城の一部のは場で発生を認めた。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+と)予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 多い	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+と)予想されている。	
ツマグロ ヨコバイ	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)未耕起田等でのツマグロヨコバイの越冬量は平年並。	
	6月26日(5号)	発生量 多い(多い)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比多い(+)	
	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月23日(4号)	発生量 並	(1)前年8月、9月は第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
	8月21日(7号)	発生量 並(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並。	
イネミズ ゾウムシ	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は平年並。	
	5月23日(4号)	発生量 やや多い(並)	(1)前年新成虫の予察灯への誘殺数は平年並。 (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+) (3)5月第3半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺で誘殺を認めておらず(平年並)、亀岡、京丹後で平年比やや少ない(-)。	

斑点米 カメムシ類 (中晩生水稲)	6月26日(5号)	発生量 多い(多い)	(1)6月中旬現在、本田及び畦畔での発生量は平年比多い(+) (2)アカヒゲホソドリカスミカメ、アカスジカスミカメの予察灯での誘殺数は平年比やや多い～多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高いと予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、本田での発生量は平年並 (2)7月中旬現在、畦畔での発生量は平年比やや多い(+) (3)アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 多い	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年比やや多い(+) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年比多い(+)	
その他 (注意事項)				

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月26日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	8月21日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや少なく(-)、アズキで平年並 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
吸食性 カメムシ類	7月24日(6号)	発生量 並(やや少ない)	(1)7月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。	
	8月21日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない)(-) (2)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並) (3)調査協力員の報告によると、一部地域で発生が目立つ(+)	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年並 (2)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
サヤムシガ類	7月24日(6号)	発生量 並(少ない)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
ハダニ類	7月24日(6号)	発生量 多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多い(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比多く(+)、小豆で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 抛	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月26日(5号)	発生量 やや多い (やや少ない)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	8月21日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや少なく(-)、アズキで平年並。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
ハダニ類	7月24日(6号)	発生量 多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比多く(+)、小豆で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 抛	備考
黒斑病(ナシ)	3月26日(2号)	発生量 やや多い	(1)越冬罹病枝率は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)越冬罹病枝率は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 少ない(少ない)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない)(-) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 並(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)前年10月の発生量は、平年並。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
カキクダアザミ ウマ(カキ)	3月26日(2号)	発生量 やや多い	(1)前年秋期は、被害は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月24日(3号)	発生量 やや多い	(1)前年10月の発生量は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 並(少ない)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 並(少ない)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	

			(2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
落葉病(カキ)	5月23日(4号)	発生量 並	(1) 前年10月の発生量は平年並。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
うどんこ病 (カキ)	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1) 5月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2) 前年10月の発生量は平年比やや少ない(-)。 (3) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 多い (多い)	(1) 6月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 並(並)	(1) 8月中旬現在、発生量は平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
べと病(ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1) 5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 6月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 少ない(少ない)	(1) 7月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない)(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1) 8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 ナシ やや多い (やや多い) カンキツ やや少ない (やや少ない)	(1) 5月中旬現在、発生量はナシで平年比やや多く(+)、カンキツで平年比やや少ない(-)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 6月中旬現在の発生量は、ナシ、カンキツとも平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 ナシ やや多い (並) カンキツ 並(並)	(1) 7月中旬現在、発生量はナシで平年比やや多く(+)、カンキツで平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 ナシ 多い(多い) カンキツ やや少ない (少ない)	(1) 8月中旬現在、発生量はナシで平年比多く(+)、カンキツで発生を認めていない(平年比少ない)(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月26日(2号)	発生量 やや多い	(1) 前年秋期は、被害は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
カメムシ類 (果樹全般)	5月23日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1) 越冬量調査ではチャバネアオカメムシの越冬量は丹後地域で例年並、京都市及び南丹地域で平年比やや多い。 (2) 5月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。 (3) 5月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。
	6月26日(5号)	発生量 並(やや少ない)	(1) 予察灯での誘殺数は平年並。 (2) チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は平年並。
	7月24日(6号)	発生量 並(少ない)	(1) 7月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (2) 7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺を認めていない(平年比やや少ない)(-)。
	8月21日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1) 8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (2) 8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺を認めていない(平年並)。 (3) 8月中旬現在、カキでの被害を認めていない(平年並)。
その他 (注意事項)			

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
もち病	3月26日(2号)	発生量 並(並) 防除時期 萌芽～1葉期	(1)前年10月は発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)前年10月は山城、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (3)向こう1か月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)8月中旬現在、山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
炭そ病	6月26日(5号)	発生量 山城 並 (やや少ない) 丹波 やや少ない (やや少ない) 丹後 やや少ない	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で発生を認めていない(平年比やや少ない)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 多い(並) 丹波 多い (やや多い) 丹後 並	(1)7月中旬現在の発生量は、山城、丹波で平年比多く(+)、丹後で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 多い(並) 丹波 多い (やや多い) 丹後 多い	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後とも平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
カンザワハダニ	2月25日(1号)	発生量 山城 少ない (やや少ない) 丹波 並(並) 防除時期 3月上旬	(1)2月第5半旬現在、寄生葉率は山城で平年比低く(-)、丹波で寄生を認めなかった(平年並)。 (2)産卵は認められず、産卵葉率は山城で平年比低く(-)、丹波で平年並であった。 (3)発生は場率は山城で平年比低く(-)、丹波で発生を認めなかった(平年並)。 (4)向こう1か月の気温、降水量とも平年並と予想されている。	
	3月26日(2号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや少ない (少ない)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 山城 少ない (やや少ない) 丹波 やや少ない (少ない) 丹後 並	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波、丹後で発生を認めていない(丹波:平年比やや少ない、丹後:例年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 山城 並 (やや多い) 丹波 並(並) 丹後 多い	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 やや多い (やや多い) 丹波 やや多い (やや多い) 丹後 やや多い	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 並 (やや多い) 丹波 やや多い (やや多い) 丹後 並	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並、丹後で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	

	9月26日(8号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 やや少ない(やや少ない) 丹後 並	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比やや少ない(-)、丹後で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 山城 並 丹波 並 丹後 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波、丹後で発生を認めていない(丹波:平年比やや少ない 丹後:例年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
チャノホソガ	3月26日(2号)	発生量 山城 やや少ない(少ない) 丹波 並(並) 防除時期 2葉期	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 山城 並(少ない) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治で平年比やや多く(+)、綾部で平年比やや少なく(-)、弥栄で例年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや少ない(少ない) 丹後 並 第2世代幼虫ふ化時期 山城 6月第2～第3半旬(並) 丹波 6月第1～第2半旬(やや早い)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比やや多く(+)、綾部で平年比少ない(-)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年並、綾部で平年比やや早い。
	6月26日(5号)	発生量 山城 やや少ない(少ない) 丹波 少ない(少ない) 丹後 並 第2世代幼虫ふ化時期 山城 7月第4～第5半旬(やや早い) 丹波 7月第3～第4半旬(早い)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比少ない(-)、丹後でも発生を認めていない(例年並)。 (2)フェロモントラップでの誘殺数は、宇治で平年比やや多く(+)、綾部で平年比やや少ない(-)。 (3)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治で平年比やや早く、綾部で平年比早い。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 やや少ない(やや多い) 丹後 やや少ない 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第5～第6半旬(やや遅い) 丹波 8月第5～第6半旬(やや遅い)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で発生を認めなかった(平年比やや少ない(-))。 (2)第2世代成虫の発生時期は、宇治、綾部ともで平年比やや遅い。
	8月21日(7号)	発生量 山城 少ない(やや少ない) 丹波 やや少ない(並) 丹後 やや少ない 第5世代幼虫ふ化期 山城 10月第1～第3半旬(並) 丹波 10月第1～第3半旬(並)	(1)8月中旬現在、第4世代幼虫の発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比やや少ない(-)、丹後で例年比やや少ない(-))。 (2)第3世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。

	9月26日(8号)	発生量 山城 少ない (やや少ない) 丹波 やや少ない (やや少ない) 丹後 並	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比やや少ない)(-)、丹後で例年並。	
	10月22日(9号)	発生量 山城 やや少ない 丹波 並 丹後 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並、丹後で例年並。	
チャノコカクモンハマキ	3月26日(2号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)前年10月の発生量は、平年比やや多い。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 山城 やや多い (やや多い) 丹波 やや多い (並) 丹後 やや少ない	(1)前年10月の発生量は、山城、丹波で平年比やや多い(+) (2)4月中旬現在、山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治、綾部で平年比やや多く(+)、弥栄で例年比やや少ない(-)。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 多い (やや多い) 丹波 並(並) 丹後 並 第1世代幼虫ふ化時期 山城 5月第6半 旬~6月第2半 旬(やや遅い) 丹波 5月第5半 旬~6月第1半 旬(並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比多く(+)、綾部で平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや遅く、綾部で平年並。	
	6月26日(5号)	発生量 山城 多い(並) 丹波 やや多い (やや少ない) 丹後 並 第2世代幼虫ふ化期 7月第2~第3半 旬(並)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生認めていない(例年並)。 (2)フェロモントラップでの誘殺数は、宇治で平年比やや多く(+)、綾部で平年並。 (3)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治、綾部とも平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 やや多い (並) 丹波 やや少ない (やや少ない) 丹後 並 第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第5~6 半旬(遅い) 丹波 8月第2~3 半旬(やや早い)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めなかった(丹波 平年比やや少ない(-)、丹後 例年並)。 (2)第1世代成虫の発生時期は宇治で平年比遅く、綾部で平年比やや早い。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 やや多い (やや少ない) 丹波 並(並) 丹後 並 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第5~ 第6半旬(やや早 い) 丹波 9月第5~ 第6半旬(やや早 い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)第2世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年比やや早い。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 山城 やや多い (並) 丹波 やや少ない (少ない) 丹後 並 第4世代幼虫ふ化期 山城 10月第1~ 第3半旬(並) 丹波 10月第3~ 第5半旬(遅い)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(丹波:平年比やや少ない(-) 丹後:例年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺盛期は、宇治で平年並、綾部で平年比遅い。	
	クワシロ カイガラムシ	4月24日(3号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 多い(多い)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比多い(+) (2)4月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年比や

		丹後 多い	や多く(+)、丹後で例年比多い(+)。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 多い(多い) 丹後 多い	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後とも平年(例年)比多い(+)。	
	6月26日(5号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 多い(やや多い) 丹後 多い	(1)第1世代幼虫の発生量は、山城、丹波、丹後とも平年(例年)比多い(+)。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(並) 丹後 やや多い	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+)。	
チャノキイロアザミウマ	5月23日(4号)	発生量 山城 やや少ない(やや少ない) 丹波 並(並) 丹後 やや多い	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 山城 並(やや多い) 丹波 やや少ない(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 並(多い) 丹波 少ない(やや少ない) 丹後 やや少ない	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比少なく(-)、丹後で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 並(やや多い) 丹波 並(やや多い) 丹後 並	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
チャノミドリヒメヨコバイ	5月23日(4号)	発生量 山城 やや多い(並) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。	
	6月26日(5号)	発生量 山城 並(やや少ない) 丹波 並(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で発生認めず(平年並)、丹波で平年並。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 やや少ない(並) 丹後 並	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で発生を認めていない(例年並)。	
	8月21日(7号)	発生量 山城 多い(多い) 丹後 並	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年比や	
その他(注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日(発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐病(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリ及びナスでは発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+)	

			(2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1) 8月中旬現在、発生量はナスで平年比やや多く(+)、キュウリでは平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
べと病 (キュウリ) (ウリ類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1) 5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
(キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 少ない(少ない)	(1) 7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
(アブラナ科)	9月26日(8号)	発生量 並(やや多い)	(1) 9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
(アブラナ科)	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、発生量はキャベツ及びカブで発生を認めていない(キャベツ:平年並 カブ:平年比少ない)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
炭そ病 (ウリ類)	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在、発生を認めていない。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	(キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1) 7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。
	(キュウリ)	8月21日(7号)	発生量 並	(1) 8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
褐斑病 (キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1) 7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	8月21日(7号)	発生量 やや多い	(1) 8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
斑点細菌病 (キュウリ、トウガラシ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1) 5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1) 7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
べと病(アブラナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 並(やや多い)	(1) 9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、発生量はキャベツ及びカブで発生を認めていない(キャベツ:平年並 カブ:平年比少ない)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
白斑病(アブラナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1) 9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
菌核病 (キャベツ)	3月26日(2号)	発生量 並(並)	(1) 前年秋期の調査では発生を認めなかった(平年並)。 (2) 3月下旬の調査では、発生量は平年並。 (3) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	

	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)春期の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)春期の発生量は、平年並。 (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、カブ及びダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1ヶ月の気温は高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
黒腐病(キャベツ等)・黒斑細菌病(アブラナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)台風による暴風雨や冠水により、感染の可能性が高まっている(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。
黒腐病(キャベツ)	10月22日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1ヶ月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
さび病(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)前年秋期は、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	4月24日(3号)	発生量 並(やや多い)	(1)4月上旬現在、トマト(施設)で発生を認めた。 (2)4月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年並。
	5月23日(4号)	発生量 多い (多い)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量は平年比多い(+) (2)5月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生量はナスでは平年比やや少なく(-)、キュウリでは発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類(アブラナ科、キュウリ、ナス、ホウレンソウなど)	8月21日(7号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)8月中旬現在、発生量はナスで平年比やや少なく(-)、キュウリでは平年並。 (2)8月第3半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
ハダニ類(チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで発生を認めておらず(平年並)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 多い(やや多い)	(1)6月中旬現在、キュウリでは平年比やや多く(+)、ナスでは平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。 (3)調査協力員からの報告によると、各地でハダニ類の発生が目立つ(+)
	8月21日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量はナス及びキュウリで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	アザミウマ類(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(やや少ない)
	6月26日(5号)	発生量 多い(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量はキュウリ及びナスで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+)

			(2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1) 8月中旬現在、発生量はナス及びキュウリで平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
ハモグリバエ類 (果菜類)	6月26日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1) 6月中旬現在の発生量はナス及びキュウリで平年比やや少ない(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや多い(多い)	(1) 7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並と予想されている。
(果菜類等)	8月21日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1) 8月中旬現在、発生量はキュウリで平年比少なく(-)、ナスで平年比やや少ない(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	9月26日(8号)	発生量 やや少ない(並)	(1) 9月中旬現在、発生量はナスで平年比少なく(-)、カブで発生を認めなかった(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
コナガ (アブラナ科 野菜)	3月26日(2号)	発生量 並(やや多い)	(1) 3月下旬の調査(キャベツ)では、発生を認めなかった(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 並(多い)	(1) 4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年並。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は亀岡、丹後とも平年並。
	5月23日(4号)	発生量 やや少ない	(1) 5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は、平年比やや少ない(-)。 (3) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1) 8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は亀岡で平年比やや少なく(-)、京丹後で平年比少なく(-)、京田辺で平年並。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡では8月第3半旬現在平年比やや多く(+)、京丹後では8月第2半旬現在平年比やや少ない(-)。
	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1) 9月中旬現在、ダイコン、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2) 9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3) 9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (4) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 やや多い(多い)	(1) 10月中旬現在、キャベツで平年比やや多く(+)、カブ及びダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年比やや少なく(-)、京丹後で平年並。 (3) 予察灯への誘殺数は、京田辺で平年比多く(+)、亀岡及び京丹後で例年比やや多い(+)
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月24日(6号)	発生量 並	(1) 7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。
	8月21日(7号)	発生量 並(並)	(1) 8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺でやや少なく(-)、京丹後で平年並。
	9月26日(8号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1) 9月中旬現在、ナス、ダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2) 9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ](野菜全般)	9月26日(8号)	発生量 並	(1) 9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、オオタバコガ、タバコガとも平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
ハイマダラノメイガ[ダイコンシンクイムシ](アブラナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 やや多い(並)	(1) 9月中旬現在、発生量は平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
シロオビノメイ(ホウレンソウ)	8月21日(7号)	発生量 並	(1) 8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。
	9月26日(8号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1) 9月第3半旬現在、予察灯への誘殺は認めていない(京田辺:平年並、亀岡・京丹後:平年比やや少ない(-))(-)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
ネギアザミウマ	4月24日(3号)	発生量 やや多い	(1) 4月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)

(ネギ)		(やや多い)	(2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 やや多い(並)	(1) 5月中旬現在、被害の発生は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 やや多い(並)	(1) 6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 やや多い(並)	(1) 8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	9月26日(8号)	発生量 並 (やや多い)	(1) 9月中旬現在、発生量は平年並 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、発生量は平年並 (2) 向こう1ヶ月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
ネギハモグリバエ(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 多い(並)	(1) 4月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1) 5月中旬現在、被害の発生は平年比やや少ない(-) (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	6月26日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1) 7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年並と予想されている。
	8月21日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1) 8月中旬現在、発生量は平年並 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1) 9月中旬現在、発生量は平年並 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 やや多い(多い)	(1) 10月中旬現在、発生量は平年並 (2) 向こう1ヶ月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
その他 (注意事項)			

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	日照時間
第1号	3月	2月25日	2月22日	平年並	平年並	平年並
第2号	4月	3月26日	3月22日	平年並	平年並	平年並
第3号	5月	4月24日	4月19日	平年並	平年並	平年並
第4号	6月	5月23日	5月17日	平年並	平年並	平年並
第5号	7月	6月26日	6月21日	平年並または高い	平年並	平年並
第6号	8月	7月24日	7月19日	平年並	(日本海側) 平年並または多い (太平洋側) 平年並	平年並または少ない
第7号	9月	8月21日	8月16日	平年比高い	平年並	平年並
第8号	10月	9月26日	9月20日	平年比高い	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または多く	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または少ない
第9号	11月	10月22日	10月18日	平年比高い	平年並または多い	平年並または少ない

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	15700ha	葉いもち	平年: やや遅 前年: やや遅	平年: 並 前年: 並	4605ha	7月～8月に本田で発生を確認、7月に平年比やや少なく、8月に平年比やや多い発生。	6月に府中部(中丹地域)で苗いもちの発生を確認。好適感染条件が6月中旬～下旬、7月下旬～8月上旬にかけて広域で出現した。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: 多	2302ha	8月、9月に平年比やや多い発生。	7月下旬～8月上旬にかけて気温は平年並、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少なく推移した。	出穂期前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年: やや遅 前年: 並	平年: 並 前年: やや多	5861ha	8月～9月に発生を確認、8月、9月に平年並の発生。	7月時点の茎数は平年比少なかった。8月中旬～下旬にかけて気温は平年比高く、降水量は平年比少なく、日照時間は平年比多く推移した。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年: 遅 前年: 遅	平年: 並 前年: やや少	13083ha	予察灯への初飛来(5月10日～21日)は亀岡・京田辺で平年比遅く、京丹後で平年比やや遅かった。予察灯での誘殺数(4月第1半旬～5月第3半旬)は、亀岡・京丹後で平年比やや少なかった。本田では5月に平年比やや多く、6月に平年並の発生を確認した。	4月下旬～5月上旬にかけて気温は平年比低く、5月中旬～6月中旬にかけて気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロヨコハマシ	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	12036ha	6月～9月に発生を確認、6月に平年比多く、7月、8月に平年並の発生。	越冬密度は平年並であった。6月～8月にかけて気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメビウンカ	平年: 並 前年: 並	平年: 多 前年: やや多	15700ha	6月～9月に発生を確認、6月、7月、8月に平年比多い発生。	越冬密度は平年比やや高かった。6月～8月にかけて気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウンカ	平年: 早 前年: 早	平年: 並 前年: やや少	15700ha	予察灯への初飛来(6月17日～28日)は、亀岡、京田辺で平年比早く、京丹後で平年比やや早かった。本田では7月～9月に発生を確認、7月に平年並、8月に平年比やや多い発生を確認した。	飛来量は平年並であった。6月～8月にかけて気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビイロウンカ	平年: 遅 前年: 早	平年: 多 前年: 多	31ha	予察灯への初飛来(8月20日～21日)は、京田辺、京丹後で平年比遅かった。本田では8月～9月に府南部(山城地域)、中部(南丹地域)で発生を確認した。	飛来量は平年比多かった。8月～9月にかけて気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ニカメイガ	平年: 一 前年: 並	平年: やや多 前年: やや多	628ha	予察灯では5月上旬、6月中旬に誘殺あり。本田では6月～7月に府中部(中丹地域)、北部(丹後地域)で発生を確認した。		常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセテ	平年: 並 前年: 並	平年: 多 前年: 多	3663ha	6～8月に発生を確認、6月、7月に平年比多い発生。		常発地では本田防除を実施。
コブノメイガ	平年: やや早 前年: やや早	平年: 並 前年: やや多	2197ha	7月～9月に発生を確認、7月、8月に平年並、9月に平年比やや多い発生。	飛来量は平年並であった。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。		

		斑点米カメム	平年:並 前年:並	平年:多 前年:やや多	11514ha	畦畔雑草で6月に平年比多く、7月に平年比やや多く、8月に平年比多い発生。 本田では6月に平年比多く、7月に平年並、8月に平年やや多い発生。 優占種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシであった。 ミナミアオカメムシについて、予察灯では5月下旬～9月に府南部(山城地域)で、本田では9月に府	6月～8月にかけて気温は平年比高く推移した。カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除を行っている。
ムギ	298ha	赤かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査(5月第3～4半月)では発生は認めなかった。	開花期以降の防除の徹底。	開花期以降の薬剤散布(2回)。 収穫前に降雨が続く時は薬剤の追散布。
ダイズ (黒大豆)	458ha	アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	395ha	巡回調査では、9月に平年比少ない発生を認めた。 農林センター内の黄色水盤では、平年比やや少ない発生であった。	夏季の高温(梅雨が早く明けた)、8・9月の多雨・台風	移植時粒剤施用。 カメムシ類、ハスモンヨトウの薬剤散布で同時防除。
		カメムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	169ha	巡回調査では、9月に平年並の発生を認めた。	8・9月の多雨・台風	開花期以降の薬剤散布(3回以上)。
		ハスモンヨトウ	平年: 前年:	平年:並 前年:並	229ha	巡回調査では、8月は平年並の発生であったが、9月は平年比やや少ない発生となった。 フェロモントラップ誘殺数は平年並であった。	8・9月の多雨・台風	白変葉の除去。 カメムシ類との同時防除(3回以上)。
カンキツ	62ha	そうか病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		黒点病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去9年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		かいよう病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	20ha	巡回調査では、5～7月は概ね平年並、9月は平年比少ない発生を認め	春季の低温、6・8・9月の多雨・台風	薬剤散布。
		ヤノネカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	9ha	巡回調査では、5月に平年比やや少ない、9月に平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		ミカンハモグリ	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	35ha	巡回調査では、全期間を通じて概ね平年比やや多い～多い発生を認めた。		薬剤散布。
ナシ	89ha	黒斑病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	-	巡回調査では、6～8月は概ね平年並の発生を認めたが、9月は平年比多い発生であった。	8、9月の高温・多雨・台風	薬剤散布。
		黒星病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	-	巡回調査では、発生を認めなかった。	5月・9月の高温	薬剤散布。
		赤星病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	22ha	巡回調査では、全期間を通じて概ね平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	32ha	巡回調査では、全期間を通じて概ね平年比多い発生を認めた。	防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	40ha	巡回調査では、5～8月は概ね平年比やや多い発生を認めたが、9月は平年比少ない発生であった。	8・9月の多雨・台風	薬剤のローテーション防除。
		シンクイムシ	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		袋掛け。 薬剤散布。

ブドウ	88ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	33ha	巡回調査では、6月は平年比多い発生を認めたが、7～9月は概ね平年比少ない発生であった。	6月の発生:多雨 7～9月の発生:高温	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
カキ	215ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	17ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生を認めた。	8・9月の高温・多雨・台風	薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	172ha	巡回調査では、6～7月に平年比やや多い発生を認めたが、8～9月は平年並の発生であった。		薬剤散布。
		落葉病類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		カキノヘタムシ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	36ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生を認めた。	9月の高温	薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	47ha	巡回調査では、8～9月に平年比やや多い発生を認めた。	9月の高温	薬剤散布。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:多	29ha	巡回調査では、8月に平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	142ha	巡回調査では、8～9月に平年比やや多い発生を認めた。	梅雨明け後の高温、少雨。 薬剤感受性の低下?	薬剤散布。
		カキタアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	24ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生を認めた。	9月の高温	薬剤散布。
チャ	1626ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:多	1614ha	府南部、北部とも7月の二番芽伸長以降多発している。この結果、7月以降はいずれの地域も平年比多い発生で、期間を通じても比年比多い発生であった。	二番芽以降の伸長にパラツキが多く、適期防除がされていないほ場が多いと思われる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		もち病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	府北部、南部とも調査ほ場では発生を認めず、現地からの発生情報もなかった。		6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		チャノココクモンハマキ	平年:並 前年:やや遅	平年:やや多 前年:やや多	489ha	府南部のフェロモントラップへの誘殺数は9月を除き、平年比やや多い～平年比多い水準で推移した。枠調査でも、6月の摘裁期を除き、平年比やや多い～多い発生が確認された。 府北部のフェロモントラップへの誘殺数は期間を通じて平年並の発生であった。枠調査では、6月、7月は平年比やや多い発生であったが、他の月は平年比やや少ない～平年並の発生であった。	府南部、北部ともでは、7月以降の高温による増加と、8月上旬の降雨によって適期防除が出来なくなり発生が増加したと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	1328ha	府南部では、7月以降発生が多くなり、平年比やや多い～多い発生であった。 府北部では、9月を除き平年比やや少ない～平年並の発生であった。	薬剤感受性の低下によって、発生が多かったと考えられる。	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノキイロアザミウマと同時防除
		カンザワハダニ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	1396ha	府北部の7月を除き、全域で期間を通じて、平年比少ない～並の発生であった。		越冬前の防除及び萌芽期前後の防除 一番茶、二番茶摘採後の防除 同一薬剤の連用を避ける
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	1559ha	府全域で、期間を通じて平年比少ない～並の発生であった。		二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノミドリヒメヨコバイと同時防除
		クワシロカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや少	1559ha	府南部の7月及び府北部の8月を除き、期間を通じて、平年比やや多い～多い発生であった。	防除適期が限られており、散布が遅れがちになっている。	幼虫ふ化期の薬剤防除
冬春トマト	29ha	疫病	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。

		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	2ha	巡回調査では、5月に一部の地域で少発生を認め		薬剤散布。
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認め		育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	9ha	巡回調査では、4、5月に一部の地域で少発生、6月に多発生を認めた。		定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。 薬剤散布。
ナス(夏秋)	179ha	うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	44ha	7、8月に平年比やや多く、9月に平年比やや少ない発生であった。		ローテーション防除の実施
		アブラムシ類	平年:並 前年:やや早い	平年:並 前年:並	53ha	5月に平年比多く、6～9月に平年比やや少なかった。 アブラムシの黄色水盤への飛来量は、5、6月にやや多～多であったが、それ以降は少～並であった。		定植時の粒剤使用
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	58ha	6、7月は平年比やや多～多で経過したが、8、9月は平年並の発生となり、全体では平年比やや多い発生であった。ナミハダニとカンザワハダニが発生していた。	5月中旬以降、気温が高めに推移し、発生量がやや多くなったが、8月の猛暑で少なくなったと考えられる。	発生初期からの茎葉散布 効果の高い薬剤による適期散布
		ハスモンヨトブ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認め		若齢幼虫期の薬剤散布
キュウリ(夏秋)	120ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	28ha	7月に平年比少ない発生を認めた。全体では平年並の発生であった。	夏期は高温・少雨に推移した。	発生初期からの茎葉散布
		炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:少	0ha	巡回調査では発生を認め	夏期は高温・少雨に推移した。	発生初期からの茎葉散布
		疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認め		排水対策
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	28ha	7月に平年並の発生を認めた。		発生初期からの茎葉散布
		斑点細菌病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認め		
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	28ha	7月以降発生を認めた。	春季のアブラムシの発生が多かったため、発生が多くなったと考えられた。	定植時の粒剤施用 一部ほ場では弱毒ウイルス使用
		アブラムシ類	平年:やや遅 前年:遅	平年:並 前年:やや多	37ha	5月に平年比多い発生を認めたが、それ以降の発生は少なかった。	春期の気温が高かったことにより5月の発生が多かったと考えられた。	定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
ダイコン	243ha	モザイク病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認め		は種時の粒剤使用
		アブラムシ類	平年:やや遅 前年:遅	平年:やや多 前年:多	162ha	9月に平年比やや多い発生を認めた。アブラムシの黄色水盤への飛来量は平年比少なかった。		は種時の粒剤使用
キャベツ(春)	139ha	菌核病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:少	0ha	巡回調査では発生を認め		発生初期の薬剤防除
		黒腐病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	25ha	5月に平年比多い発生を認めた。		発生初期の薬剤防除
		モンシロチョウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	8ha	5月に平年並の発生を認めた。		他害虫との同時防除
		コナガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	25ha	4月に平年並、5月に平年比やや少ない発生を認めた。	有効薬剤が増加しており、発生は減少傾向である。	定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
		ヨトウガ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	28ha	5月に平年並の発生を認めた。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
キャベツ(冬)	98ha	菌核病	平年:- 前年:-	平年: 前年:	ha	台風18号による冠水の影響で、調査が出来なかった。	3月に発生を認めていたが、夏期が高温で推移したため、発生しなかったと考えられる。	発生初期の薬剤防除

		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年： 前年：	ha	台風18号による冠水の影響で、調査が出来なかった。		
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年： 前年：	ha	台風18号による冠水の影響で、調査が出来なかった。		
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年： 前年：	ha	台風18号による冠水の影響で、調査が出来なかった。		
		ヨトウガ類	平年：－ 前年：－	平年： 前年：	ha	台風18号による冠水の影響で、調査が出来なかった。		
ネギ	53ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
		アブラムシ類	平年：並 前年：やや早い	平年：やや多 前年：やや多	12ha	4、5月に平年比多い発生であった。6月～9月は発生を認めなかった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は、5、6月にやや多～多であったが、それ以降は少～並であった。		他害虫との同時防除
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
ホウレンソウ	319ha	アブラムシ類	平年：並 前年：やや早	平年：やや多 前年：並	160ha	4月には例年並の発生であったが、5月は例年比多い発生であった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は、5、6月にやや多～多であったが、それ以降は少～並であった。平年並～平年比少なかった。		他害虫との同時防除
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除

II 重要病害虫侵入警戒調査の実施

(I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園5か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメに国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)による植物の病気の発生が確認され、全国的な発生状況調査が実施された。本府においても、ウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域 平成25年5月8、9日 ：福知山市、綾部市、京丹後市、京丹波町
平成25年5月10、31日：京都市
平成25年6月5日 ：城陽市
- 3) 調査及び検定制度 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法 ①調査園及び周辺園を見取り調査。
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果 ①発病を認めなかった。
②全て陰性であった。

種類	調査地域数	調査区域数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウメ	5	11	55	0
モモ	2	9	45	0
合計	7	20	100	0

2 追跡調査

- 1) 調査場所 農林水産省から提供された兵庫県のみ生産地の移動先リストの中から、感染の疑いのある苗木が確認された京都市上京区、北区及び伏見区の最終所在地
- 2) 調査日時 平成25年10月9日：上京区
平成25年10月23日：北区及び伏見区
- 3) 調査方法 所在地の対象樹を見取り調査し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関に送付。
- 4) 調査結果 見取り調査により発病を認めなかったが、検定の結果、北区及び伏見区から各1樹が陽性であることが確認された。

Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績（平成26年3月作成）

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(1)フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生活消長調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：橋本 典久

協力分担：なし

予算(期間)：植防交付金(平成25年度)

1. 目的

黒大豆栽培において、吸実性カメムシ類は、子実の品質、収量の低下を招く重要害虫の一つである。当所では、吸実性カメムシ類の中のイチモンジカメムシ、アオクサカメムシについて、予察灯により発生活消長を調査しているが、誘殺数は両種とも非常に少なく、年によっては予察することが困難な場合もある。一方、黒大豆の巡回ほ場では、吸実性カメムシ類のうち、ホソヘリカメムシが最も多く観察され、本種の発生活消長を調査することが、精度の高い発生活予察に繋がると考えられる。

そこで集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いてホソヘリカメムシの発生活消長を調査し、今後の吸実性カメムシ類の発生活予察に資する。

2. 調査方法

(1)調査場所

トラップ1:農林センター4号ほ場(白大豆栽培)の畦

トラップ2:防除所ほ場(ネギ、キャベツ栽培)の畦

(2)調査期間

2013年4月第4半旬～11月第6半旬

(3)調査方法

諏訪らの方法(関東病虫研報50、2003)に準じて住化式乾式トラップ内に集合フェロモン(錠剤6個、1か月おきに交換、富士フレーバー(株)製)、毒餌(大豆種子をトレボン乳剤100倍液に1時間浸漬、風乾、2週間おきに交換)を置いて誘殺トラップとし、4月15日にそれぞれの調査場所に設置した(地上高1m)。その後、約5日ごとにホソヘリカメムシの誘殺数を調査した。

3. 結果の概要

トラップ①

(1)成虫の誘殺は、6月第3半旬～10月第3半旬に見られ、6月第6半旬、8月第3半旬、9月第1半旬に成虫の誘殺ピークが見られた(図1上)。

(2)幼虫の誘殺は、7月第2～3半旬、9月第1～3半旬の僅かな期間しか見られなかった(図1上)。

トラップ②

(3)4月第6半旬に越冬世代と考えられる成虫の初誘殺が見られた。その後、成虫の誘殺は11月第2半旬まで見られ、6月第5半旬、7月第2半旬、9月第2半旬に誘殺ピークが見られた(図1下)。

(4)幼虫の誘殺は、6月第2半旬～10月第4半旬、11月第2～3半旬に見られ(図1下)、トラップ②付近では、世代交代が数回、繰り返されていると推察された。

(5)トラップ②での成虫の初誘殺の時期はトラップ①より早く、最終誘殺はトラップ①より遅いことから(図1)、本種は越冬場所→トラップ②→トラップ①→トラップ②→越冬場所という移動をしている可能性があるという推察された。

(成績データ)

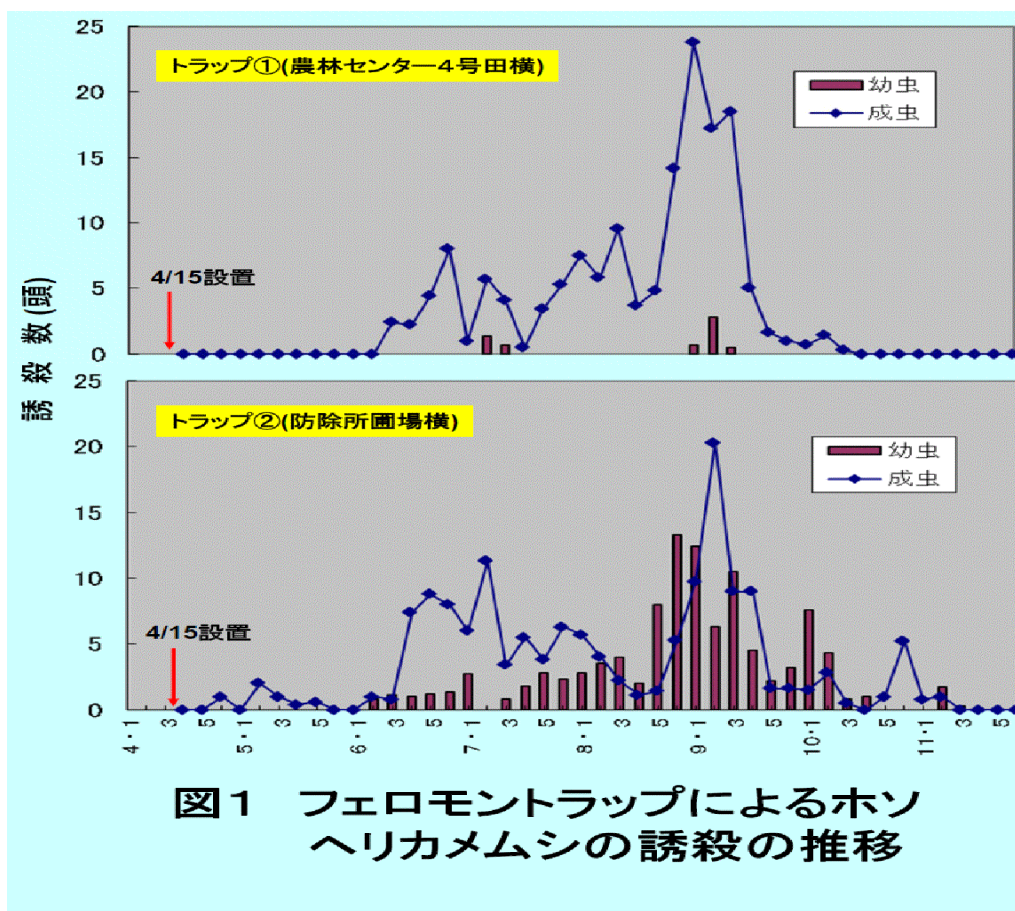


図1 フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺の推移

4. 結果の要約

集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いて、ホソヘリカメムシの発生消長を調査したところ、成虫の誘殺はトラップ①(農林センター白大豆ほ場の畦)では、6月第3半旬～10月第3半旬に、トラップ②(防除所キャベツ、ネギほ場の畦)では4月第6半旬～11月第2半旬に見られた。また、幼虫の誘殺は、トラップ①では、7月第2～3半旬、9月第1～3半旬の僅かな期間しか見られなかったのに対して、トラップ②では、6月第2半旬～10月第4半旬、11月第2～3半旬と長期間見られた。トラップ②付近では、世代交代が数回、繰り返されていると推察された。

[キーワード] 集合フェロモン、ホソヘリカメムシ、発生消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

継続して調査を実施し、ホソヘリカメムシの発生予察方法の確立に資する。また、ほ場での見取り調査を併せて実施し、トラップが示す発生消長とホソヘリカメムシの実際の行動との整合性を確認する。

6. 結果の発表、活用

なし。

単年度試験研究成績(平成26年3月作成)

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(2)プラスチック管瓶法によるネギアザミウマの殺虫剤感受性調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成25年度)

1. 目的

京都の伝統野菜の一つである九条ネギは、府内各地で栽培されているが、近年、ネギアザミウマの被害が増加しており、その原因として殺虫剤感受性の低下が懸念されている。

そこで、プラスチック管瓶法により府内ネギほ場から採取したネギアザミウマの殺虫剤感受性を調査し、今後の防除対策に資する。

2. 調査方法

(1)調査場所

ほ場名	成虫採取日	栽培形式	備考	
調査ほ場 (通常散布)	京都市A	2013.6.14	伝統的な栽培	夏、苗干し。多くがキャベツと輪作。
	京都市B	2013.5.25	〃	〃
	京都市C	2013.7.8	周年栽培	セル成形苗、機械移植。
	南丹市A	2013.6.7	ハウス栽培	ミズナ栽培が主体。品質が低下する夏場に導入。中山間地域。
参考ほ場 (無～低農業 散布)	亀岡市A	2013.7.11	ネギ苗栽培	夏に掘り上げ、秋に販売。農業無散布。
	亀岡市B	2012.9.13	白ネギ栽培	収穫部位は土中の軟白部。地上部は食害されても、収穫後、切断される。栽培時期は秋→冬。低農業。

(2)調査方法

上記のほ場から採取したネギアザミウマ成虫を供試虫として用いた。調査方法はプラスチック管瓶法(井村、植物防疫66(5)、2012)に準じた。なお、供試虫の採取については、各ほ場の被害葉から面相筆を使って直接、成虫を管瓶内に掃き落として捕獲した(20～40頭/1管瓶、2～3反復/1薬剤)。各種殺虫剤(常用濃度)の殺虫効果は、補正死虫率(Abbottの補正式、対照区：水道水)を算出して判定した。

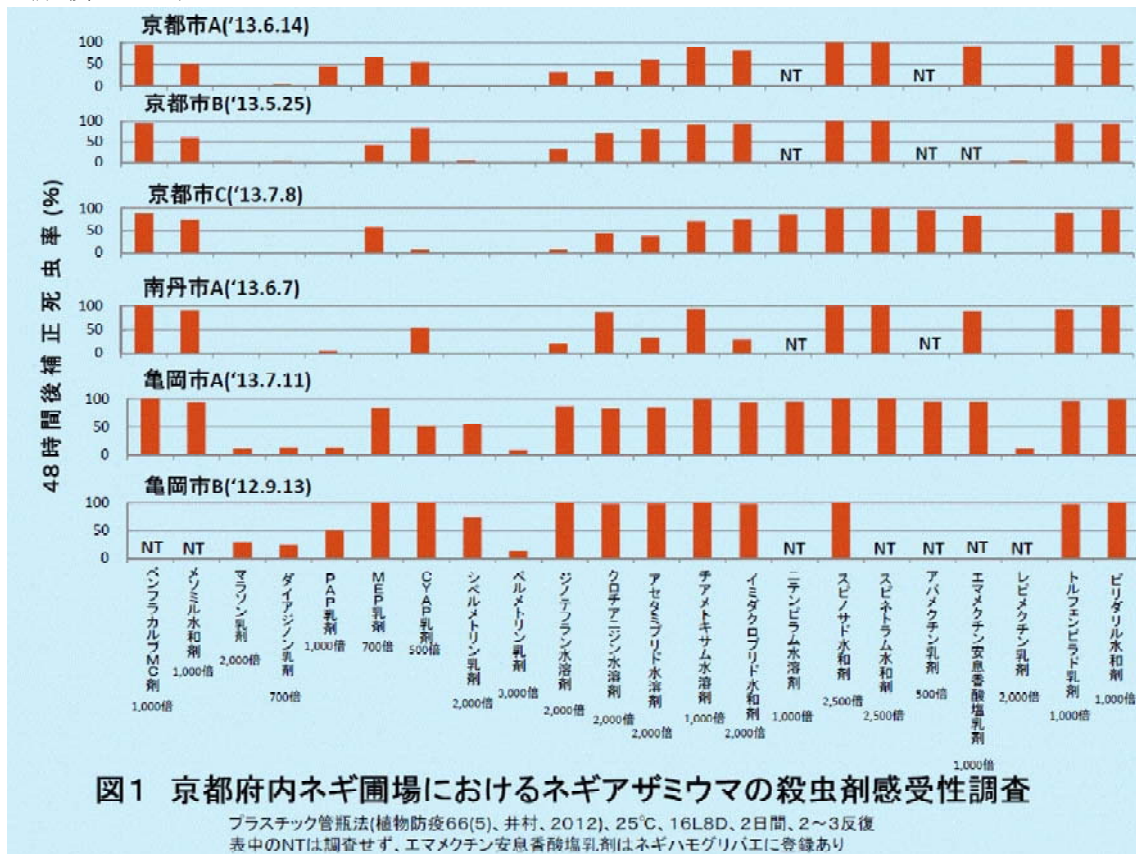
3. 結果の概要

(1)ベンフラカルブMC剤処理区、スピノサド水和剤処理区、スピネトラム水和剤処理区、トルフェンピラド乳剤処理区、ピリダリル水和剤処理区の補正死虫率は、4か所全ての調査ほ場で90%以上と殺虫効果が高かった(図1)。また、エマメクチン安息香酸塩乳剤処理区の補正死虫率は、京都市Aで90%以上と殺虫効果は高く、京都市C、南丹市Aでも80～90%と比較的効果が高かった(図1)。

(2)ネオニコチノイド系の殺虫剤では、チアメトキサム水溶剤処理区の補正死虫率は、京都市B、南丹市Aで90%以上と殺虫効果が高く、京都市A・Cでも70～90%と比較的効果が高かった(図1)。一方、イミダクロプリド水和剤処理区の補正死虫率は、京都市Bで90%以上と殺虫効果は高く、京都市A・Cでも70～90%と比較的効果が高かったが、南丹市Aでは50%以下と殺虫効果が低かった(図1)。また、クロチアニジン水溶剤処理区でも、京都市B、南丹市Aの補正死虫率は70～90%と比較的殺虫効果が高かったが、京都市A・Cでは50%以下と殺虫効果が低く、同じ殺虫剤でも調査ほ場により殺虫効果に差が見られた(図1)。さらに、ジノテフラン水溶剤処理区では、4か所全ての調査ほ場で補正死虫率が50%以下と殺虫効果が低かった(図1)。

(3)以上のことから、プラスチック管瓶法により各調査ほ場におけるネギアザミウマの殺虫剤感受性の状況を概ね把握することができ、ネギアザミウマの各種殺虫剤に対する感受性は、調査ほ場により違いがあることが分かった。

(成績データ)



4. 結果の要約

プラスチック管瓶法により京都府内のネギほ場におけるネギアザミウマの殺虫剤感受性を調査したところ、その感受性は調査ほ場により違いがあることが分かった。4か所全ての調査ほ場で補正死虫率が90%以上と殺虫効果が高かった殺虫剤は、ベンフラカルブMC剤、スピノサド水和剤、スピネトラム水和剤、トルフェンピラド乳剤、ピリダリル水和剤であった。

〔キーワード〕 ネギアザミウマ、殺虫剤感受性、プラスチック管瓶法

5. 今後の問題点と次年度の計画

調査地域を広げて継続調査。

6. 結果の発表、活用

京都府病害虫防除所植防セミナー(H26.2)、H25年度近畿中国四国農業試験研究病害虫問題別研究会(H26.3)で公表。

京都市内、南丹市内ネギ生産グループへ情報提供。

単年度試験研究成績（平成26年3月作成）

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(3)フェロモントラップによるカキのオオタバコガの発生消長調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成25年度)

1. 目的

2012年10月に京都市西京区大枝のカキ生産地で、カキの果実が食害を受けて大量に落下する現象が見られ、落下した一部の果実からオオタバコガ幼虫の寄生が認められた。

そこで大量落下とオオタバコガの関係を明らかにするために、フェロモントラップを用いた発生消長調査と果実の見取り調査を実施し、今後の防除対策に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

京都市西京区大枝カキほ場(品種「富有」)

(2) 調査期間

2013年6～11月

(3) 調査方法

カキほ場内に1カ所、地上高1mの位置に住化式フェロモントラップ(オオタバコガ用フェロモン：サンケイ化学)を5月31日に設置し、その後、約1週間ごとにオオタバコガの誘殺数を調査した。

オオタバコガのカキ果実への寄生を確認するために、9月26日、10月25日、11月18日に果実の見取り調査を実施した(100果/回)。

3. 結果の概要

(1)オオタバコガの誘殺は9月第1半旬～11月第3半旬に見られ、9月第2半旬、9月第5半旬、10月第1、4、6半旬、11月第3半旬に誘殺ピークが見られた(図1)。

(2)いずれの見取り調査でも、オオタバコガのカキ果実への寄生を認めなかった。

(3)今回の調査では、オオタバコガの発生とカキ果実の被害との関係は判然としなかった。

(成績データ)

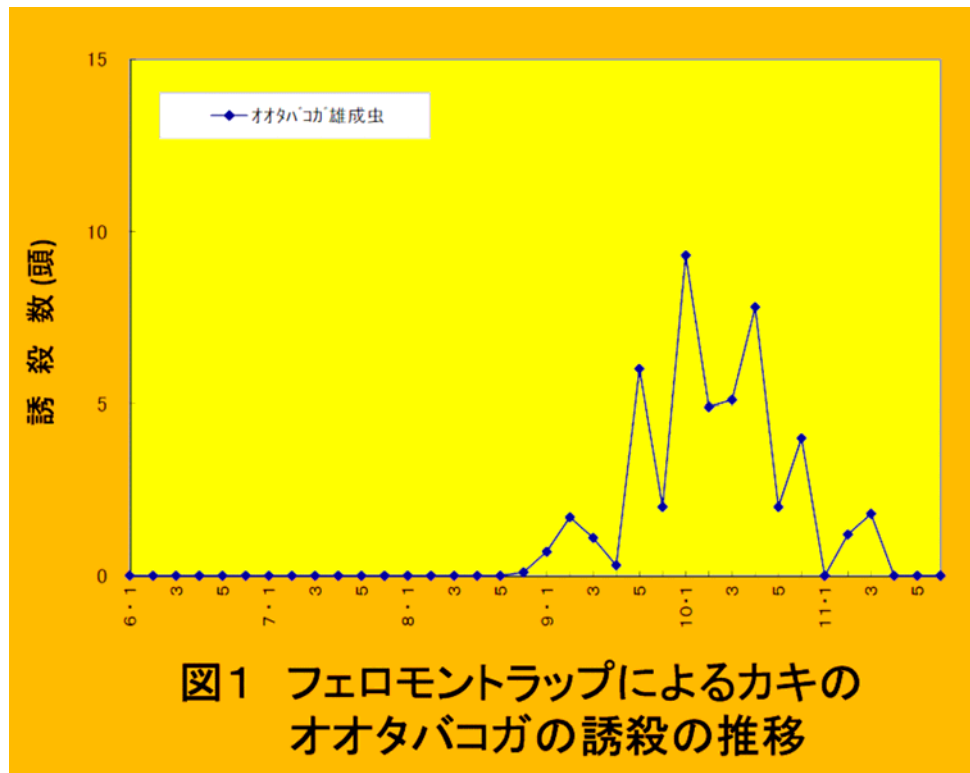


図1 フェロモントラップによるカキのオオタバコガの誘殺の推移

4. 結果の要約

フェロモントラップを用いて、京都市西京区大枝のカキほ場におけるオオタバコガの発生消長を調査したところ、誘殺は9月第1半旬～11月第3半旬に見られ、9月第2半旬、9月第5半旬、10月第1、4、6半旬、11月第3半旬に誘殺ピークが見られたが、見取り調査では、オオタバコガのカキ果実への寄生は認められず、オオタバコガの発生とカキ果実の被害との関係は判然としなかった。

[キーワード] カキ、オオタバコガ、フェロモントラップ、発生消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

継続。

6. 結果の発表、活用

なし。

単年度試験研究成績（平成26年3月作成）

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（4）京都府内における QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：津田 和久・鴨志田徹也

協力分担：JA全農京都、農薬メーカー

予算（期間）：植防交付金（平成25年度）

1. 目的

2012年10月に山口県病害虫防除所から QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生が報告されて以降、2013年9月までに島根県、愛媛県、福岡県、佐賀県、大分県、兵庫県等の11府県で発生が報告された。本年、QoI 剤を箱施用した府内の一部の水田で、いもち病が多発しているほ場が認められたことから、府内での耐性菌の発生が疑われた。そこで、いもち病発生ほ場から分離したいもち病菌について、QoI 剤に対する感受性を薬剤添加培地検定及び遺伝子検定により調査した。

2. 調査方法

（1）いもち病菌採取場所 府内のいもち病発生ほ場66地点（丹後地域はいもち病の発生がなかったため、採取しなかった。）

（2）調査方法

1) 薬剤添加培地による感受性検定

QoI 剤使用履歴のある綾部市物部町及び使用履歴のない南丹市八木町で採取したいもち病罹病葉からいもち病菌を分離した。両分離株を 100ppm リファンピシン添加 PDA 培地に置床して 28℃、1週間培養し、直径 4mm のコルクボーラーで菌そうをくり抜いた。アゾキシストロビン、メトミノストロビン及びオリサストロビン各 10、100ppm 添加 PDA 培地にくり抜いた両菌株 4 菌片を置床し、28℃、2日間培養後、菌そうの直径を測定した。対照には、薬剤無添加 PDA 培地を用いた。1回の試験で各薬剤・各濃度の培地 1 枚を使用し、試験は 2 回実施した。

2) 遺伝子検定による発生状況調査

府内 66 ほ場から採取したいもち病罹病葉から DNA を抽出し、PCR-RFLP 法により感受性遺伝子（G143）の変異の有無を調査した。

3. 結果の概要

（1）南丹市分離菌株Po5-1株は、いずれの薬剤添加培地でも生育しなかった（表1）。一方、綾部市分離菌株Po1-1株は、10、100ppmアゾキシストロビン添加培地、100ppmメトミノストロビン及び 100ppm オリサストロビン添加培地でやや生育が抑制されたが、いずれの培地でも生育することが認められた。2回目の試験でも同様の結果であった（データ略）。

- (2) 遺伝子検定の結果、Po5-1株では変異を認めなかったが、Po1-1株では変異が認められた。また、南丹地域及び山城地域から分離した菌株では遺伝子変異は確認されなかったが、中丹地域から分離した菌株では変異が多数確認された(表2)。
- (3) 以上のことから、南丹地域及び山城地域では確認されなかったが、中丹地域では多数のQoI剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された。

表1 QoI剤添加培地における南丹市分離菌株及び綾部市分離菌株の菌そう直径(mm)

菌株	無添加	アズキシストロビン		メトミノストロビン		オリサストロビン	
		10ppm	100ppm	10ppm	100ppm	10ppm	100ppm
南丹市分離株 Po5-1株	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
綾部市分離株 Po1-1株	18.0	14.0	10.3	17.8	14.0	18.0	16.3

表2 地域別の遺伝子変異の確認数

地域	検定数	遺伝子変異確認数
山城	20	0
南丹	10	0
中丹	36	25

4. 結果の要約

中丹地域において、QoI剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された。

[キーワード] QoI剤耐性イネいもち病菌

5. 今後の問題点と次年度の計画

26年度も継続して、府内における耐性菌の発生状況をモニタリングする。

6. 結果の発表、活用

防除所ニュース第6号(25年11月13日)により公表。

京都府病害虫防除所主催 植防セミナー(26年2月25日)で発表。

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(5) 赤色防虫ネットの囲いがネギアザミウマの被害軽減に及ぼす影響

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：上山 博、片岡光信、天野 久

協力分担：日本ワイドクロス株式会社

予算(期間)：植防交付金(平成25年度)

1. 目的

葉ネギ栽培においてネギアザミウマの被害は商品価値を著しく低下させる。本種は各地で薬剤感受性の低下が報告されているため、薬剤に代わる防除法が求められている。その一つとして、赤色防虫ネットのトンネル被覆が、本種の被害軽減に効果があることを明らかにした(上山ら、2013)。しかし、トンネルにネギの葉身部が触れ、葉折れ等の問題が生じた。そこで、トンネル被覆以外の手法として、ほ場周囲を赤色防虫ネットで囲む方法でネギアザミウマの被害軽減効果を検討した。

2. 材料および方法

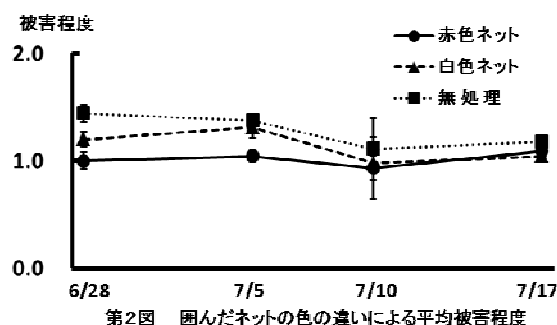
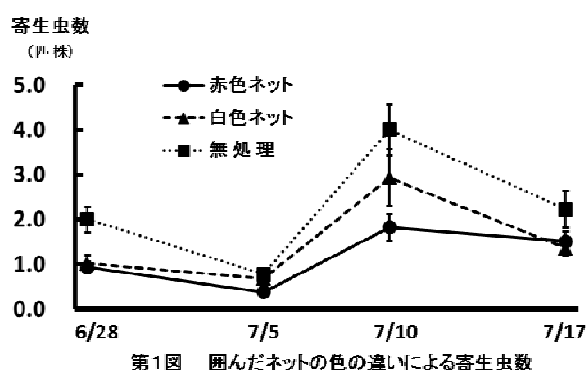
- ① 試験期間および場所 2013年4月～7月 京都府亀岡市の京都府病害虫防除所内の露地ほ場
- ② 耕種概要 4月15日にネギ(品種：黒千本)を播種し、6月4日に株間20cm×条間20cmで1畝当たり4条に定植した。畝頭と畝間は黒マルチで被覆した。
- ③ 試験区 定植時に、ほ場周囲を日本ワイドクロス社製の目合い0.8mm・高さ1.8mの赤色防虫ネット(サンサンネットe-レッド(SLR2700))で囲った区(赤色区)、同社製の同じ目合い・高さの白色防虫ネット(サンサンネットソフライト(SL2700))で囲った区(白色区)およびネットで囲わない区(無処理区)を設けた。各区のほ場は、それぞれ10m×10mとし各区ほ場内に7本の畝を設置した。
- ④ 調査方法 6月28日から7月19日まで5～7日間隔で、各区の中央部(端の畝から4列目)、中間部(端の畝から2列目および6列目)、外側部(端の畝から1列目および7列目)から、それぞれ任意の15株を抽出し、1株当たりに寄生している本種の成虫および幼虫を目視によって計数した。また、株毎に発生予察基準に準じ5段階で被害程度を調べた。

3. 結果の概要

各区における1株当たりのネギアザミウマの寄生成幼虫数は、各区の中央部、中間部及び外側部の平均で、ネット囲み36日後(7月10日)は赤色区1.8匹、白色区2.9匹、無処理区4.0匹で、赤色区で少ない傾向が認められたが、43日後(7月17日)は赤色区1.5匹、白色区1.4匹、無処理区2.2匹で赤色区と白色区の差はなくなった(図1)。被害程度は、36日後で赤色区0.93、白色区0.98、無処理区1.11で各区の間で判然とした差は認められず、43日後(7月17日)も同様の結果であった(図2)。

また、各区の中央部、中間部、外側部別に寄生虫数を比較すると、赤色区では調査期間を通じて中間部および外側部に比べ中央部が少なく、被害程度も中央部が低い傾向であった。白色区では、中央部が寄生虫数および被害程度とも低い傾向であったが、43日後(7月17日)には中央部と中間部がほぼ同じ値となった。無処理区では調査場所による差は判然としなかった。

これらの結果から、赤色ネットの囲みは、防虫ネットを囲ってから1ヶ月程度は被害軽減の効果はあるが、その後は防虫ネットの外側から開口上部を経て侵入したネギアザミウマが、徐々に葉ネギを加害すると考えられる。



(バーは標準誤差を示す)

表1 調査場所別の寄生虫数および被害程度

区	調査場所	寄生虫数(匹/株)				被害程度			
		6月28日	7月5日	7月10日	7月17日	6月28日	7月5日	7月10日	7月19日
赤色区	中央部	0.4	0.1	0.9	0.9	0.73	0.93	0.87	0.93
	中間部	1.4	0.3	1.9	1.9	1.20	1.00	1.00	1.13
	外側部	1.0	0.7	2.7	1.7	1.07	1.20	0.93	1.20
白色区	中央部	0.5	0.4	1.1	1.2	1.07	1.00	0.67	1.00
	中間部	1.1	1.0	2.3	1.1	1.07	1.33	0.93	1.00
	外側部	1.4	0.7	5.3	1.8	1.47	1.60	1.33	1.13
無処理区	中央部	1.2	0.7	3.4	1.7	1.00	1.13	1.00	1.00
	中間部	2.2	0.7	5.5	1.4	1.53	1.33	1.00	1.13
	外側部	2.6	0.9	3.1	3.6	1.80	1.67	1.33	1.40

4. 結果の要約

赤色防虫ネットで露地の葉ネギほ場を囲み、ネギアザミウマの寄生および被害の軽減効果を検討した。この結果、赤色防虫ネットを囲ってから1ヶ月程度は、白色防虫ネット、無処理に比較して、寄生虫数、被害程度が低くなる傾向があった。また、調査場所別では、赤色防虫ネットで囲った区では、調査期間を通じて中央部が寄生虫数および被害程度も低い傾向であった。

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

防虫ネットの高さ、囲うほ場面積の大きさ等を検討

6. 結果の発表、活用

平成25年度近畿中国四国農業研究センター問題別研究会、第58回日本応用動物昆虫学会年次大会で発表

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(6) 赤色防虫ネットのネギアザミウマの被害軽減に及ぼす影響 (室内試験)

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：上山 博、片岡光信、天野 久

協力分担：日本ワイドクロス株式会社

予算(期間)：植防交付金(平成25年度)

1. 目的

葉ネギ栽培においてネギアザミウマの被害は商品価値を著しく低下させる。本種は各地で薬剤感受性の低下が報告されているため、薬剤に代わる防除法が求められている。その一つとして、赤色防虫ネットのトンネル被覆が、本種の被害軽減に効果があることを明らかにした(上山ら、2013)。しかし、露地での試験であったため、ここでは、飼育ケージによる室内試験によって効果を確認した。

2. 材料および方法

(1) 供試虫

京都府農林センター内のハウスに植栽されている葉ネギから採集したネギアザミウマ成虫を用いた。

(2) 供試ネギ

2013年8月19日には種し、9月30日に3号ポリポットに定植した葉ネギ(品種：黒千本)を用いた。なお、ネギが1ポット当たり2株になるように間引きを行った。

(3) 試験方法

- ① 目合い16mmの亀甲金網を円柱状(直径70mm×高さ250mm)に加工し、目合い0.8mm赤色防虫ネット(サンサンネットe-レッド(SLR2700))および白色防虫ネット(サンサンネットソフライト(SL2700))でそれぞれ覆った。
- ② 供試ネギのポット上に、ネットで覆った亀甲金網をのせ、ネット上部を紐で閉じ、ネット下部はポットに紐で固定し隙間のないようにした。これを、飼育ケージ(幅304mm×奥行250mm×高さ280mm)に赤色防虫ネットで覆ったポットと白色防虫ネットで覆ったポットを2つずつ、隣り合わないよう配置した。
- ③ 採集したネギアザミ100~150匹を湿った濾紙を敷いたシャーレに入れ、飼育ケージ内でシャーレの蓋を開けて、4つのポットの中心に静置した。
- ④ 試験は11月1日、11日および25日の3回実施した。に飼育ケージごと、恒温期に入れ15時間明期(25℃、10000Lx)9時間暗期(22℃)で5日~6日飼育した。
- ⑤ 調査は、飼育後にネギを取り出し、2株から抽葉している全ての葉の長さと、被害程度を4段階に分類し(被害痕10mm未満、10mm以上20mm未満、20mm以上、20mm以上でかつ葉の周囲半分以上が被害)調査した。評価は、葉長10cm当たりの平均被害痕数で行った。

3. 結果の概要

3回の試験の平均では、赤色防虫ネット区の10mm未満の被害痕数は0.5、10mm以上20mm未満が0.2、20mm以上が0.0、20mm以上でかつ葉の周囲半分以上の被害が0.0に対し、白色防虫ネットで覆った試験区では、それぞれ6.7、1.8、0.3、0.7であった。3回の試験とも赤色防虫ネットで覆った試験区では、白色防虫ネットで覆った区に比較して、全ての程度別被害痕数は少なかった。

以上のことから、一定の条件下でも、赤色防虫ネットによるネギアザミウマの被害軽減効果は高いと考えられる。

表1 ネギアザミウマによる被害痕数(葉10cm当たり)

試験	試験期間	試験区	反復	被害程度※			
				①	②	③	④
1	11/1~ 11/6	赤色防虫ネット	1	0.4	0.1	0.0	0.0
			2	0.4	0.3	0.0	0.0
		白色防虫ネット	1	4.3	0.1	0.1	0.0
			2	3.2	0.8	0.4	0.3
2	11/11~ 11/15	赤色防虫ネット	1	1.9	0.7	0.0	0.0
			2	0.3	0.0	0.0	0.0
		白色防虫ネット	1	10.0	1.0	0.0	1.0
			2	5.0	6.0	0.0	2.0
3	11/21~ 11/25	赤色防虫ネット	1	0.0	0.0	0.0	0.0
			2	0.2	0.0	0.0	0.0
		白色防虫ネット	1	4.0	1.0	0.0	0.0
			2	14.0	2.0	1.0	1.0

※ 被害程度①: <10mm、②: 10mm ≤ <20mm、③: 20mm ≤、④: 20mm ≤で葉の周囲の半分以上が被害

4. 結果の要約

赤色防虫ネットで覆った試験区では、白色防虫ネットで覆った区に比較して、全ての程度別被害数は少なかったことから、一定の条件下でも、赤色防虫ネットによるネギアザミウマの被害軽減効果は高いと考えられる。

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

ネットの種類、目合いを変えての試験

6. 結果の発表、活用

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(7) チャトゲコナジラミ 近畿地域のチャにおける発生調査基準の検討

1) チャトゲコナジラミの発生消長

担当部署名：京都農技セ（茶業研究所）栽培担当・京都府病害虫防除所

担当者名：徳丸 晋・上山 博

協力分担：（独）野茶研（金谷）・静岡農技研（茶研セ）

予算(期間)：発生予察調査実施基準の新規手法策定事業（平成 25 年度）

1. 目的

チャトゲコナジラミは 2004 年に近畿で初確認されたチャの侵入害虫である。その後、本種は急速に地理的分布を拡大し、2013 年 2 月現在、埼玉県、静岡県、京都府、福岡県等、27 都府県で発生が確認されている。本種の地理的分布は今後も拡大することが予想され、主要なチャ害虫になることが推測される、そこで、簡易密度調査法に基づく調査基準案を策定するとともに、発生状況、被害状況等を調査する。これらの結果に基づき本種の発生程度別基準案や調査方法等を提案する。ここでは、チャトゲコナジラミの京都府における発生消長を把握する。

2. 方法

(1) 調査場所：京都府京丹後市弥栄町黒部(1 ほ場)、京都府宇治市白川中ノ藪 1(2 ほ場)

(2) 調査時期：2013 年 4 月～11 月

(3) 調査方法

①見取り調査

各ほ場から任意に茶葉（摘採面から下位 1～2 葉）を 50 葉選び、実験室に持ち帰り実体顕微鏡下で葉に発生している幼虫（齢別）および卵数（宇治市のみ）を数え、寄生葉率を求めた。さらに、各ほ場から任意に 20 樹を選び、すそ部を手でめくりあげ、本種幼虫の寄生程度を 4 段階（3：半数以上の葉に寄生がみられ、かつ 20 匹以上／葉の割合が著しく多い、2：概ね半数以上の葉に寄生がみられる、1：概ね半数以下の葉に寄生がみられる、0：寄生がみられない）に区分して調べ、 $(3 \times N_3 + 2 \times N_2 + N_1) / 60 \times 100$ により平均寄生程度を求めた。調査は約 7 日間隔でおこなった。

②黄色粘着板を使った誘殺虫数調査

各ほ場に、黄色粘着板（商品名：IT シート 10 cm×10 cm、片面）を樹冠面の高さ（地上高約 100 cm）に 1 枚ずつ設置し、約 1 週間毎にチャトゲコナジラミの誘殺虫を数え、新しい粘着板と交換した。

3. 結果の概要

2013 年のチャトゲコナジラミの卵および幼虫数、寄生葉率、平均寄生程度ならびに黄色粘着板への誘殺成虫数の季節的推移を図 1（宇治市、以降宇治と略記）及び図 2（京丹後市、以降丹後と略記）に示した。

(1) 宇治において卵は、4 月下旬から見られ、第一世代が 5 月下旬、第二世代が 7 月中旬、第三世代が 9 月上旬にそれぞれ最も多くなり、第一世代の卵数（3 号園：1321 個／50 葉、5 号園：851 個／50 葉）が最も多かった。若齢幼虫の発生は、第一世代では宇治で 6 月上旬中、丹後で 6 月中旬、第二世代では宇治および丹後とも 8 月上旬、第三世代では宇治で 9 月中旬、丹後で 9 月下旬にそれぞれ最も多くなった。中齢幼虫の発生は、第一世代では宇治で 6 月中下旬、丹後で 7 月上旬、第二世代では宇治で 8 月中旬、丹後で 8 月下旬にそれぞれ最も多くなった。第三世代では丹後で 10 月中旬に発生ピークが見られたが、宇治では判然としなかった。終齢幼虫の発生は、第一世代では宇治で 7 月上旬、丹後で 7 月中旬、第二世代では宇治で 8 月中下旬、丹後で 8 月下旬にそれぞれ最も多くなった。第三世代では丹後で 10 月下旬に発生ピークが見られたが、宇治で

は判然としなかった。

寄生葉率は、宇治では5月下旬および7月中旬にそれぞれ高い値を示したが、9月下旬以降は50%以下の値で推移した。丹後では、6月上旬、7月中下旬および9月上旬を除いて一年を通じて65%以上の値で推移した。また平均寄生程度は、宇治では1.8~48.3の範囲で、丹後では20.0~100.0の範囲でそれぞれ増減を繰り返した。

(2) 黄色粘着板へのチャトゲコナジラミ成虫の誘殺は、宇治および丹後ともに4月中旬から始まり、越冬世代が宇治および丹後ともに5月中旬、第一世代が宇治および丹後ともに7月中旬、第二世代が宇治および丹後ともに9月上旬に最も多くなった。9月中旬以降の誘殺は、断続的であった。

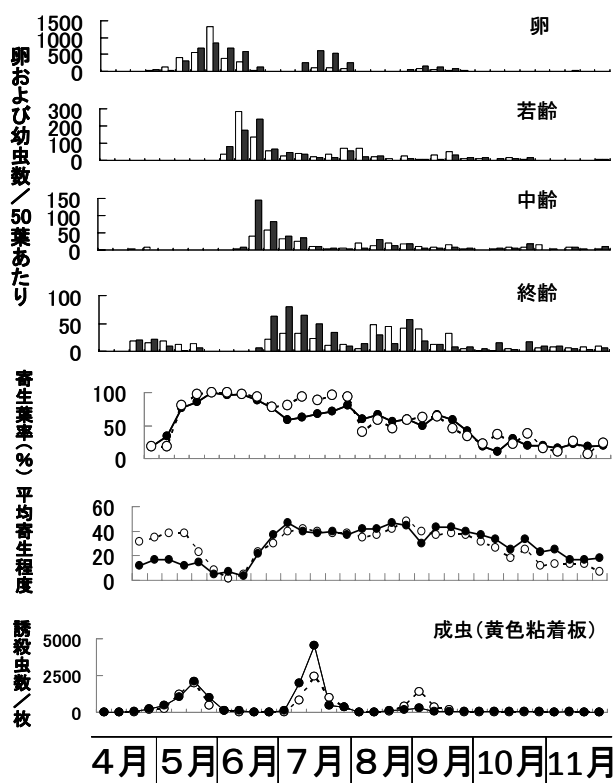


図1 チャトゲコナジラミの季節的推移(宇治市)
白色：3号園、黒色：5号園

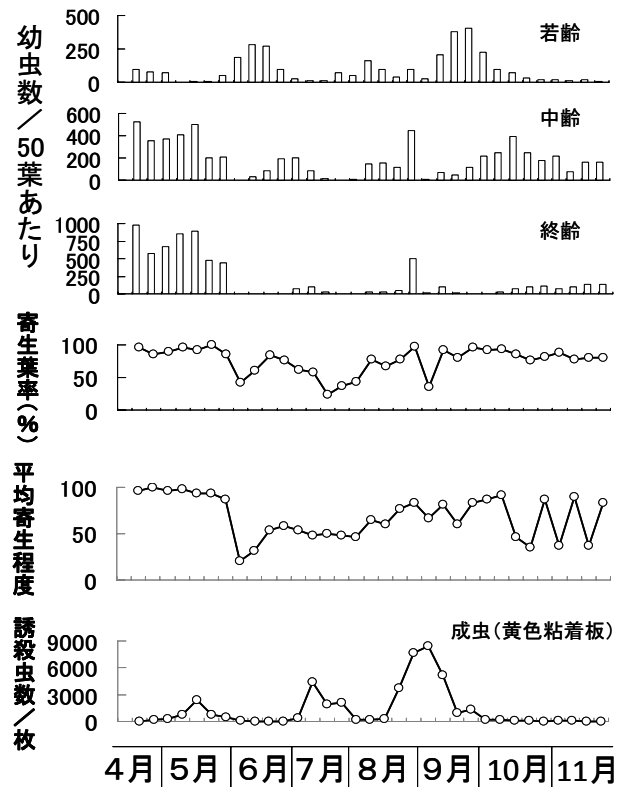


図2 チャトゲコナジラミの季節的推移(京丹後市)

4. 結果の要約

京都府においてチャトゲコナジラミは年3回以上発生すると考えられ、宇治市と京丹後市における越冬世代から第二世代までの成虫および卵から中齢幼虫の発生盛期はほぼ同じであった。

[キーワード] チャトゲコナジラミ、発生消長、発生予察、黄色粘着板、寄生葉率

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 発生予察調査実施基準(案)に基づき調査を継続する。
- (2) 自然仕立て園での発生消長を調査する。

6. 結果の発表、活用等(予定を含む)

課 題 名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（7）チャトゲコナジラミ 近畿地域のチャにおける発生調査基準の検討

2）京都府内の地域別発生推移

担当部署名：京都府病害虫防除所・京都農技セ（茶業研究所）栽培担当

担当者名：上山 博・徳丸 晋

協力分担：（独）野茶研（金谷）・静岡農技研（茶研セ）

予算(期間)：発生予察調査実施基準の新規手法策定事業（平成 25 年度）

1. 目的

チャトゲコナジラミは 2004 年に近畿で初確認されたチャの侵入害虫である。その後、本種は急速に地理的分布を拡大し、2013 年 2 月現在、埼玉県、静岡県、京都府、福岡県等、27 都府県で発生が確認されている。本種の地理的分布は今後も拡大することが予想され、主要なチャ害虫になることが推測される、そこで、簡易密度調査法に基づく調査基準案を策定するとともに、発生状況、被害状況等を調査する。ここでは調査の一環として、2008 年から 2013 年までの京都府内における本種の地域別発生推移を調査する。

2. 方法

（1）調査場所：府内 16 地点（山城地域：11、丹波地域：3、丹後地域：2）、1 地点当たり 2 ほ場、合計 32 ほ場

（2）調査期間：2013 年 4 月から 10 月の毎月中旬

（3）調査方法

各調査ほ場において任意の 20 箇所を選び、すそ部を手でめくりあげ、本種幼虫の寄生程度を 4 段階（3：半数以上の葉に寄生がみられ、かつ 20 匹以上／葉の割合が著しく多い、2：概ね半数以上の葉に寄生がみられる、1：概ね半数以下の葉に寄生がみられる、0：寄生がみられない）に区分して調べ、 $(3 \times N_3 + 2 \times N_2 + N_1) / 60 \times 100$ により平均寄生程度を求めた。併せて、発生箇所率（発生箇所／20 箇所×100）および地域毎の発生ほ場率も算出した。本調査から得られた結果と、同様に調査した 2008 年から 2012 年までの結果を山城地域、丹波地域、丹後地域の地域別に比較した。

3. 結果の概要

山城地域では発生箇所率、発生ほ場率及び平均寄生程度ともに年を追う毎に低下傾向を示したが、2013 年には、若干の上昇を示した（図 1、図 2 及び図 3）。

丹波地域では、2010 年に発生を確認して以降、2013 年には発生箇所率が 33.6%、発生ほ場率は 67.4% および平均寄生程度は 15.0 と徐々に増加傾向を示した（図 1、図 2 及び図 3）。

丹後地域の発生ほ場率は 2009 年以降 100% となったが、発生箇所率は 2011 年の 100% から 2012 年には 71.7%、2013 年には 94.1% に低下した。平均寄生程度も 2010 年に最も高い値を示し、その後低下傾向を示したが 2013 年に再び上昇した（図 1、図 2 及び図 3）。

以上より、本種の発生は山城地域では多発期から低密度・収束期、丹波地域は密度上昇期、丹後地域は多発期にあると考えられた。

表1 チャトゲコナジラミの地域別発生推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
山城地域	発生箇所率	65.7	48.0	48.7	43.5	36.9	45.5
	発生ほ場率	85.1	79.1	81.1	81.3	76.6	81.2
	平均寄生程度	32.4	23.4	22.6	19.3	12.9	20.9
丹波地域	発生箇所率	0.0	0.0	1.4	5.2	24.8	33.6
	発生ほ場率	0.0	0.0	11.9	45.2	69.0	67.4
	平均寄生程度	0.0	0.0	0.6	1.7	8.1	15.0
丹後地域	発生箇所率	36.8	91.8	98.9	100.0	71.7	94.1
	発生ほ場率	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平均寄生程度	13.0	54.4	94.4	78.5	25.3	73.7

※ 発生箇所率は1ほ場20カ所の地点の寄生の有無から算出

※※ 発生ほ場率は、山城：22ほ場、丹波：6ほ場、丹後：2ほ場のうち発生を確認したほ場の割合

※※※ 平均寄生程度＝(発生指数1の箇所数＋同2の箇所数×2＋同3の箇所数×3)／60×100

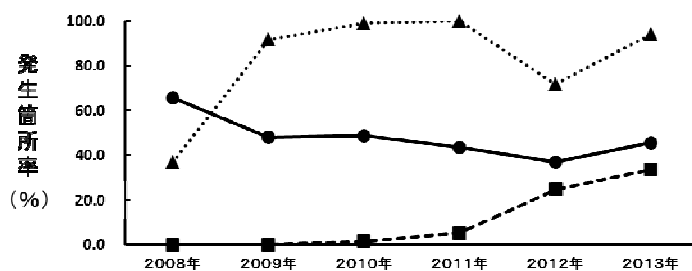


図1 発生箇所率の推移

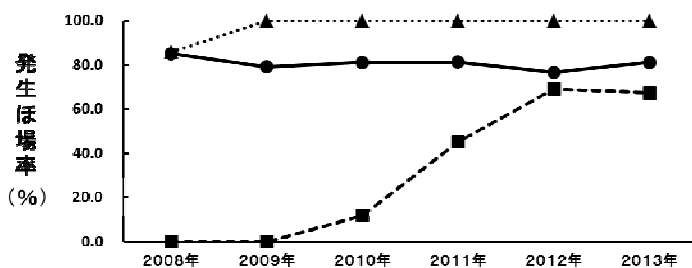


図2 発生ほ場率の推移

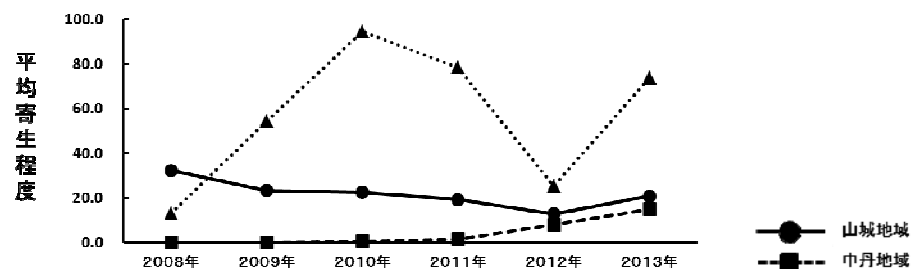


図3 平均寄生程度の推移

● 山城地域
■ 丹波地域
▲ 丹後地域

4. 結果の要約

チャトゲコナジラミの発生は山城地域では低下傾向、丹波地域では2010年以降に増加傾向、丹後地域では高密度で横ばいの傾向を示した。

[キーワード] チャトゲコナジラミ、発生推移、発生程度、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

調査の継続。

6. 結果の発表、活用等(予定を含む)

茶業技術研究発表会(2013.11)で報告 茶業研究報告116(別冊):60-61.

関西病虫害研究会第96回研究会(2014.5)で報告予定

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（7）チャトゲコナジラミ 近畿地域のチャにおける発生調査基準の検討

3) 越冬量調査

担当部署名：京都府病害虫防除所・京都農技セ（茶業研究所）栽培担当

担当者名：上山 博・徳丸 晋

協力分担：（独）野茶研（金谷）・静岡農技研（茶研セ）

予算(期間)：発生予察調査実施基準の新規手法策定事業（平成 25 年度）

1. 目的

チャトゲコナジラミは 2004 年に近畿で初確認されたチャの侵入害虫である。その後、本種は急速に地理的分布を拡大し、2013 年 2 月現在、埼玉県、静岡県、京都府、福岡県等、27 都府県で発生が確認されている。本種の地理的分布は今後も拡大することが予想され、主要なチャ害虫になることが推測される、そこで、簡易密度調査法に基づく調査基準案を策定するとともに、発生状況、被害状況等を調査する。ここでは調査の一環として、越冬幼虫密度と越冬世代成虫の発生量との関係を明らかにする。

2. 方法

（1）調査場所：府内 16 ほ場（山城地域：11、丹波地域：3、丹後地域：2）

（2）調査時期：2013 年 3 月 21 日から 22 日及び 2013 年 5 月 14 日から 16 日

（3）調査方法

各調査ほ場において任意に 20 箇所を選び、茶株のすそ部を手でめくりあげ、本種幼虫の寄生程度を 4 段階（3：半数以上の葉に寄生がみられ、かつ 20 匹以上／葉の割合が著しく多い、2：概ね半数以上の葉に寄生がみられる、1：概ね半数以下の葉に寄生がみられる、0：寄生がみられない）に区分して調べ、 $(3 \times N_3 + 2 \times N_2 + N_1) / 60 \times 100$ により平均寄生程度を求めた。また、3 月下旬の調査では、50 葉あたりの幼虫数、寄生葉率も調べた。

3. 結果の概要

山城地域では山間部のほ場で越冬幼虫数が多く、平均寄生程度も高い傾向を示した。丹波地域では、調査した 3 ほ場のうち 2 ほ場で越冬幼虫を確認した。丹後地域では 2 ほ場とも越冬幼虫数は多く、平均寄生程度も高かった（表 1）。全体的に越冬虫数は山城地域で少なく、丹後地域で多く、京都府内の地域別発生推移調査と同様の結果となった。

16 ほ場における 3 月の 1 齢幼虫数と 5 月の平均寄生程度との間には、有意に正の相関 ($r=0.79$, $p < 0.01$) が認められた。また、3 月の寄生葉率と 5 月の平均寄生程度との間にも有意に正の相関 ($r=0.81$, $p < 0.01$) が認められた（以上、図 1）。

以上より、3 月の 1 齢幼虫および寄生葉率の調査で、越冬世代成虫の多寡を推察できると思われる。

表1 チャトゲコナジラミ幼虫の発生状況(3月、5月)

地域	茶園 No.	3月						5月	
		平均寄生程度	1齢 ¹⁾	中齢 ¹⁾	終齢 ¹⁾	幼虫合計	中齢・終齢計	寄生葉率	平均寄生程度
山城	1(平場)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	2(平場)	8	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	14.0	2
	3(平場)	13	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	12.0	7
	4(平場)	7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	8.0	2
	5(平場)	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3
	6(山間)	22	0.2	1.3	0.5	2.1	1.9	56.0	70
	7(山間)	7	0.2	1.5	0.4	2.0	1.8	60.0	60
	8(山間)	33	0.3	2.5	0.8	3.6	3.4	72.0	87
	9(山間)	13	0.1	0.1	0.0	0.3	0.2	18.0	63
	10(山間)	10	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	22.0	37
	11(山間)	48	0.7	8.6	1.1	10.4	9.7	86.0	97
丹波	1	53	0.2	3.7	2.5	6.4	6.2	90.0	48
	2	33	0.1	1.1	0.2	1.5	1.4	88.0	37
	3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
丹後	1	97	0.2	5.1	3.1	8.4	8.2	80.0	72
	2	100	0.4	8.0	9.3	17.7	17.3	94.0	93

1): 一葉あたりの寄生虫数(匹)。

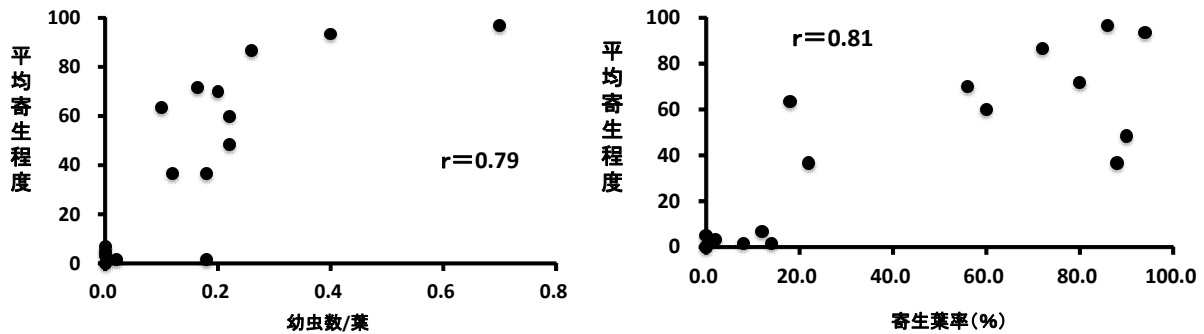


図1 3月の越冬幼虫数(1齢)(左)、寄生葉率(右)と5月の平均寄生程度の相関

4. 結果の要約

京都府におけるチャトゲコナジラミの越冬虫数は山城地域で少なく、丹後地域で多く、3月の幼虫数及び寄生葉率と5月の平均寄生程度との間には、いずれも有意に正の相関が認められた。

[キーワード] チャトゲコナジラミ、越冬、幼虫、寄生程度、発生予察

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

越冬世代数と第一世代および第二世代幼虫数との相関についての解析。

6. 結果の発表、活用等(予定を含む)

実施課題名：4 農産物の病害虫に関する現地対策調査

(8) 京都府の水稲におけるミナミアオカメムシの発生活長

1) フェロモントラップによる発生予察の検討

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也

協力分担：京都乙訓農業改良普及センター、J A京都中央

予算（期間）：植防交付金（平成25年度）

1. 目的

水稲や大豆等の害虫であるミナミアオカメムシ（以下、ミナミアオ）は、近年分布域を拡大しており、京都府では2010年10月に初めて南部の水稲で発生を確認した。2012年の調査では京都市伏見区向島地域の水稲で8月下旬～10月上旬に発生を確認したが、その他の地域における発生活長については不明な点が多い。そこで、府内の水稲における発生活長を調査した。ここでは、すくい取りの捕獲数とフェロモントラップの誘引数との比較により、フェロモントラップによる発生予察について検討した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：府内の水田4地点（図1）

(2) 調査期間：2013年7月～10月

(3) 調査方法

すくい取り調査：各水田で約1週間間隔ですくい取り（捕虫網の直径36cm、柄の長さ120cm、20回振り、中央部と周辺部各1か所）を行い、捕獲されたミナミアオの成幼虫を計数した。幼虫については持ち帰り、実験室内で飼育し、羽化した成虫を同定した。

フェロモントラップ調査：各水田の周辺部にミナミアオカメムシ用集合フェロモン剤（富士フレーバー製）を取り付けた粘着トラップ（商品名：フィールドキャッチボックストラップ、緑色、富士フレーバー製）を2台（長岡京、亀岡は1台）、それぞれ10m以上離して、地上約80cmの高さに設置した。約1週間間隔でトラップに誘引されたミナミアオの成幼虫を計数した。フェロモン剤は約2週間ごとに交換した。

3. 結果の概要

(1) すくい取り調査において、向島では8月下旬、長岡京では8月上旬まで捕獲されなかった。その後、向島では9月5日、長岡京では8月12日からそれぞれ成幼虫が捕獲され、捕獲数は9月24日に最も多く（向島4.0匹/20回、長岡京5.5匹/20回）なった。その後も10月4日まで捕獲された。淀では7月8日に成虫0.5匹/20回、7月22日に幼虫6.0匹/20回が捕獲されたが、その後は9月5日に成虫1.0匹/20回が捕獲されたのみであった。一方、亀岡では調査期間を通して捕獲されなかった（図1）。

(2) フェロモントラップへの誘引は、向島では7月30日、淀では7月8日から確認され、誘引数は10月中旬まで1.5匹/台以下で推移し、10月21日に最も多く（向島3.0匹/台、淀8.0匹/台）なった。長岡京では7月4日に成虫1匹のみ誘引を確認した。一方、亀岡では調査期間を通して誘引を認めなかった（図2）。

(3) これらのことから、ミナミアオは府南部では7月上旬から水田に侵入し、7月～10月下旬にかけて発生、増殖していると考えられた。一方、今回の調査では府中部での発生を確認できなかった。また、フェロモントラップはすくい取りで捕獲されにくい7月でもミナミアオが誘引されることから、出穂前の水田への侵入把握に有効であると考えられた。一方、発生量の把握にはすくい取りが適すると考えられた。



- ① 京都市伏見区向島(向島)
- ② 京都市伏見区淀(淀)
- ③ 長岡京市勝竜寺(長岡京)
- ④ 亀岡市余部町(亀岡)

図1 調査場所

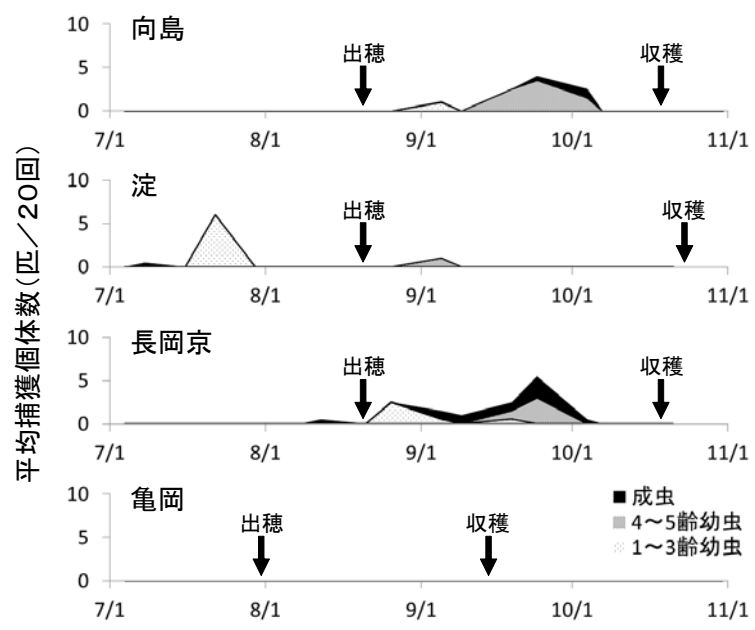


図1 すくい取りによるミナミアオカメムシの捕獲数の推移

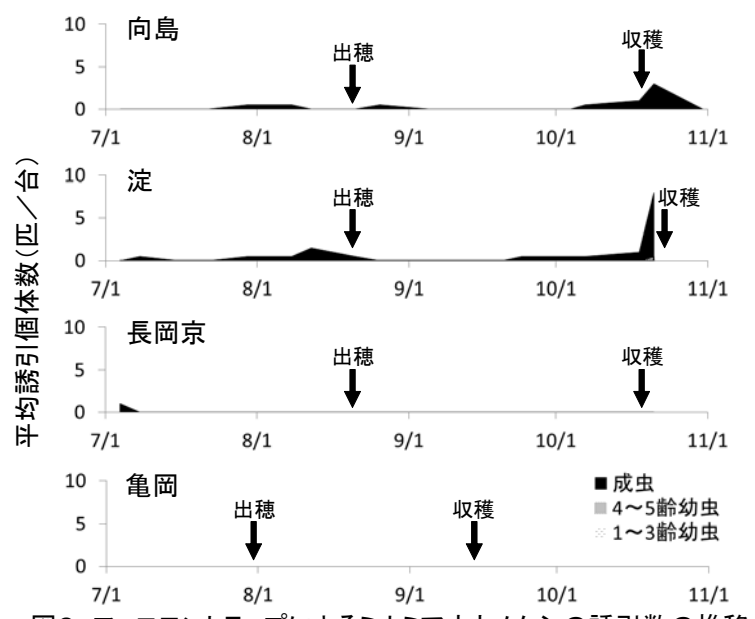


図2 フェロモントラップによるミナミアオカメムシの誘引数の推移

4. 結果の要約

ミナミアオは府南部では7月上旬から水田に侵入し、7月～10月下旬にかけて発生、増殖していると考えられた。フェロモントラップはすくい取りで捕獲されにくい7月でもミナミアオが誘引されることから、出穂前の水田への侵入把握に有効であると考えられた。一方、発生量の把握にはすくい取りが適すると考えられた。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、発生消長、水稻、フェロモントラップ

5. 今後の問題点と次年度の計画

発生消長調査の継続

6. 結果の発表、活用

平成25年度近畿中国四国農業試験研究推進会議生産環境推進部会問題別研究会（虫害分科会）で発表、関西病虫害研究会第96回大会で発表予定

実施課題名：4 農産物の病害虫に関する現地対策調査

(8) 京都府の水稻におけるミナミアオカメムシの発生活消長

2) フェロモントラップの種類と色の検討

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也

協力分担：京都乙訓農業改良普及センター、JA京都中央

予算（期間）：植防交付金（平成25年度）

1. 目的

水稻や大豆等の害虫であるミナミアオカメムシ（以下、ミナミアオ）は、近年分布域を拡大しており、京都府では2010年10月に初めて南部の水稻で発生を確認した。2012年の調査では京都市伏見区向島地域の水稻で8月下旬～10月上旬に発生を確認したが、その他の地域における発生活消長については不明な点が多い。そこで、府内の水稻における発生活消長を調査した。ここでは、フェロモントラップの種類と色について検討した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：京都市伏見区向島地域の水田

(2) 調査期間：2013年7月～10月

(3) 試験区とトラップの種類（図1）

試験区	トラップの種類	トラップの色
粘着緑区	粘着トラップ	緑色
粘着青区	粘着トラップ	青色
水盤緑区	水盤トラップ	緑色
水盤青区	水盤トラップ	青色

(4) 調査方法

水田の周辺部にミナミアオカメムシ用集合フェロモン剤（富士フレーバー製）を取り付けた粘着トラップ（商品名：フィールドキャッチボックストラップ（富士フレーバー製））または水盤トラップ（直径40cm×高さ13cm）を各区2台、それぞれ10m以上離して、地上約80cmの高さに設置した。約1週間間隔でトラップに誘引されたミナミアオの成幼虫を計数した。フェロモン剤は約2週間ごとに交換した。

3. 結果の概要

(1) 粘着緑区では7月30日から誘引が確認され、誘引数は10月中旬まで1.0匹/台以下で推移し、10月21日に最も多く（3.0匹/台）なった。粘着青区では9月下旬まで誘引を認めなかったが、10月4日から誘引が確認され、誘引数は10月21日に最も多く（4.5匹/台）なった（図1）。

(2) 水盤緑区では8月12日、水盤青区では7月4日から誘引が確認され、誘引数は9月下旬まで2.0匹/台以下で推移したが、10月上旬から増加し、10月18日に最も多く（水盤緑区8.0匹/台、水盤青区10.0匹/台）なった（図1）。

(3) 調査期間中の総誘引数は、粘着緑区で6.0匹/台、粘着青区で6.0匹/台、水盤緑区で29.5匹/台、水盤青区で19.5匹/台であった（表2）。

(4) 水盤トラップは、粘着トラップと比較してより多くミナミアオが誘引されることから、より効率的に水田での発生を確認できると考えられた。また、ミナミアオの誘引に関するトラップの色の影響は比較的小さいと考えられた。



図1 トラップの種類 (左：粘着トラップ緑色、右：水盤トラップ青色)

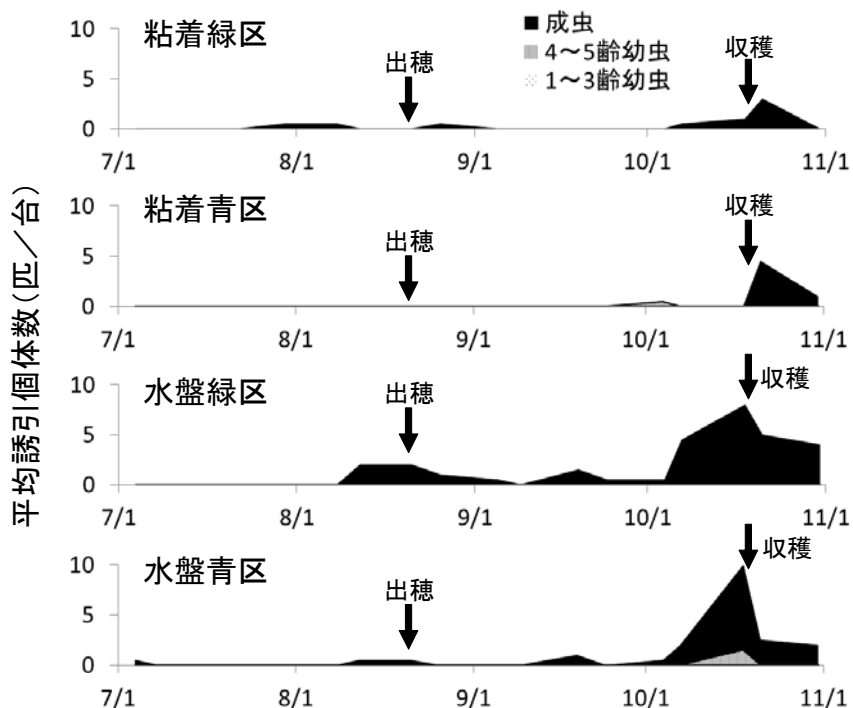


図1 フェロモントラップによるミナミアオカメムシの誘引数の推移

試験区	総誘引数(匹)		
	反復 I	反復 II	平均
粘着緑区	8	4	6.0
粘着青区	5	7	6.0
水盤緑区	22	37	29.5
水盤青区	14	25	19.5

4. 結果の要約

水盤トラップは、粘着トラップと比較してより多くミナミアオが誘引されることから、より効率的に水田での発生を確認できると考えられた。また、ミナミアオの誘引に関するトラップの色の影響は比較的小さいと考えられた。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、発生消長、水稲、フェロモントラップ

5. 今後の問題点と次年度の計画

発生消長調査の継続

6. 結果の発表、活用

なし

単年度試験研究成績（平成26年3月作成）

実施課題名：4 農産物の病害虫に関する現地対策調査

(8) 京都府の水稲におけるミナミアオカメムシの発生活長

3) フェロモントラップの形状の検討

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也

協力分担：京都乙訓農業改良普及センター、JA京都中央

予算（期間）：植防交付金（平成25年度）

1. 目的

水稲や大豆等の害虫であるミナミアオカメムシ（以下、ミナミアオ）は、近年分布域を拡大しており、京都府では2010年10月に初めて南部の水稲で発生を確認した。2012年の調査では京都市伏見区向島地域の水稲で8月下旬～10月上旬に発生を確認したが、その他の地域における発生活長については不明な点が多い。そこで、府内の水稲における発生活長を調査した。ここでは、フェロモントラップ（粘着トラップ）の形状について検討した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：京都市伏見区淀地域の水田

(2) 調査期間：2013年7月～10月

(3) 試験区とトラップの種類（図1）

試験区	トラップの種類
ボックス区	ボックストラップ
デルタ区	デルタトラップ
フラット区	フラットトラップ

(4) 調査方法

水田の周辺部にミナミアオカメムシ用集合フェロモン剤（富士フレーバー製）を取り付けた粘着トラップ（ボックストラップ、デルタトラップ、フラットトラップ、いずれも緑色、商品名：フィールドキャッチ（富士フレーバー製））を各区2台、それぞれ10m以上離して、地上約80cmの高さに設置した。約1週間間隔でトラップに誘引されたミナミアオの成幼虫を計数した。フェロモン剤は約2週間ごとに交換した。

3. 結果の概要

(1) ボックス区では7月8日から誘引が確認され、誘引数は10月中旬まで1.5匹/台以下で推移し、10月21日に最も多く（8.0匹/台）なった（図1）。

(2) デルタ区では7月4日から誘引が確認され、誘引数は9月下旬まで1.0匹/台以下で推移し、10月7日及び18日に最も多く（3.5匹/台）なった（図1）。

(3) フラット区では8月12日から誘引が確認され、誘引数は10月中旬まで1.0匹/台以下で推移し、10月21日に最も多く（7.0匹/台）なった（図1）。

(4) 調査期間中の総誘引数は、ボックス区で14.0匹/台、デルタ区で14.0匹/台、フラット区で12.0匹/台であった（表2）。

(5) ミナミアオの誘引数の推移及び総誘引数について、いずれの粘着トラップでも同様の傾向が見られたことから、ミナミアオの誘引に関するフェロモントラップの形状の影響は比較的小さいと考えられた。



図1 トラップの種類
(左：ボックストラップ、中：デルタトラップ、右：フラットトラップ)

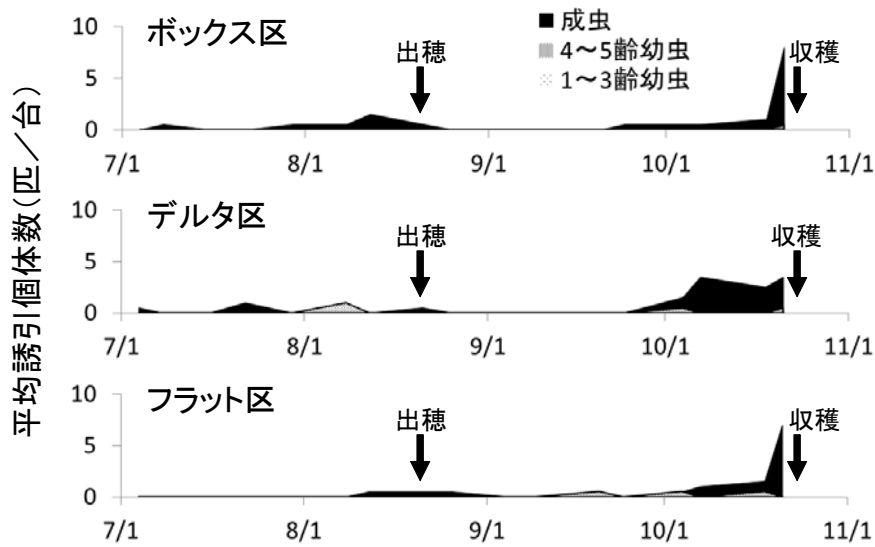


図1 フェロモントラップによるミナミアオカメムシの誘引数の推移

試験区	総誘引数(匹)		
	反復 I	反復 II	平均
ボックス区	15	13	14.0
デルタ区	20	8	14.0
フラット区	15	9	12.0

4. 結果の要約

ミナミアオの誘引数の推移及び総誘引数について、いずれの粘着トラップでも同様の傾向が見られたことから、ミナミアオの誘引に関するフェロモントラップの形状の影響は比較的小さいと考えられた。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、発生消長、水稻、フェロモントラップ

5. 今後の問題点と次年度の計画

発生消長調査の継続

6. 結果の発表、活用

なし

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 病害虫防除所ホームページ

- 1) 設置場所及びサービス開始時期
 - (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)
 - (2) サービス開始：平成10年4月
- 2) 情報の概要及び更新時期
 - (1) 内 容：① 病害虫発生予察コーナー
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
③ 巡回調査結果
④ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
⑤ 防除所ってナニ？
⑥ 病害虫ワクワクツアー
⑦ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
 - (2) 更新時期：毎月月下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページ「おこしやす京都」の防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているコナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・JPP-NET (日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス) 内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤防除所ってナニ?

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫 (Web病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第3号	平成25年4月24日
	病害虫発生予報第4号	平成25年5月23日
	病害虫発生予報第5号	平成25年6月26日
	病害虫発生予報第6号	平成25年7月24日
	病害虫発生予報第7号	平成25年8月21日
	病害虫発生予報第8号	平成25年9月26日
	病害虫発生予報第9号	平成25年10月22日
	病害虫発生予報第1号	平成25年2月27日
注意報	病害虫発生予報第2号	平成26年3月26日
	発生予察注意報第1号：アブラムシ類とウイルス病	平成25年5月15日
	発生予察注意報第2号：斑点米カメムシ類	平成25年7月5日
	発生予察注意報第3号：水稻いもち病	平成25年8月8日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（麦類赤かび病情報）	平成25年4月8日
	防除所ニュース第2号（茶病害虫情報）	平成25年5月23日
	防除所ニュース第3号（水稻葉いもち情報）	平成25年7月5日
	防除所ニュース第4号（水稻トビイロウンカ情報）	平成25年9月2日
	防除所ニュース第5号（茶病害虫情報（炭そ病、クワシロカイガラムシ））	平成25年10月8日
	防除所ニュース第6号（QoI剤耐性イネいもち病菌の発生について）	平成25年11月13日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成25年4月24日
5月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年5月23日
6月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年6月26日
7月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年7月24日
8月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年8月21日
9月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年9月26日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成25年10月22日
11月の巡回調査結果（ネギ）	平成25年11月15日

【その他】

種類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成25年4月～11月 （8回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成25年5月～11月 （7回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	平成25年6月～7月 （9回）
水稻いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月13日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田、ストロビルリン系殺虫剤の使用状況） ④その他作物の目立つ病害虫	18
7月15日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④その他作物の目立つ病害虫	17
8月8日	①水稲の生育状況 ②いもち病、紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生及び目立つ病害虫	16
9月12日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④水稲での目立った病害虫 ⑤豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑥その他作物の目立つ病害虫	13
11月5日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫及び指導・対応状況	11

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

(1) 開催日 平成26年2月25日

(2) 参加者 30名

(1) 平成25年の病害虫等発生状況等について

(2) 近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について

① QoI剤耐性イネいもち病菌の発生について

② ウメ輪紋ウイルスの緊急調査について

③ ネギアザミウマの殺虫剤感受性

④ チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイおよびチャノコカクモンハマキの殺虫剤感受性

⑤ ナシ病害虫の効果的防除について

⑥ ナスの効率的な害虫防除について

VII 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫企画会議	4月23日	京都府農林センター
病虫害防除所長会議	5月29日	農林水産省
農薬及び植物防疫担当者会議	6月6日	近畿農政局
平成25年度発生予察の手法検討委託事業に係る実施計画の打ち合わせ	6月27日	野菜茶業研究所(安濃)
第19回農作物病虫害フォーラム	7月1日	農林水産省
ネギアザミウマを巡る諸問題とアザミウマ類防除の新展開	10月17～18日	東建ホール丸の内(愛知県)
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月7～8日	ルビノ堀川
平成25年「発生予察調査実施基準の新規手法策定事業」(チャトゲコナジラミ)検討会	11月20日	野菜茶業研究所(金谷)
殺虫剤抵抗性研究会「殺虫剤抵抗性にどう対処すべきか」	11月27日	農林水産技術会議事務局筑波事務所
農薬適正使用に係る情報交換会	12月11日	京都JA会館
発生予察の手法検討委託事業成績検討会	12月19～20日	南青山会館(東京都)
発生予察事業調査実施基準検討会	2月24～25日	農林水産省
ウメ輪紋病防除対策検討会	3月7日	神戸植物防疫所
近畿ブロック病虫害防除所長会議	3月13日	京都府公館
農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月10日	京都JA会館

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
第5回京都丹波有機農業講座	5月16日	園部総合庁舎	津田主研
林業薬剤等試験成績発表会	5月17日	飯田橋レインボーホール(東京都)	上山主査
第95回関西病虫害研究会	5月23日	コラボしが21	上山主査
第18回農林害虫防除研究会	7月11日、12日	奈良ロイヤルホテル	上山主査
営農指導員認定研修会講師	8月6日	京都JA会館	上山主査
平成25年度茶業技術研究発表会	11月19日	プラザおおるり	上山主査

		(静岡県)	
農業大学校1年生講義	5月23日 6月5日 9月5日 8月2日 9月9日 11月25日 1月20日	農業大学校	橋本主研 〃 津田主研・ 上山主査 鴨志田 ^{副査} 鴨志田 ^{副査} 津田主研 上山主査
平成25年度農林水産技術講演会	1月27日	農芸高校	上山主査
農薬管理指導士養成研修会講師	2月5日	京都府庁	津田主研 上山主査
近畿中国四国農業試験研究問題別研究会(病虫害分科会)	3月 3～5日	福山市生涯学習プラザ(広島県)	橋本主研 上山主査 鴨志田 ^{副査}
日本農薬学会第39回大会シンポジウム	3月14日	京都大学	津田主研
京都学園大学バイオ環境学部・京都府農林水産技術センター研究交流会	3月17日	京都学園大学	津田主研
第58回日本応用動物昆虫学会大会	3月26日 ～28日	高知大学	上山主査

3 職員の研修

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受講者
12月10日 ～13日	防除所職員等中央研修	農林水産省	横浜植物防疫所	津田主研
12月18日	G L P施設視察		日本曹達株式会社 小田原研究所	上山主査
1月15日	近畿地区研修会	植物防疫 全国協議会	大阪府環境情報 プラザ	天野所長 津田主研 上山主査 鴨志田 ^{副査}
2月28日	植物防疫全国協議会研修会	植物防疫全 国協議会	日本植物防疫協 会	津田主研
3月6日	近畿ブロック防除所職員等 技術研修会	近畿農政局	神戸植物防疫所	津田主研 橋本主研

Ⅸ 普及センター等との連携の推進

1 植物防疫セミナーの開催

I P M（総合的病害虫・雑草制御技術）を推進するため、近年問題となっている病害虫に対する理解と防除に関する知識を習得するため、植物防疫セミナーを開催した。

① 開催日 平成26年2月25日

② 参加者 30名（うち普及センター職員10名）

③ 内容

ア 平成25年の病害虫等発生状況等について

イ 近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について

- ・QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生について

- ・ウメ輪紋ウイルスの緊急調査について

- ・ネギアザミウマの殺虫剤感受性

- ・チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイおよびチャノコカクモンハマキの殺虫剤感受性

- ・ナシ病害虫の効果的防除について

- ・ナスの効率的な害虫防除について

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、研究普及ブランド課及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。25年度の書き込み件数は下表のとおりである。

	各普及センター							計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後	
4月	0	0	0	4	0	0	3	7
5月	4	1	0	4	1	2	11	23
6月	1	0	0	6	0	0	14	21
7月	0	2	0	8	0	4	9	23
8月	0	1	0	5	0	0	8	14
9月	0	0	0	3	0	0	0	3
10月	0	0	0	4	0	0	11	15
11月	0	0	0	0	0	0	2	2
12～3月	0	0	0	0	0	0	6	6
計	5	4	0	34	1	6	64	114

参考資料

平成25(2013)年半旬別気象集計表・グラフ

平 年 値

最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

〃

平均気温 …1993～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町)

〃

日照時間 …2005～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	6.5	8.4	-3.3	-0.7	0.9	3.5	0.5	7.8	24.2	19.2
	2	9.0	8.5	-3.2	-0.9	1.6	3.2	0.0	6.3	22.0	17.8
	3	7.2	7.9	-1.8	-1.1	2.2	3.5	29.5	8.6	11.6	20.8
	4	6.9	8.4	-2.0	-1.3	2.1	3.5	0.0	7.9	22.0	20.6
	5	8.9	7.1	-0.4	-1.4	4.2	2.6	10.5	9.5	12.3	14.6
	6	7.4	7.8	-2.6	-2.2	1.7	2.7	0.0	11.0	21.7	23.5
	平均・計		7.6	8.0	-2.2	-1.3	2.1	3.2	40.5	51.2	113.8
2	1	12.2	7.0	2.7	-2.0	7.0	2.2	10.5	7.9	15.8	20.3
	2	6.8	8.7	-2.0	-1.6	1.6	3.4	12.0	9.2	20.6	20.8
	3	8.0	9.3	-1.6	-1.0	2.7	3.8	17.0	10.1	19.6	18.5
	4	5.1	8.6	-1.8	-0.7	1.6	3.7	46.0	16.0	9.6	20.1
	5	6.3	9.5	-2.7	-0.3	1.3	4.9	0.5	16.8	22.2	24.8
	6	12.8	10.2	0.3	-0.2	5.9	5.1	6.0	11.2	18.8	15.5
	平均・計		8.2	8.8	-0.9	-1.0	3.2	3.8	92.0	71.3	106.6
3	1	10.0	10.4	-1.2	0.3	4.1	5.3	17.5	17.2	19.4	22.0
	2	19.7	10.8	1.5	0.3	9.7	5.8	4.5	12.8	32.7	21.8
	3	13.7	12.2	-1.5	1.0	6.3	6.3	13.5	19.2	40.6	26.1
	4	19.2	12.9	5.3	1.7	11.8	7.5	16.0	17.8	31.1	27.1
	5	13.8	13.6	0.7	2.8	6.1	8.0	0.0	22.3		25.5
	6	15.7	14.3	4.2	2.8	9.3	8.6	3.0	16.4	47.5	32.3
	平均・計		15.4	12.4	1.6	1.5	7.9	7.0	54.5	105.8	171.3
4	1	19.8	16.2	4.5	3.6	12.1	9.4	9.5	15.8	43.3	26.2
	2	17.1	18.1	5.9	5.3	11.0	11.5	62.0	19.6	35.1	33.6
	3	17.1	18.4	2.5	6.1	9.8	12.2	0.5	20.2	54.5	22.1
	4	20.8	19.8	6.3	7.0	13.7	13.8	10.5	17.2	47.2	26.4
	5	17.1	20.1	4.6	7.9	10.6	14.4	29.5	17.2	42.7	26.1
	6	20.1	22.1	6.9	8.4	13.3	14.9	9.0	13.1	46.3	39.5
	平均・計		18.7	19.1	5.1	6.4	11.8	12.7	121.0	103.1	269.1
5	1	18.6	22.7	5.1	10.4	11.1	17.3	0.0	18.9	50.2	35.5
	2	23.3	23.7	6.4	11.1	14.7	17.6	5.0	25.6	51.9	23.8
	3	27.6	22.6	12.1	11.4	19.4	16.9	7.0	35.5	48.2	33.1
	4	24.9	23.5	12.9	12.2	18.3	18.0	10.0	28.6	48.3	23.7
	5	29.5	24.7	12.3	13.2	20.7	19.0	0.0	19.3	61.5	28.7
	6	26.0	25.2	15.9	13.8	20.8	19.5	17.5	18.7	45.8	33.1
	平均・計		25.0	23.8	10.9	12.1	17.6	18.1	39.5	146.5	305.9
6	1	29.1	26.4	14.6	15.1	21.6	20.3	0.0	16.9	55.2	25.7
	2	28.2	26.7	15.9	16.0	21.8	20.9	0.0	24.8	54.5	22.3
	3	30.7	26.6	20.7	16.8	25.3	21.6	9.0	21.4	51.4	25.4
	4	28.5	27.5	19.5	18.0	24.0	22.8	105.5	39.4	32.7	22.9
	5	25.9	26.9	18.8	19.0	21.8	22.8	16.0	42.6	38.3	14.4
	6	27.7	28.1	18.9	20.0	23.0	24.3	36.0	47.7	45.1	13.7
	平均・計		28.4	27.0	18.1	17.5	22.9	22.1	166.5	192.8	277.2

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値

最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

//

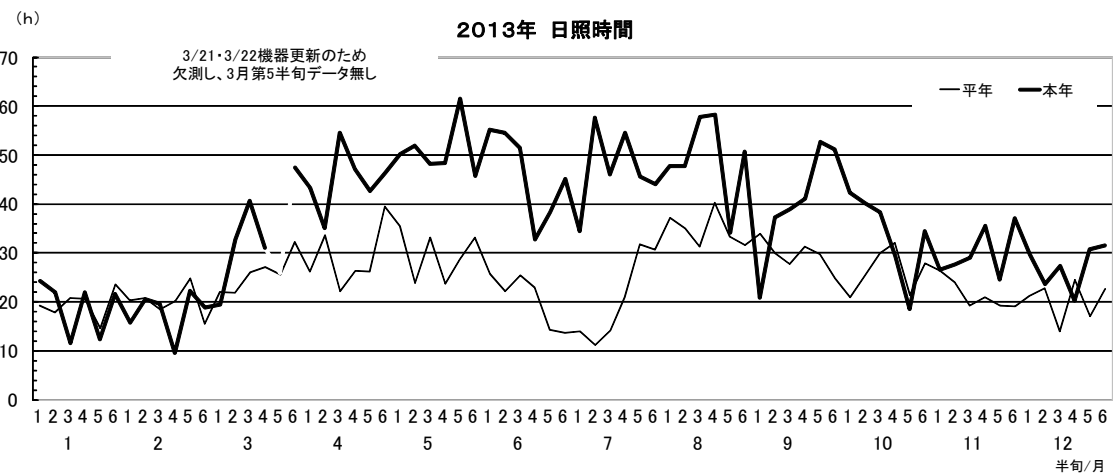
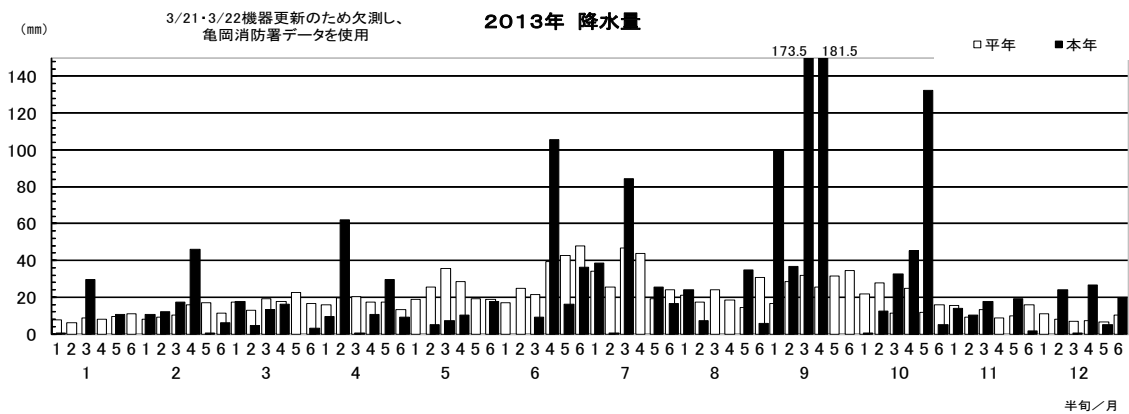
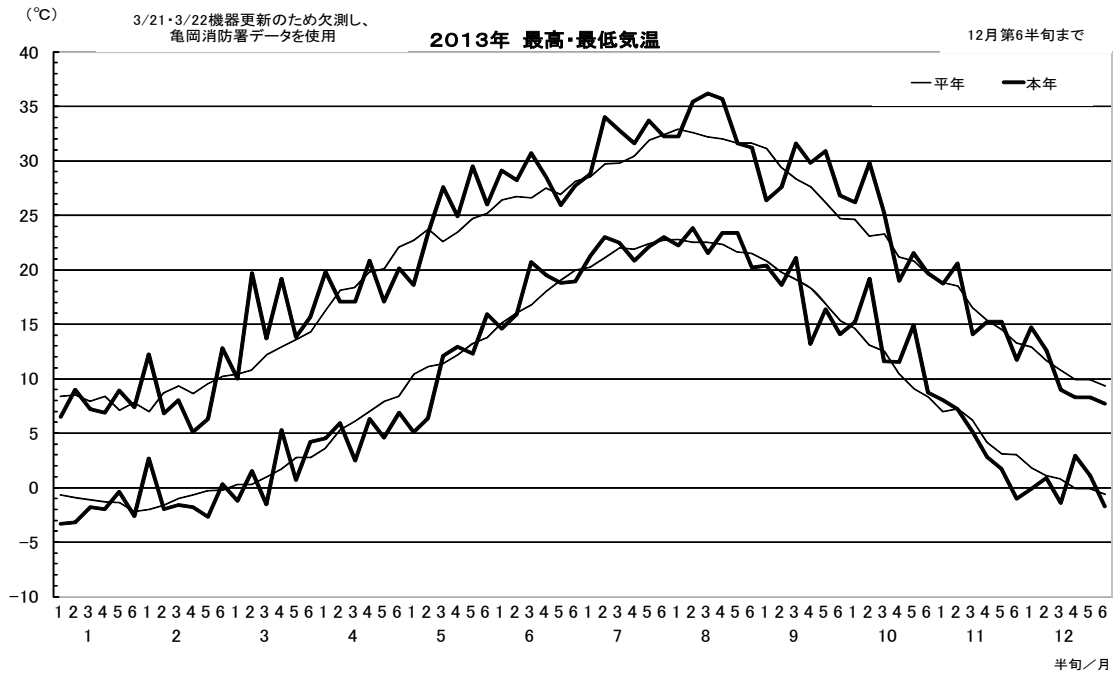
平均気温 …1993～2010年の平均値

日照時間 …2005～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	28.8	28.5	21.3	20.2	24.7	24.8	38.5	34.1	34.5	14.0
	2	34.0	29.7	23.0	21.1	28.3	25.2	0.5	25.4	57.7	11.2
	3	32.8	29.8	22.5	22.0	26.3	25.8	84.0	46.8	46.1	14.2
	4	31.6	30.4	20.8	21.9	25.8	25.6	0.0	43.6	54.5	20.9
	5	33.7	31.9	22.1	22.4	26.9	27.0	25.5	19.3	45.6	31.8
	6	32.2	32.4	23.0	22.7	26.5	27.0	16.5	24.0	44.1	30.7
	平均・計	32.2	30.5	22.1	21.7	26.4	25.9	165.0	193.1	282.5	122.9
8	1	32.2	32.9	22.2	22.8	26.2	27.8	24.0	20.9	47.7	37.2
	2	35.4	32.6	23.8	22.5	28.3	27.4	7.0	17.2	47.8	35.1
	3	36.2	32.2	21.5	22.5	28.1	27.0	0.0	24.2	57.8	31.3
	4	35.7	32.0	23.4	22.3	29.1	27.1	0.0	18.2	58.2	40.3
	5	31.6	31.6	23.4	21.6	26.2	26.0	34.5	14.5	34.1	33.4
	6	31.2	31.6	20.2	21.5	25.1	25.7	5.5	30.7	50.7	31.6
	平均・計	33.6	32.1	22.3	22.2	27.1	26.8	71.0	125.7	296.3	208.8
9	1	26.4	31.1	20.4	20.8	22.3	25.1	99.5	16.5	20.8	33.9
	2	27.6	29.4	18.6	19.8	22.5	24.3	36.5	28.6	37.3	30.0
	3	31.6	28.3	21.1	19.1	25.4	23.5	174.0	31.7	39.0	27.7
	4	29.8	27.6	13.2	18.3	20.6	22.9	181.5	25.5	41.1	31.3
	5	30.9	26.2	16.4	16.9	22.7	21.3	0.0	31.6	52.7	29.7
	6	26.8	24.7	14.1	15.3	20.1	19.8	0.0	34.6	51.2	24.8
	平均・計	28.9	27.9	17.3	18.4	22.3	22.8	491.5	168.4	242.1	177.4
10	1	26.2	24.6	15.2	14.6	20.5	19.3	0.5	21.9	42.3	21.0
	2	29.8	23.1	19.2	13.1	24.1	17.8	12.5	27.8	40.2	25.2
	3	25.3	23.3	11.6	12.5	19.1	17.6	32.5	11.4	38.3	29.9
	4	19.0	21.2	11.5	10.5	14.9	15.8	45.5	24.6	29.3	32.1
	5	21.5	20.8	14.9	9.1	17.6	15.0	132.0	11.7	18.5	21.4
	6	19.7	19.5	8.7	8.3	13.4	13.7	5.0	15.7	34.4	27.8
	平均・計	23.5	22.0	13.4	11.3	18.1	16.4	228.0	113.1	203.0	157.4
11	1	18.7	18.8	8.0	7.0	12.8	12.3	14.0	15.5	26.6	26.3
	2	20.6	18.5	7.2	7.2	13.0	12.1	10.0	9.1	27.7	24.1
	3	14.1	16.5	5.1	6.2	8.8	11.5	17.5	13.2	29.1	19.2
	4	15.2	15.4	2.8	4.2	8.3	9.1	0.0	8.7	35.6	20.9
	5	15.2	14.5	1.7	3.1	7.6	8.1	19.0	9.9	24.5	19.2
	6	11.7	13.3	-1.0	3.0	5.4	8.3	1.5	15.8	37.1	19.1
	平均・計	15.9	16.2	4.0	5.1	9.3	10.2	62.0	72.3	180.6	128.7
12	1	14.7	12.9	-0.1	1.8	4.9	7.1	0.0	10.9	29.7	21.3
	2	12.6	11.7	0.9	1.1	6.3	5.7	24.0	8.0	23.7	22.8
	3	9.0	10.8	-1.4	0.8	3.4	5.4	0.5	6.8	27.3	14.0
	4	8.3	9.9	2.9	-0.1	5.3	4.5	26.5	7.4	20.2	24.6
	5	8.3	9.9	1.1	-0.1	4.1	4.1	5.0	6.5	30.7	17.1
	6	7.7	9.3	-1.7	-0.6	2.3	3.6	19.5	10.2	31.6	22.6
	平均・計	10.0	10.7	0.2	0.4	4.3	5.0	75.5	49.8	163.2	122.4
年平均・計	20.7	19.9	9.4	9.5	14.5	14.5	1607.0	1393.1	2637.5	1785.1	

京都府農林センター(亀岡市余部町)

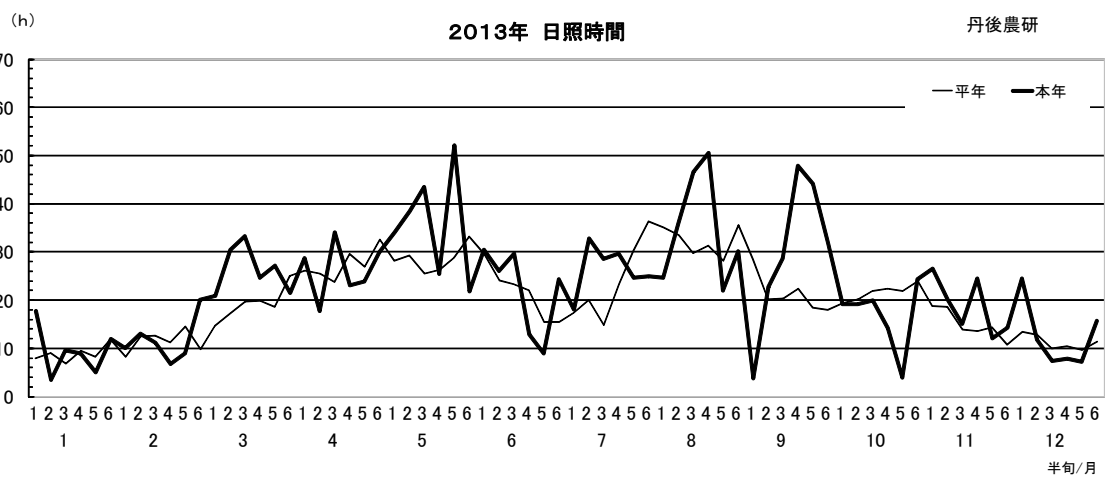
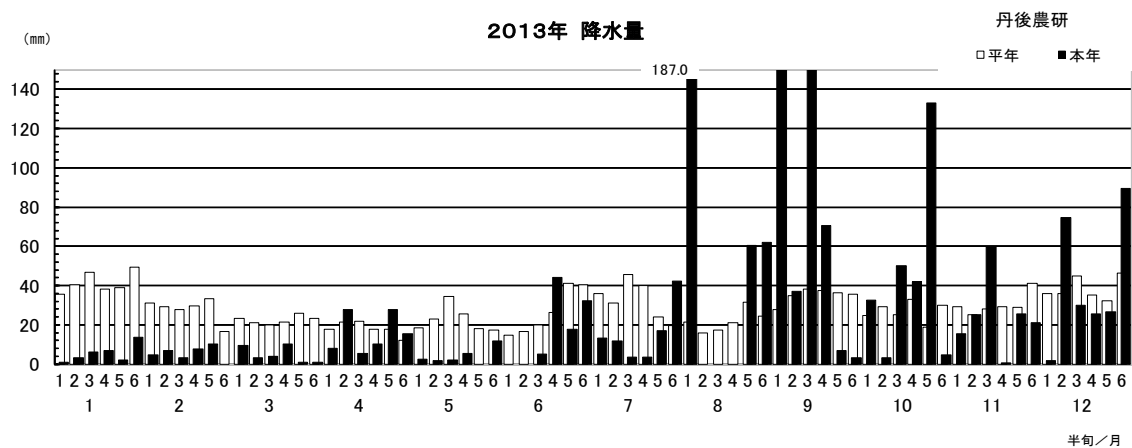
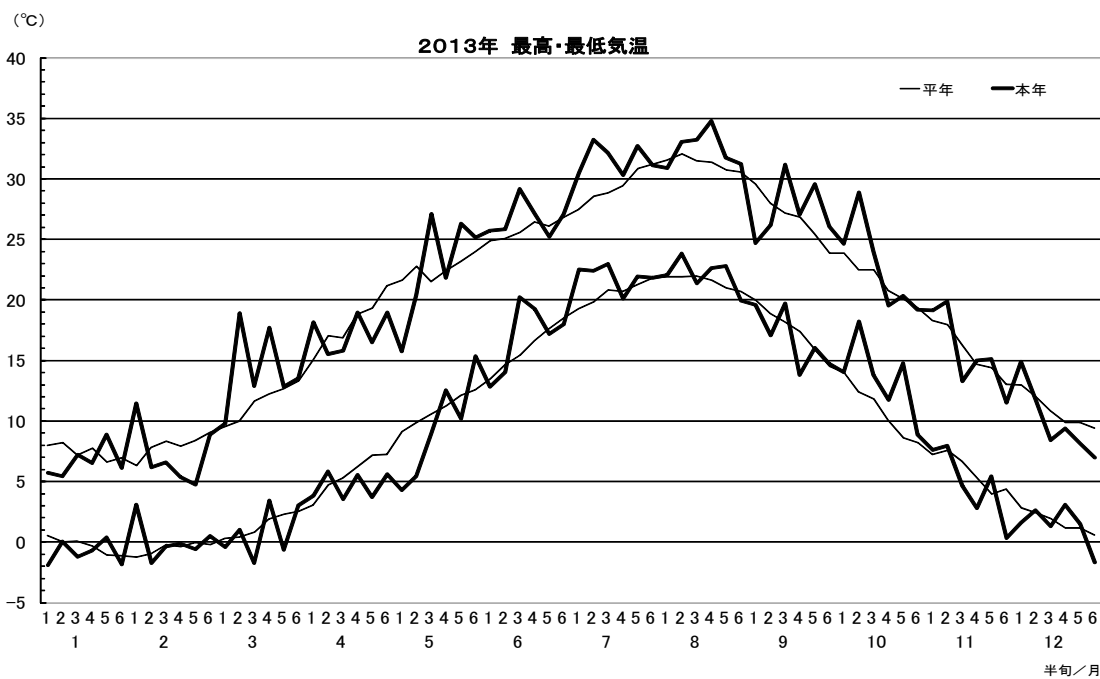


京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町)		平 年 値 …1981～2010年の平均値									
月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	5.7	8.0	-1.9	0.6	1.5	4.2	1.0	35.6	17.7	8.0
	2	5.5	8.2	0.1	0.0	1.8	4.0	3.0	40.4	3.5	9.0
1	3	7.2	7.2	-1.2	0.1	2.8	3.6	6.0	46.6	9.5	6.8
	4	6.5	7.7	-0.7	-0.3	2.9	3.7	7.0	38.2	9.0	9.6
	5	8.9	6.6	0.4	-1.1	4.4	2.7	2.0	38.7	5.0	8.2
	6	6.1	7.0	-1.9	-1.1	1.6	2.9	13.5	49.4	12.0	11.9
	平均・計	6.6	7.4	-0.9	-0.3	2.5	3.5	32.5	248.9	56.7	53.5
	1	11.4	6.3	3.1	-1.2	7.4	2.5	4.5	31.2	10.1	8.2
	2	6.2	7.8	-1.8	-1.0	2.0	3.4	7.0	29.2	13.0	12.5
2	3	6.6	8.3	-0.4	-0.2	3.1	4.0	3.0	27.8	11.1	12.7
	4	5.4	7.9	-0.1	-0.4	2.7	3.7	7.5	29.6	6.7	11.2
	5	4.8	8.4	-0.6	-0.1	2.0	4.2	10.0	33.4	8.9	14.5
	6	8.9	9.1	0.5	-0.2	5.9	4.4	0.0	16.5	20.1	9.8
	平均・計	7.1	7.9	0.1	-0.5	3.7	3.7	32.0	167.6	69.9	68.8
	1	9.8	9.5	-0.4	0.3	5.1	5.0	9.5	23.2	20.8	14.7
	2	18.9	10.0	1.0	0.4	10.2	5.2	3.0	20.9	30.5	17.3
3	3	12.9	11.6	-1.7	0.8	6.2	6.3	4.0	20.1	33.3	19.7
	4	17.7	12.2	3.4	1.9	11.4	7.0	10.0	21.3	24.7	19.9
	5	12.8	12.7	-0.6	2.3	6.4	7.5	1.0	26.0	27.2	18.6
	6	13.5	13.3	3.0	2.5	8.1	7.9	1.0	23.2	21.5	25.1
	平均・計	14.2	11.6	0.9	1.4	7.9	6.5	28.5	134.7	158.0	115.2
	1	18.1	15.0	3.8	3.0	11.0	9.0	8.0	17.8	28.7	26.2
	2	15.5	17.1	5.8	4.7	10.4	10.9	27.5	21.4	17.8	25.6
4	3	15.8	16.9	3.5	5.3	9.8	11.1	5.5	21.6	34.0	23.8
	4	19.0	18.8	5.5	6.2	12.3	12.5	10.0	17.7	23.0	29.6
	5	16.5	19.3	3.7	7.2	10.5	13.3	27.5	17.8	23.8	26.9
	6	19.0	21.2	5.6	7.3	12.8	14.2	15.5	12.0	30.0	32.6
	平均・計	17.3	18.0	4.7	5.6	11.1	11.8	94.0	108.4	157.3	164.7
	1	15.8	21.6	4.3	9.1	10.1	15.4	2.5	18.4	34.0	28.2
	2	20.4	22.8	5.4	9.9	13.3	16.3	1.5	22.9	38.5	29.3
5	3	27.1	21.5	9.0	10.6	18.0	16.1	2.0	34.5	43.4	25.5
	4	21.8	22.4	12.5	11.3	17.3	16.9	5.5	25.4	25.5	26.3
	5	26.3	23.2	10.2	12.1	18.5	17.7	0.0	18.0	52.1	28.7
	6	25.2	24.0	15.4	12.6	20.9	18.3	11.5	17.3	21.8	33.3
	平均・計	22.8	22.6	9.7	11.0	16.5	16.8	23.0	136.6	215.3	171.3
	1	25.7	24.9	12.8	13.5	19.1	19.1	0.0	14.7	30.5	29.6
	2	25.8	25.1	14.0	14.6	19.9	19.8	0.0	16.5	26.1	24.1
6	3	29.1	25.6	20.2	15.4	24.3	20.5	5.0	19.8	29.7	23.3
	4	27.1	26.4	19.2	16.7	22.7	21.5	44.0	26.3	12.8	22.0
	5	25.2	26.1	17.2	17.6	20.9	21.8	17.5	41.1	9.0	15.5
	6	27.1	26.8	18.0	18.5	22.7	22.6	32.0	40.4	24.4	15.5
	平均・計	26.7	25.8	16.9	16.0	21.6	20.9	98.5	158.9	132.5	130.0

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町)		平 年 値 …1981～2010年の平均値									
月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	30.5	27.5	22.5	19.3	21.6	23.3	13.0	35.8	18.1	17.3
	2	33.3	28.6	22.4	19.8	27.2	24.1	11.5	31.0	32.8	20.0
7	3	32.2	28.9	23.0	20.8	26.8	24.8	3.5	45.4	28.6	14.8
	4	30.3	29.4	20.1	20.7	24.8	25.0	3.5	40.0	29.6	23.3
	5	32.7	30.8	21.9	21.3	26.6	26.0	17.0	23.9	24.7	30.2
	6	31.1	31.2	21.8	21.8	25.8	26.4	42.0	19.7	25.0	36.3
	平均・計	31.7	29.5	22.0	20.7	25.5	25.0	90.5	195.8	158.8	141.8
	1	30.9	31.6	22.1	21.9	25.7	26.7	154.5	21.6	24.7	35.0
	2	33.0	32.1	23.8	21.9	27.8	26.9	0.0	15.8	36.0	33.5
8	3	33.2	31.5	21.4	21.9	26.7	26.7	0.0	17.2	46.6	29.8
	4	34.8	31.4	22.6	21.6	28.3	26.4	0.0	21.1	50.5	31.3
	5	31.7	30.8	22.8	21.0	26.4	25.8	60.5	31.4	21.9	28.1
	6	31.2	30.5	20.0	20.7	25.2	25.6	62.0	24.2	30.2	35.5
	平均・計	32.4	31.3	22.0	21.5	26.6	26.3	277.0	131.2	209.9	193.2
	1	24.7	29.5	19.6	20.0	21.4	24.7	208.0	27.7	3.7	28.5
	2	26.2	28.0	17.1	18.9	21.2	23.4	37.0	34.8	22.8	20.2
9	3	31.2	27.2	19.7	18.2	24.6	22.6	157.5	38.1	28.7	20.3
	4	27.0	26.9	13.8	17.4	20.1	22.1	70.5	37.5	47.9	22.3
	5	29.6	25.5	16.0	16.0	22.0	20.7	7.0	36.4	44.1	18.4
	6	26.1	23.9	14.7	14.5	20.3	19.2	3.0	35.6	31.7	17.9
	平均・計	27.5	26.8	16.8	17.5	21.6	22.1	483.0	210.1	178.9	127.6
	1	24.7	23.9	14.0	14.0	19.0	18.9	32.5	24.9	19.1	19.4
	2	28.9	22.5	18.2	12.4	22.9	17.4	3.0	29.2	19.1	20.1
10	3	24.0	22.5	13.8	11.8	18.9	17.1	50.0	25.2	19.9	21.9
	4	19.6	20.8	11.7	10.1	15.4	15.3	42.0	32.8	14.2	22.3
	5	20.4	20.1	14.8	8.6	17.3	14.3	133.0	18.7	4.0	21.9
	6	19.2	19.3	8.9	8.2	13.6	13.7	4.5	30.1	24.4	24.0
	平均・計	22.7	21.4	13.4	10.8	17.7	16.0	265.0	160.9	100.7	129.6
	1	19.1	18.3	7.6	7.2	13.0	12.7	15.5	29.4	26.5	18.7
	2	19.9	18.0	8.0	7.6	14.3	12.4	25.0	25.1	20.1	18.6
11	3	13.3	16.3	4.6	6.7	9.4	11.1	59.5	28.1	15.0	13.8
	4	15.0	14.7	2.8	5.3	8.7	10.0	0.5	29.4	24.5	13.6
	5	15.1	14.4	5.4	4.0	9.6	9.1	25.5	28.7	12.1	14.4
	6	11.5	13.0	0.3	4.4	5.8	8.7	21.0	41.0	14.3	10.8
	平均・計	15.7	15.8	4.8	5.9	10.1	10.7	147.0	181.6	112.5	90.0
	1	14.9	13.0	1.6	2.8	8.3	7.8	1.5	36.1	24.5	13.4
	2	11.8	12.0	2.6	2.4	7.2	7.1	74.5	35.7	11.8	12.7
12	3	8.4	10.8	1.3	1.9	4.9	6.4	30.0	44.9	7.3	9.9
	4	9.4	9.9	3.1	1.1	6.3	5.4	25.5	35.1	7.9	10.4
	5	8.1	9.9	1.5	1.1	4.8	5.5	26.5	32.3	7.2	9.6
	6	7.0	9.4	-1.7	0.6	2.7	5.0	89.5	46.2	15.7	11.3
	平均・計	9.8	10.8	1.3	1.6	5.6	6.2	247.5	230.4	74.4	67.4
	年平均・計	19.6	19.1	9.3	9.3	14.2	14.1	1818.5	2065.1	1624.9	1453.1

京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町)



IPM実践指標 施設トマト(基本7管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄		
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保	病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点		
2		ほ場の選択と改善	設置時には水はけの良い場所を選択する。水はけが悪い場合は排水対策を行う。	1点		
3		栽培ほ場周辺の管理	施設内への雑草種子の持ち込みを防ぎ、雑草を発生源とする害虫の施設内への飛び込みを抑制するため、周辺の雑草防除に努める。	1点		
4		施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類 防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点		
5		病害虫発生予察情報等の確認	病害虫防除所が発表する発生予察情報を入力し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入力する。	1点		
6		病害虫防除の要否の判断	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類 防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点		
7		その他	収穫後残渣の処理	収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点	

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。

IPM実践指標 施設トウガラシ(基本5管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄		
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保 病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点			
2	施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類 防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点			
3	防除要否・タイミングの判断	病害虫発生予察情報等の確認 病害虫防除所が発表する発生予察情報を入力し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入力する。	1点			
4	その他	病害虫防除の要否の判断 対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類 防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点			
5	その他	収穫後残渣の処理 収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点			

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。

IPM実践指標 施設キュウリ(基本7管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄				
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況		
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保	病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点				
2		ほ場の選択と改善	設置時には水はけの良い場所を選択する。水はけが悪い場合は排水対策を行う。	1点				
3		栽培ほ場周辺の管理	施設内への雑草種子の持ち込みを防ぎ、雑草を発生源とする害虫の施設内への飛び込みを抑制するため、周辺の雑草防除に努める。	1点				
4		施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類	防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点			
5		病害虫発生予察情報等の確認	病害虫防除所が発表する発生予察情報を入力し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入力する。	1点				
6		病害虫防除の要否の判断	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点			
7		その他	収穫後残渣の処理	収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点			

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。